—ララァ編・前—

安彦良和

原案
矢立肇・富野由悠季

メカニックデザイン
大河原邦男

これまでのあらすじ

地上の覇権を賭けた地球連邦とジオンの激闘に東欧、オデッサが血に染まる

宇宙世紀0079、スペースコロニー群サイド3はジオン公国を名乗り、地球連邦政府に独立戦争を挑んできた。当初劣勢と思われていたジオンだが、新型兵器MS(モビルスーツ)が多大な戦果を挙げ、戦争は膠着状態へと陥っていた。

開戦から八ヶ月ほど過ぎたころ、中立地帯サイド7は突如シャア・アズナブル率いるジオン軍MS部隊の襲撃を受ける。サイド7に住む少年、アムロ・レイは父が極秘に開発していた連邦軍の新型MS"ガンダム"に搭乗し、これを撃破。その戦果によりアムロはガンダムのパイロットとして強襲揚陸艦ホワイトベースに乗り込み、連邦軍本部が位置する南米ジャブローを目指すこととなる。

地球へと降下し、公王末子ガルマ・ザビ配下のジオン北米方面軍、"青い巨星"ランバ・ラル、"黒い三連星"ら、ジオン軍歴戦の勇者たちと連戦を重ね、次第に戦士として成長していくアムロとホワイト

マ・クベとレビル二人の智将による頭脳戦が始まる

→↓アムロの活躍によりドム二個中隊を失ったジオン軍。だがマ・クベには戦況を一変させる秘策があった。

勝利を信じ
名もなき哀 戦士たちは
次々とその身を散らしていく

↑擬装した座上艦に攻撃が集中し、レビルは勝利を確信する。だがその司令部には、ジオンへの内通者がいた……。

←連邦軍旗艦モルトケを巡る、敵味方入り乱れての死闘。しかし、真の戦場はここではなかった……。

ベースのクルーたち。だが彼らが激戦を経てジャブローへたどり着いた直後、シャアに手引きされたジオン南米方面軍の奇襲が始まった。

レビル将軍の奇策と量産型MSジムの投入が功を奏し、基地の攻防戦に勝利した連邦軍は、その勢い冷めぬ間に地球におけるジオンの本拠地を攻略すべくオデッサへと進軍した。

オデッサで地上の覇権を賭けた両軍の激闘が続く中、ジオンの地球進攻軍総司令官マ・クベは、レビル将軍の座乗艦に「南極条約」で禁じられた核攻撃を目論むが、これを察知したアムロがガンダムで核ミサイルの信管を破壊。最後の策を失ったマ・クベは自らMSギャンに搭乗して後退戦を戦い、その身を散らした。

かくして戦局は大きな転換点を迎え、両軍の主戦場は再び宇宙へと移っていった。

裏切りと策略の渦巻いた
オデッサ攻防戦は
終結し、戦況は
新たな局面へ…

↓邪悪な気配を察知したアムロは、ひとり戦場を後にして核兵器を迎撃に向かう。

機動戦士ガンダム THE ORIGIN 17 —ララァ編・前—

CONTENTS

SECTION I — 005
SECTION II — 043
SECTION III — 079
SECTION IV — 117
SECTION V — 157

―ララァ編・前―
SECTION
I

確認しました！
追って来るのはザンジバルです！

相対速度プラス・マイナス0
ずっと等間隔です
予定通りポイントE300で加速する！

了解！

そうすればホワイトベースはいかにも月に向かうように見えるわね

シャアが来るんだわ

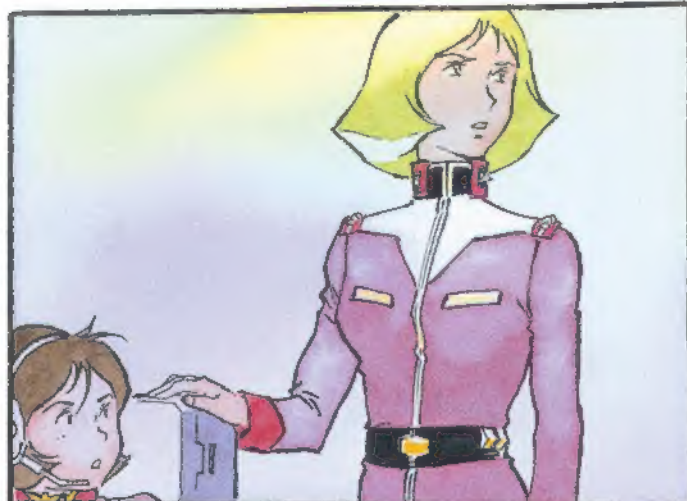
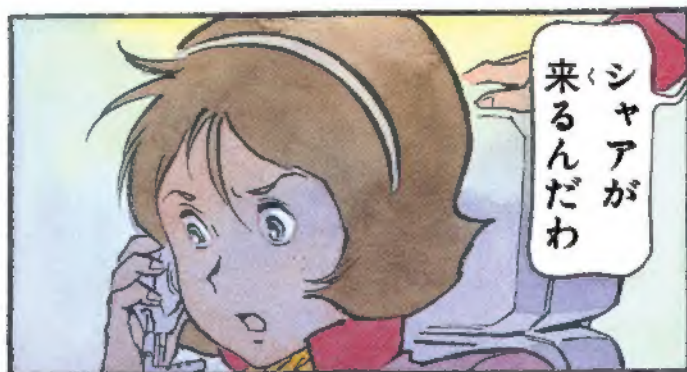
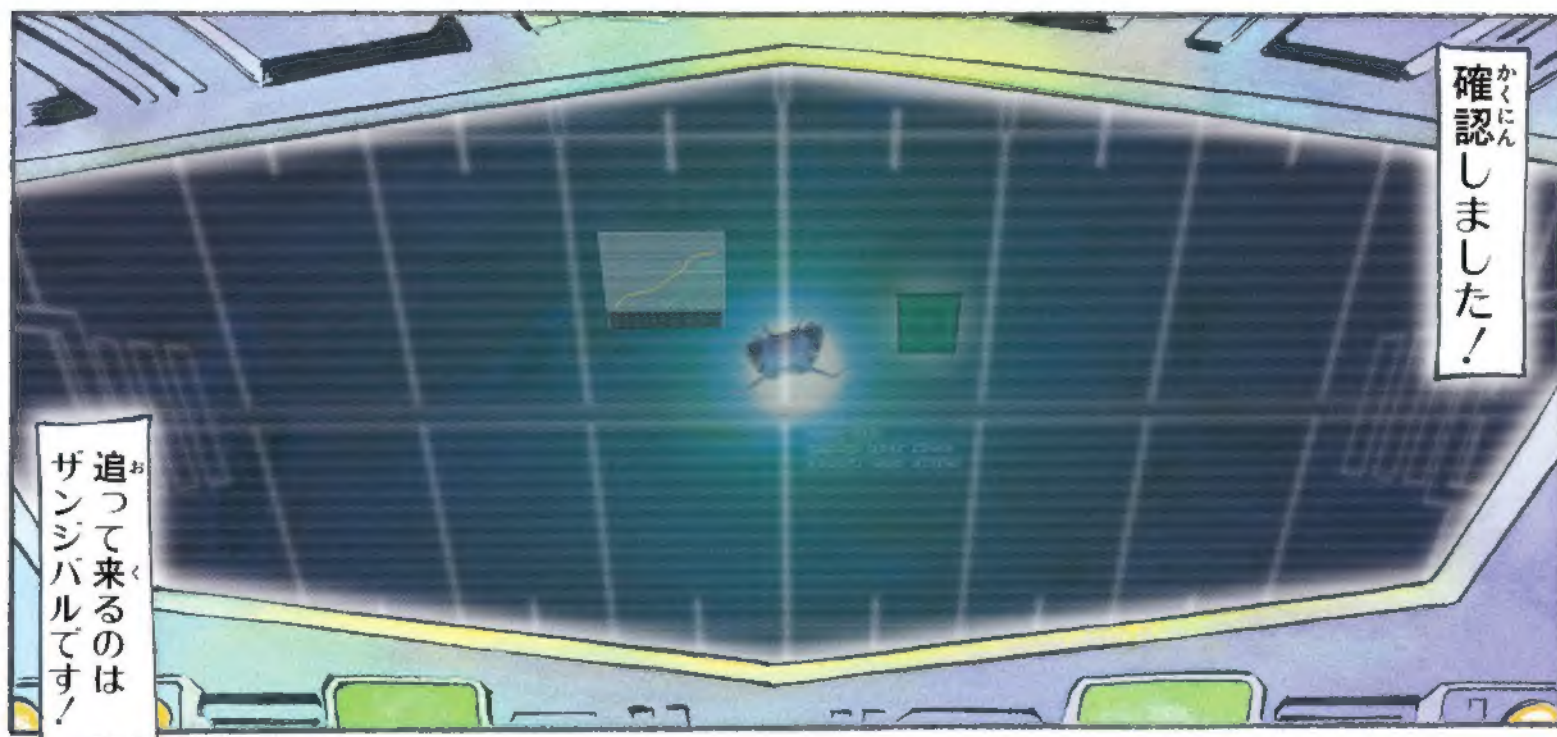
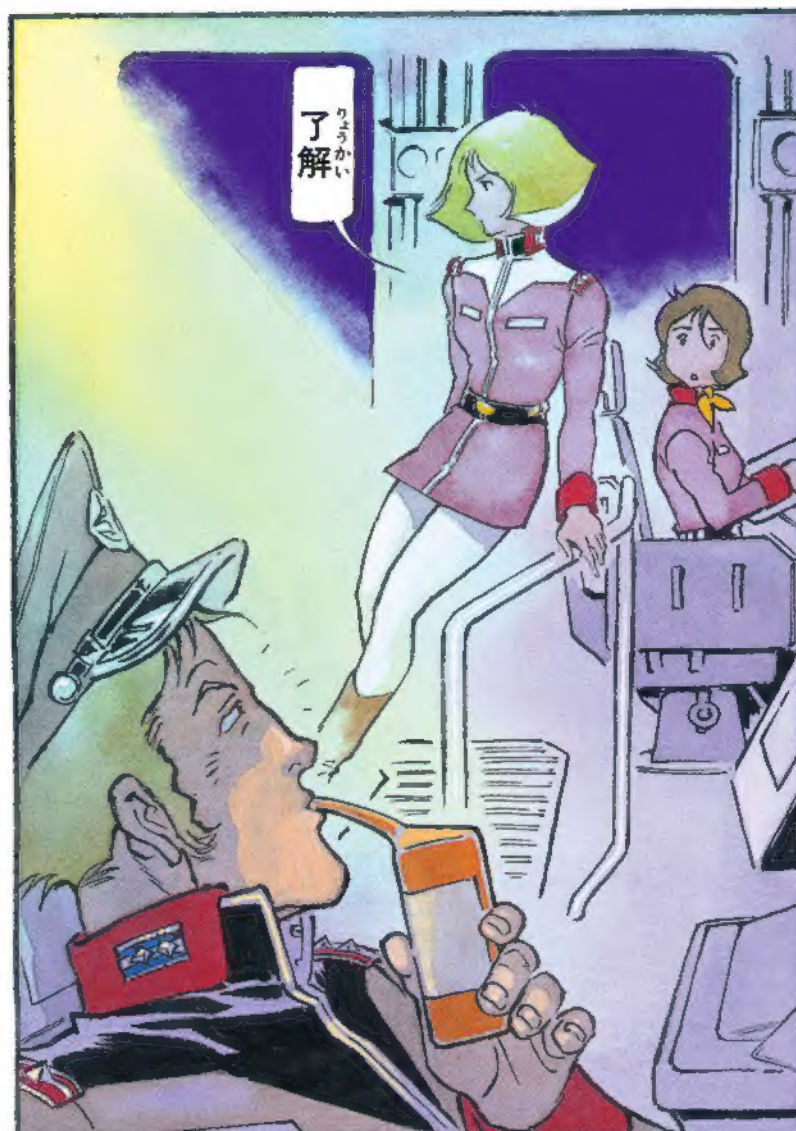
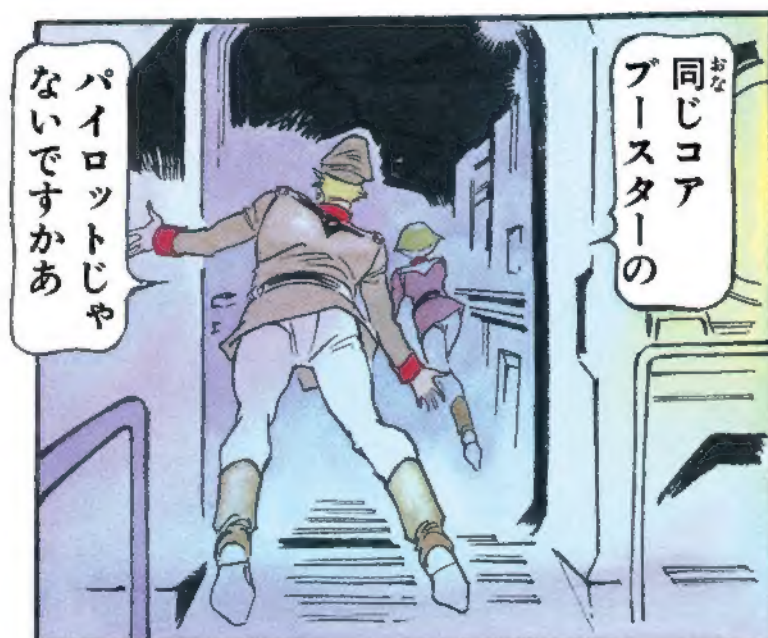
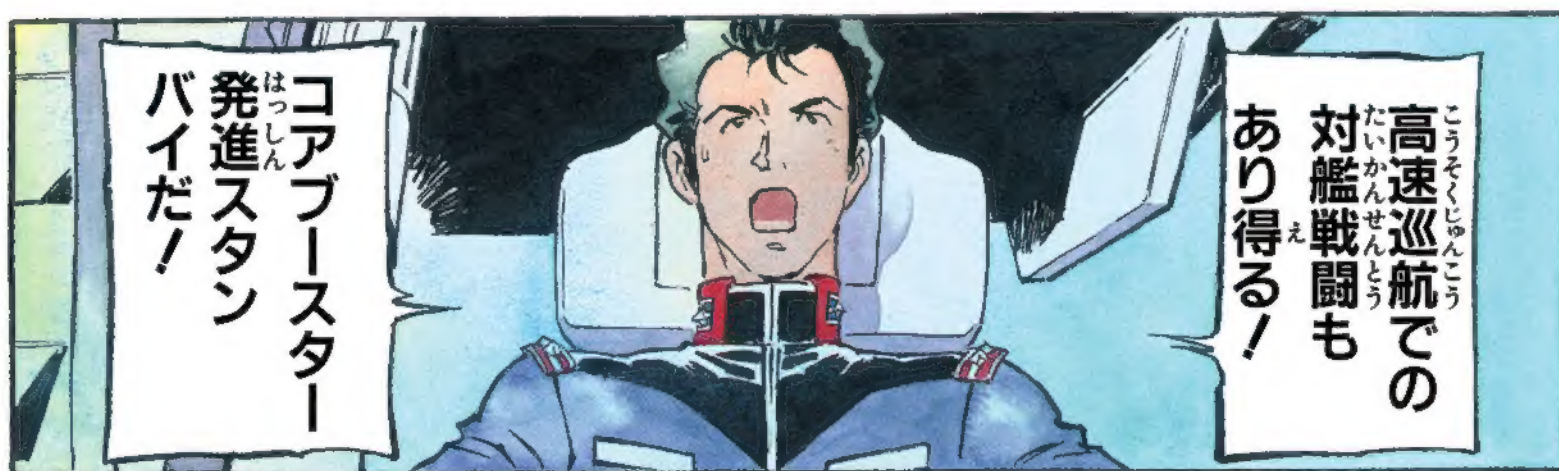
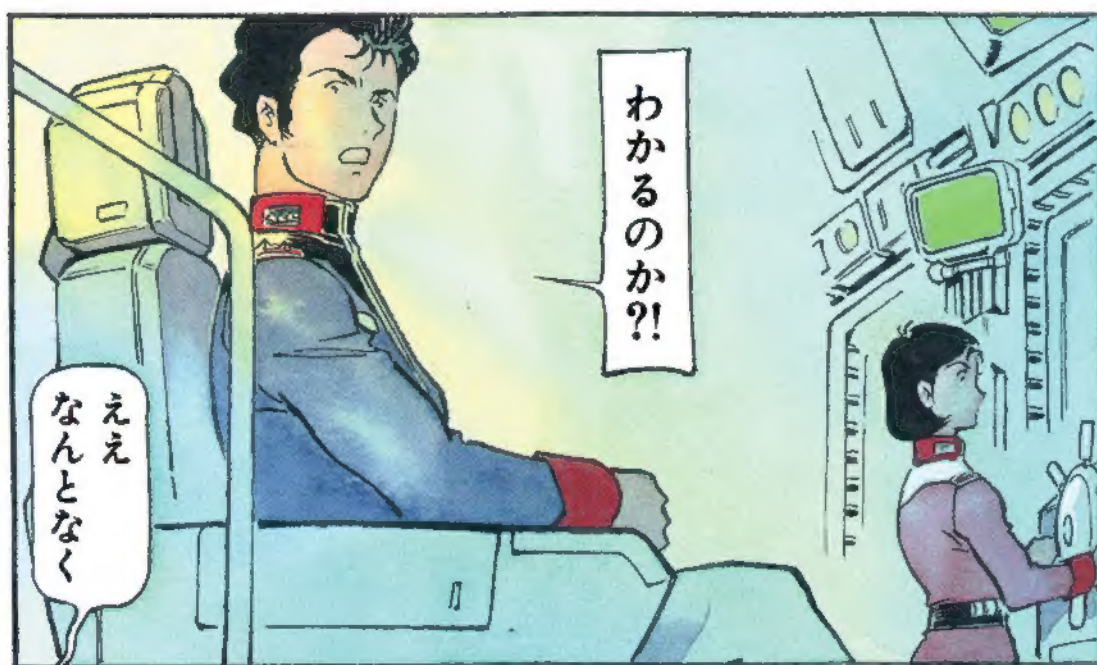
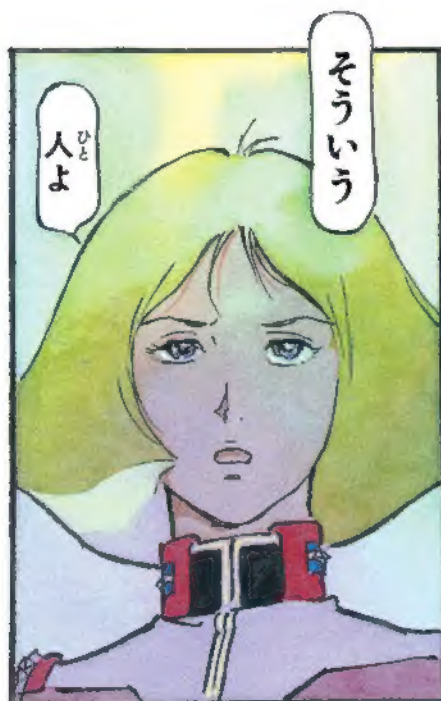
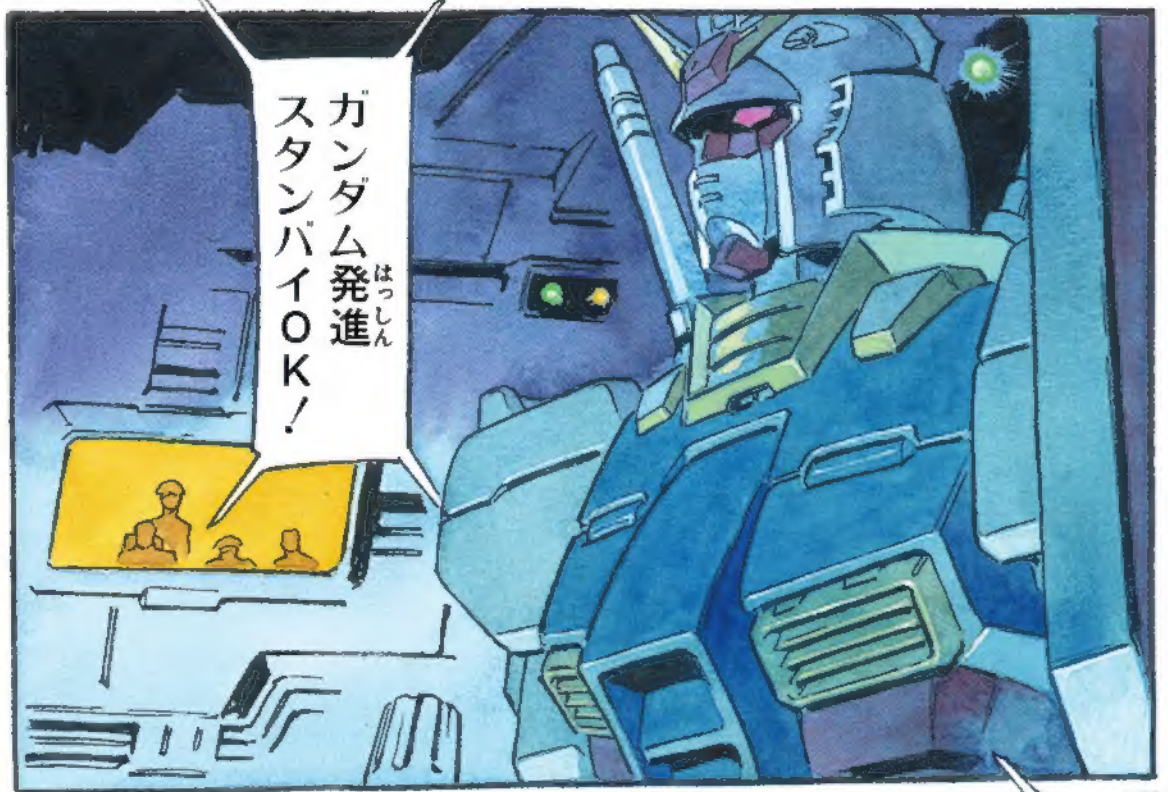
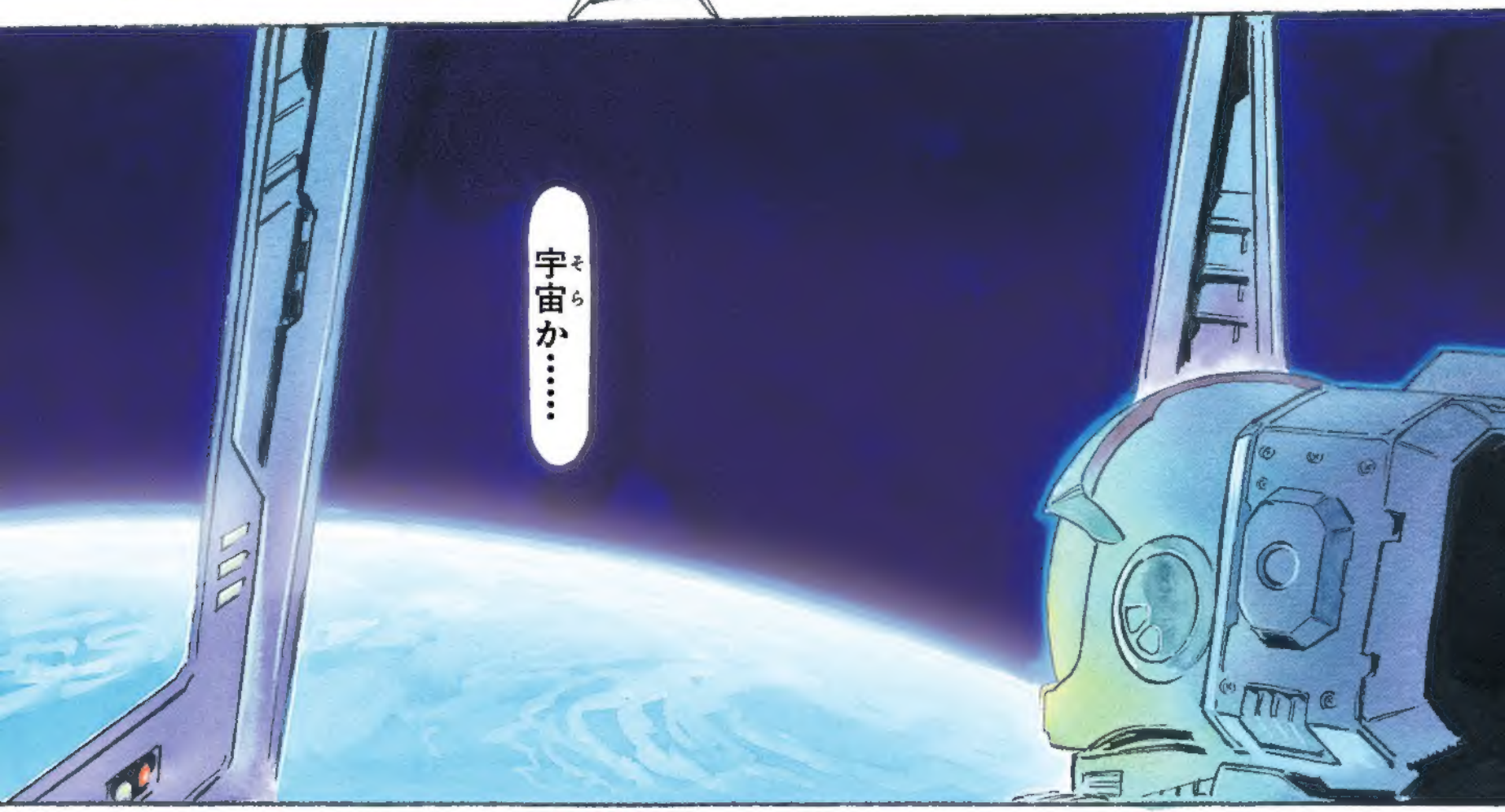
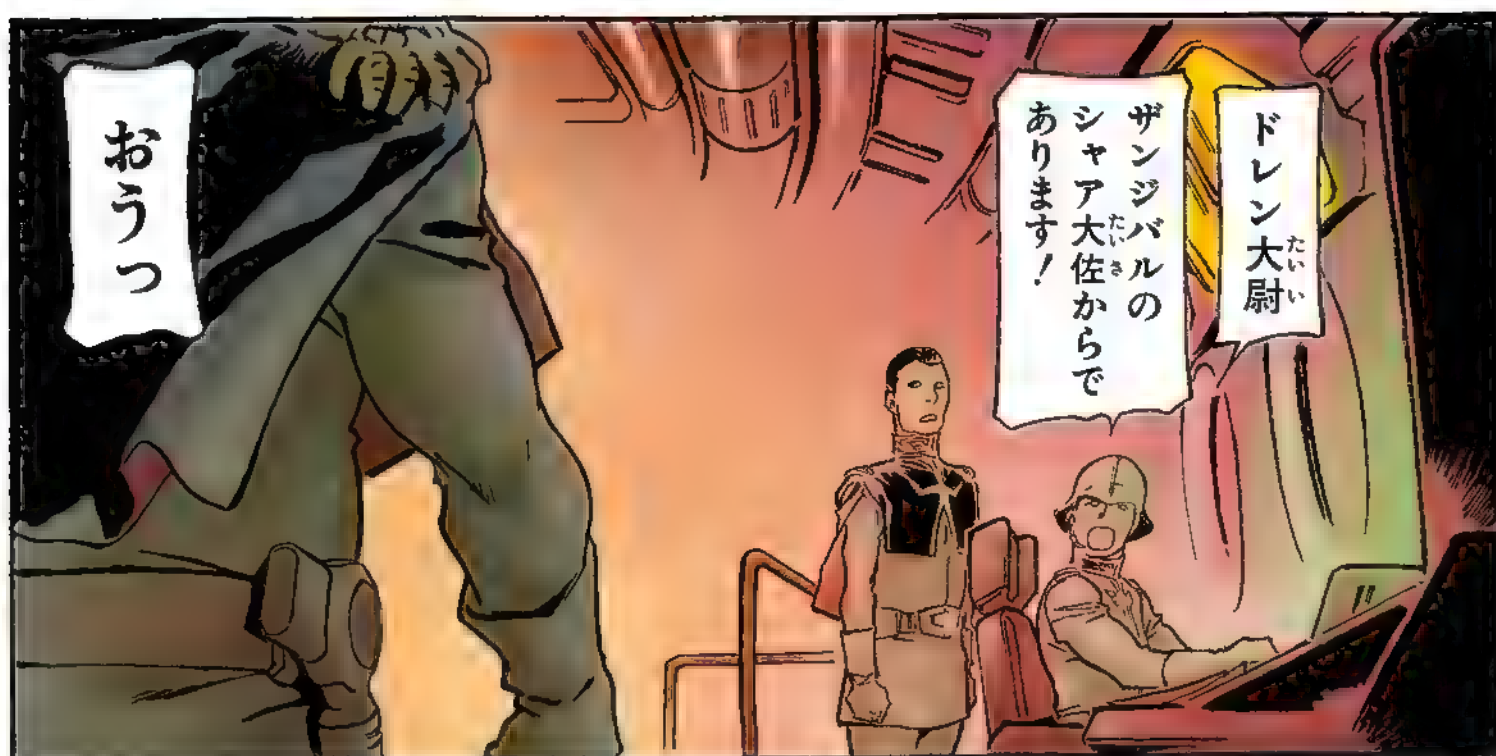
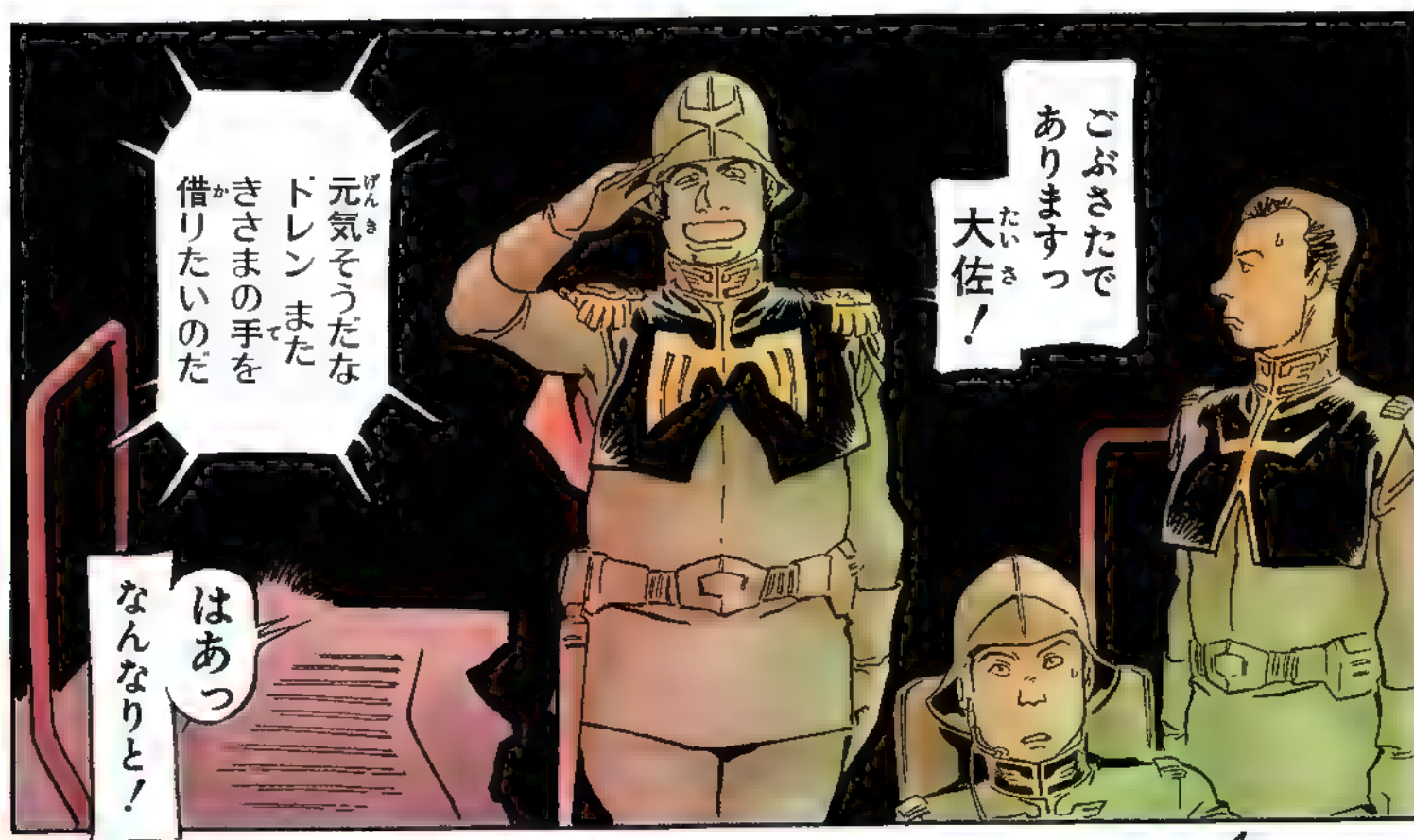
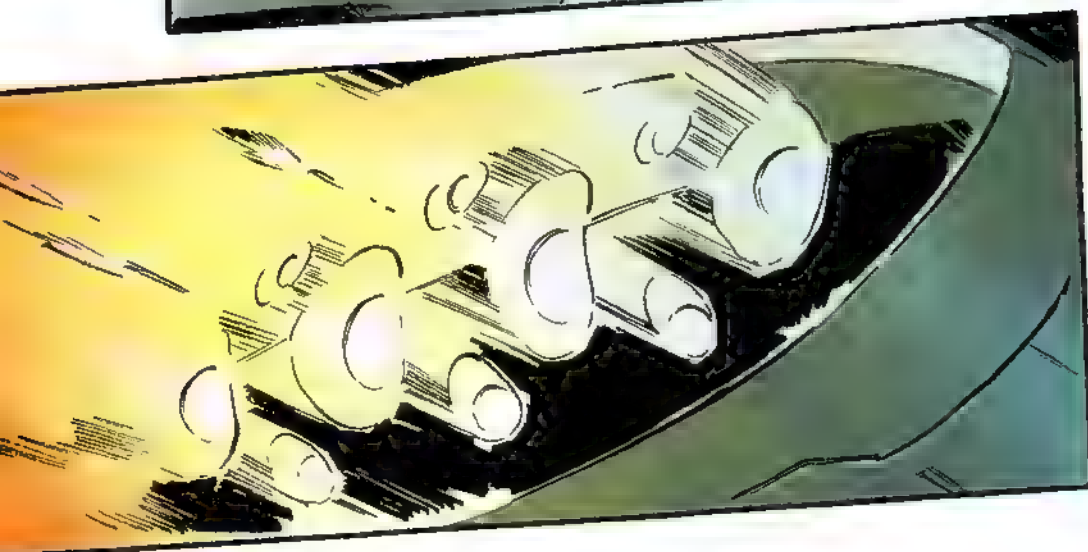
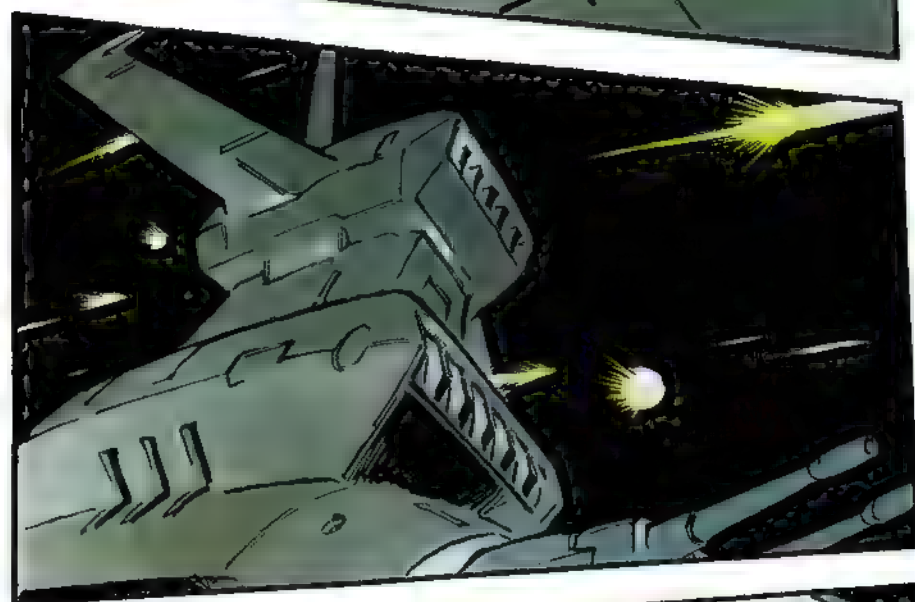
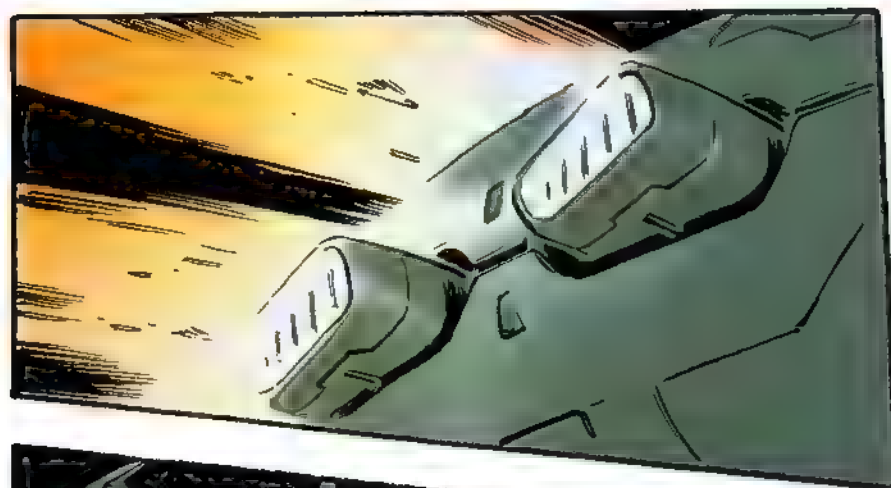
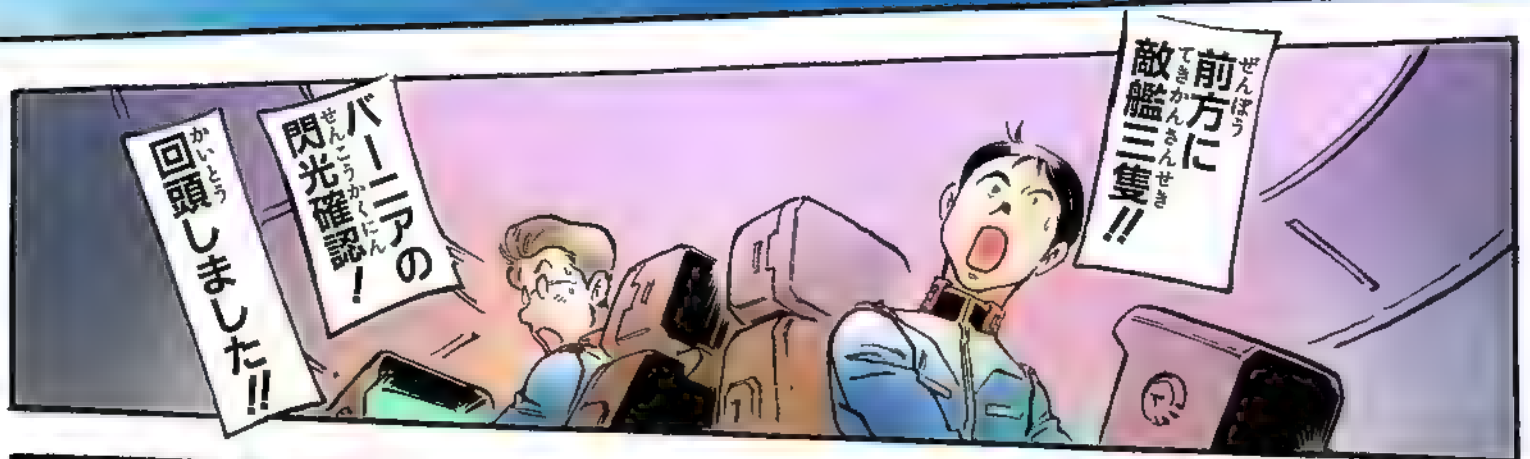
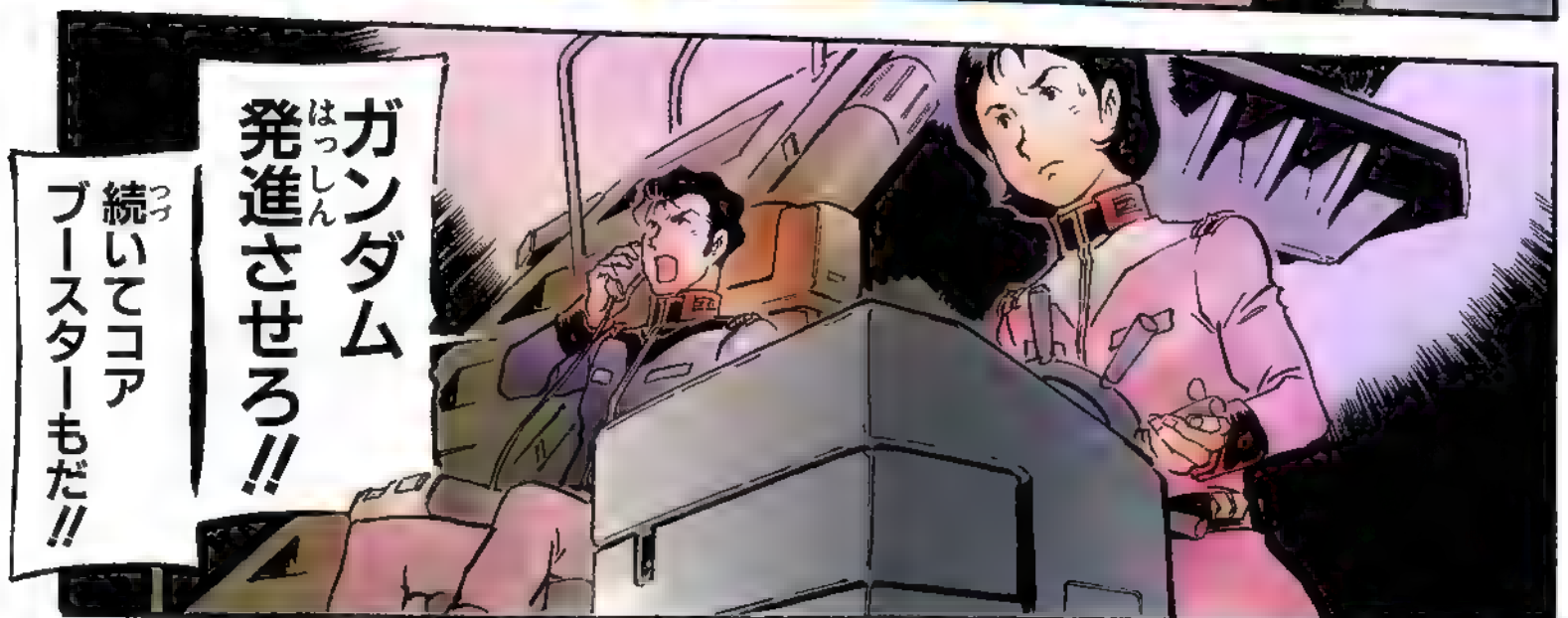
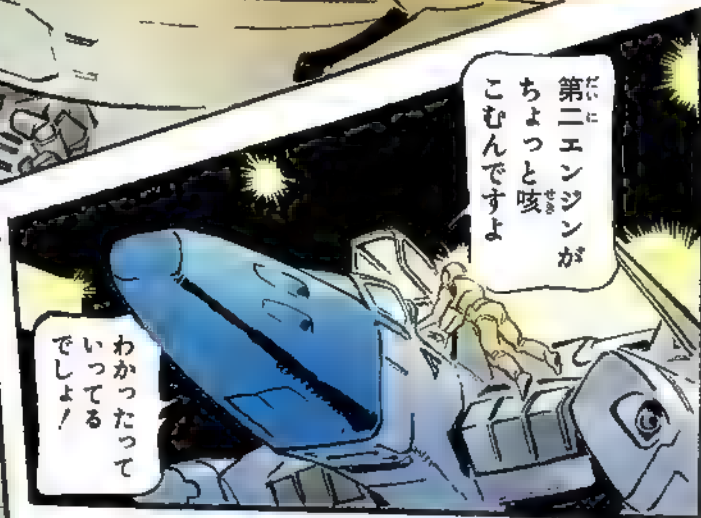
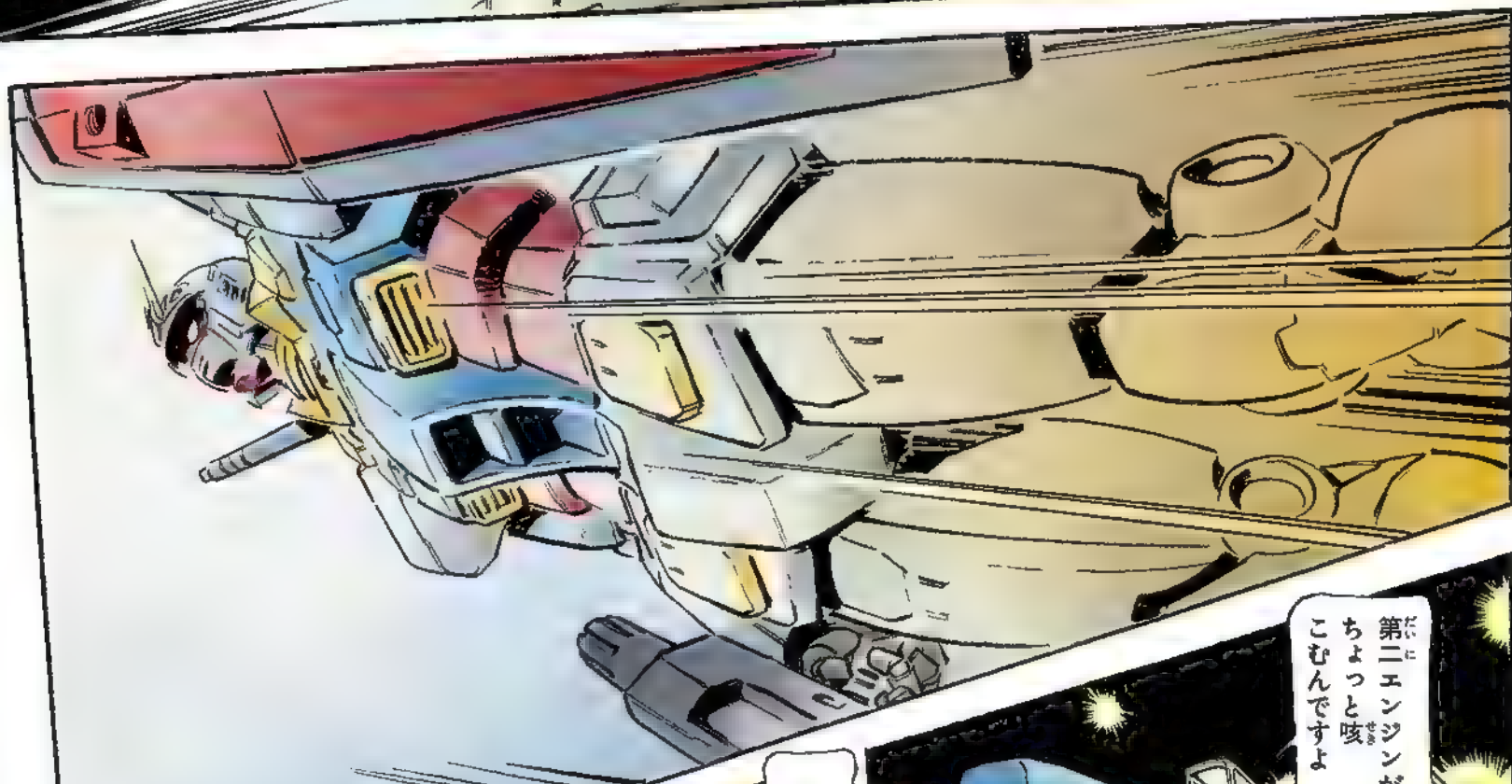
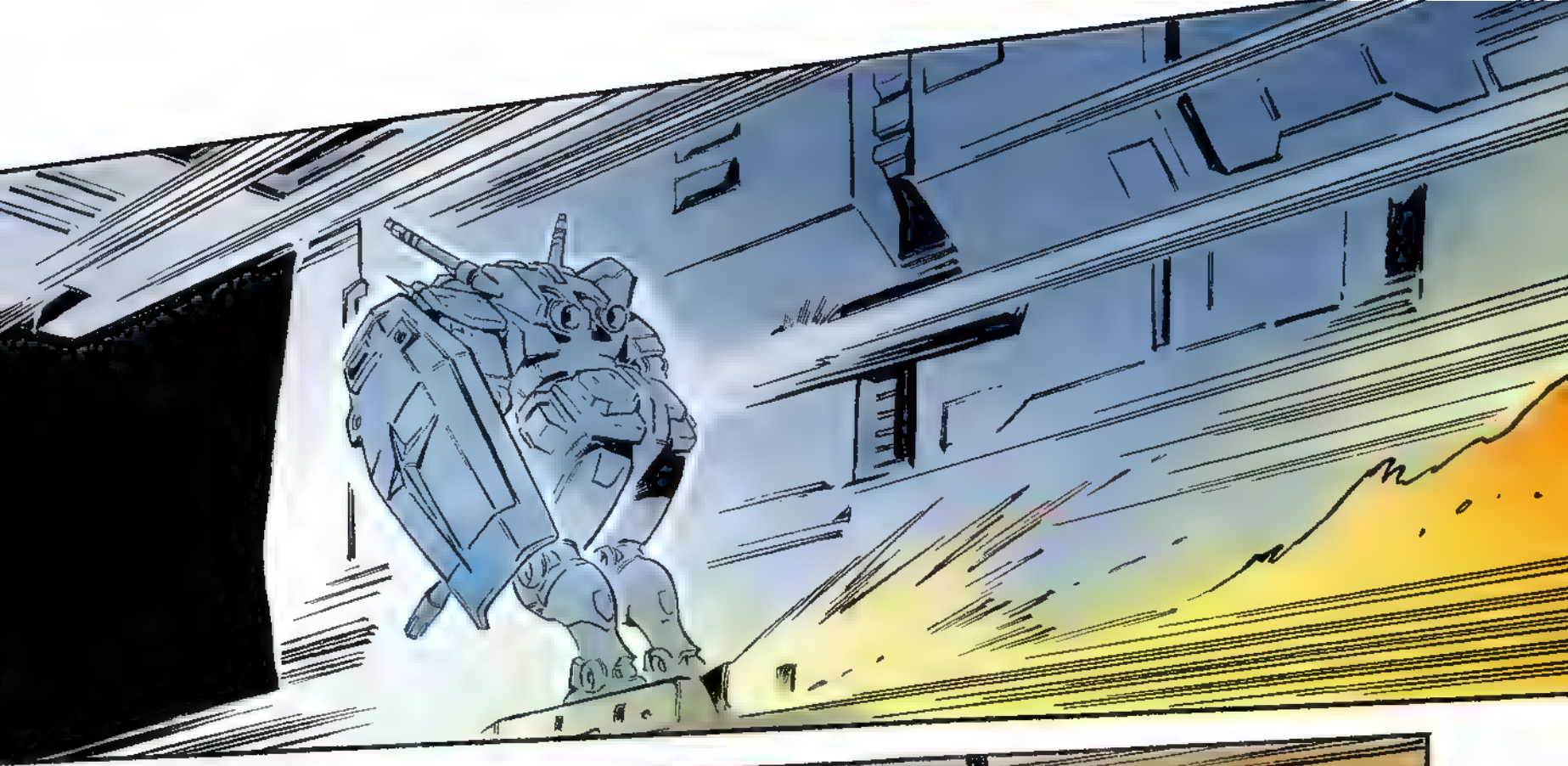
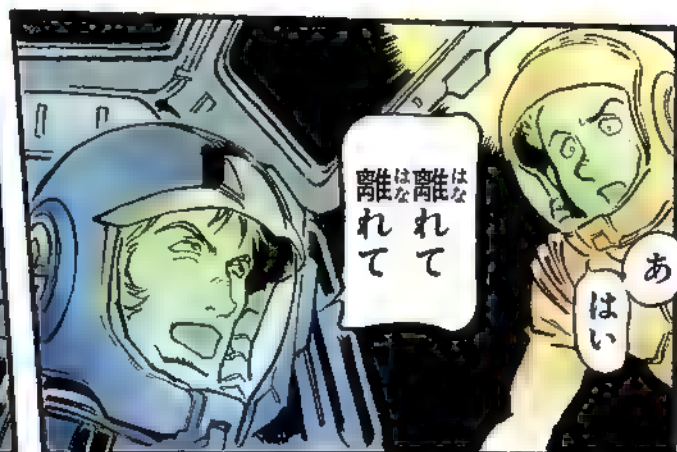
わかるのか?!
ええ
なんとなく

そういう
人よ

高速巡航での
対艦戦闘も
あり得る!
コアブースター
発進スタン
バイだ!

了解

おおい
御同道
願いたいなァ

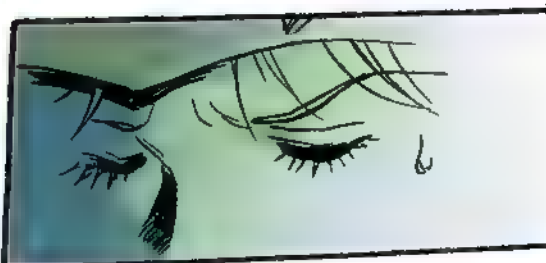
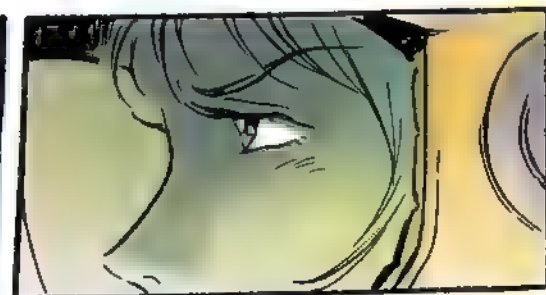
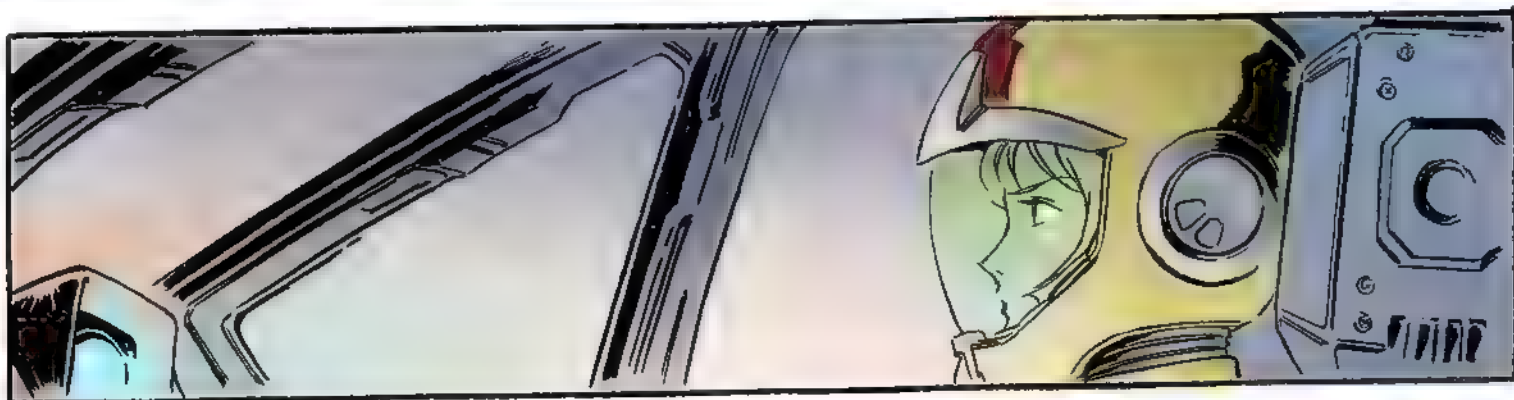
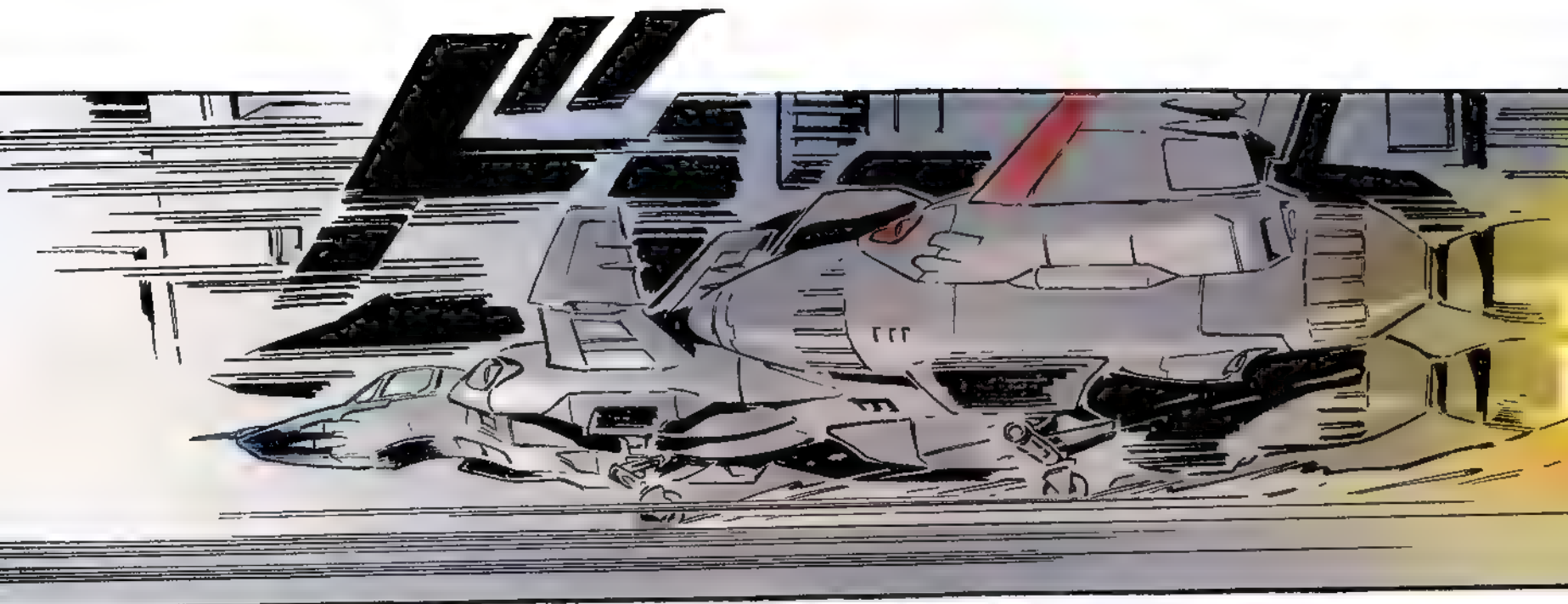
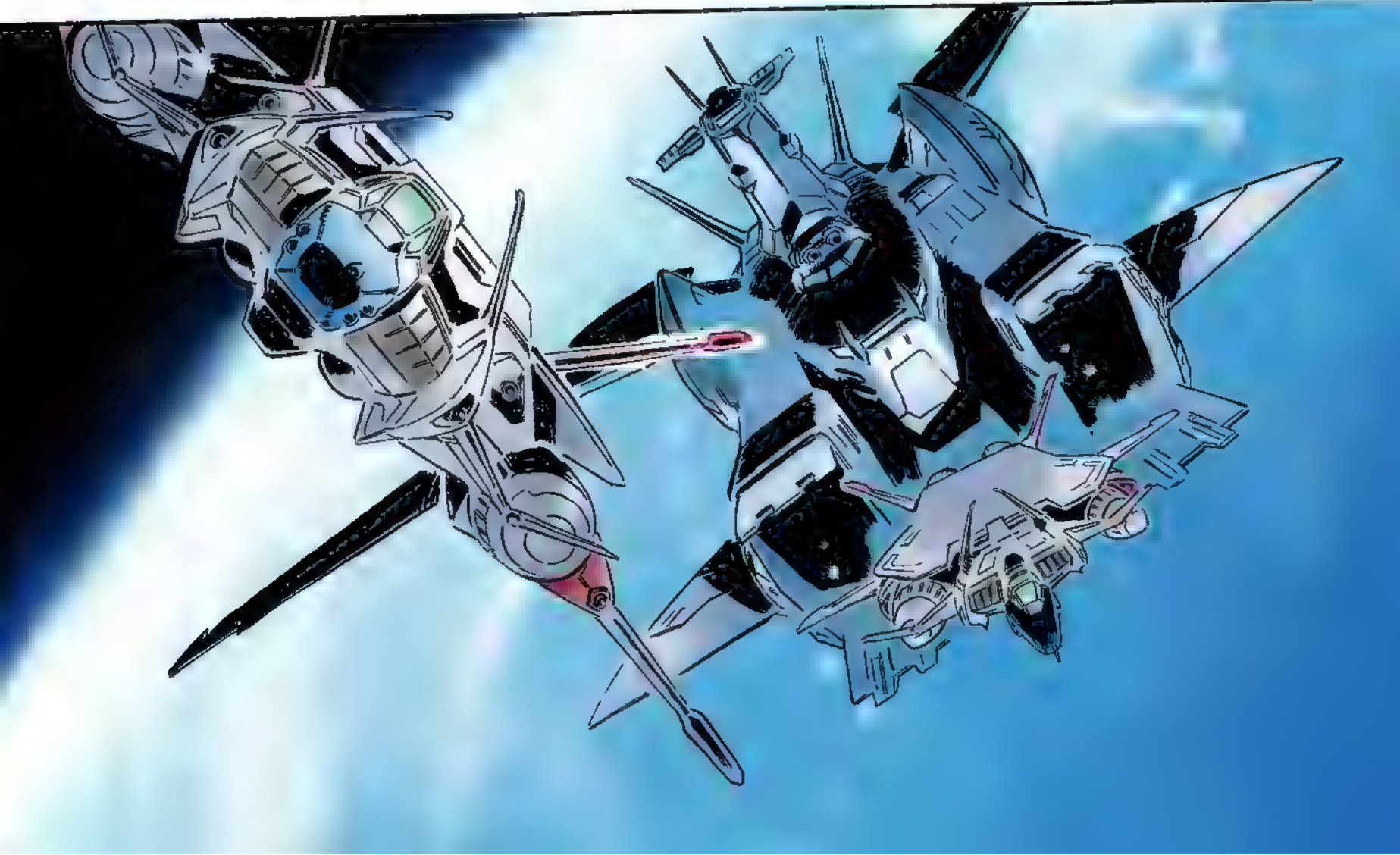
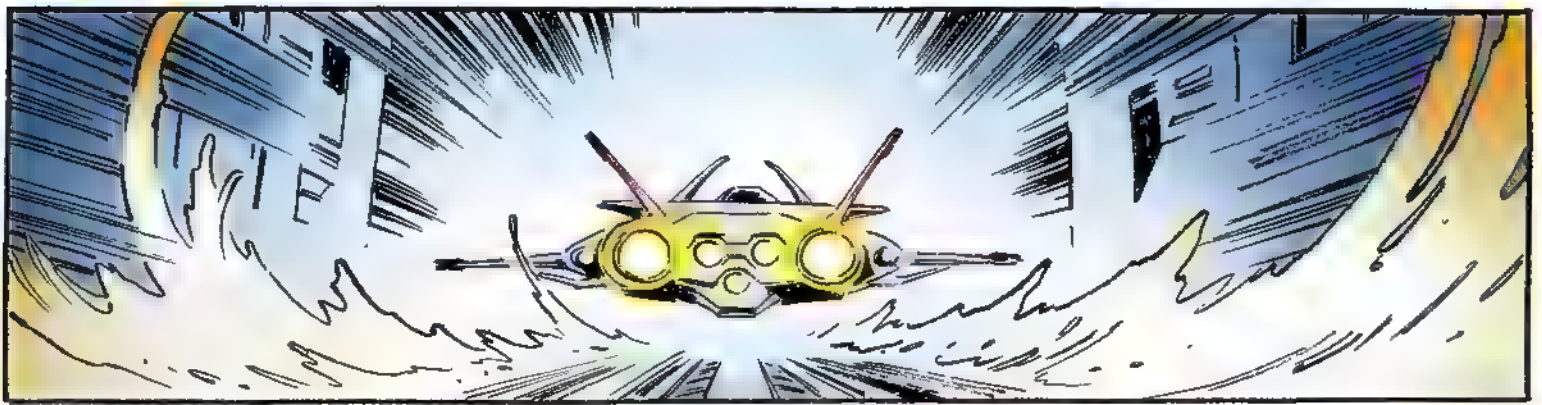
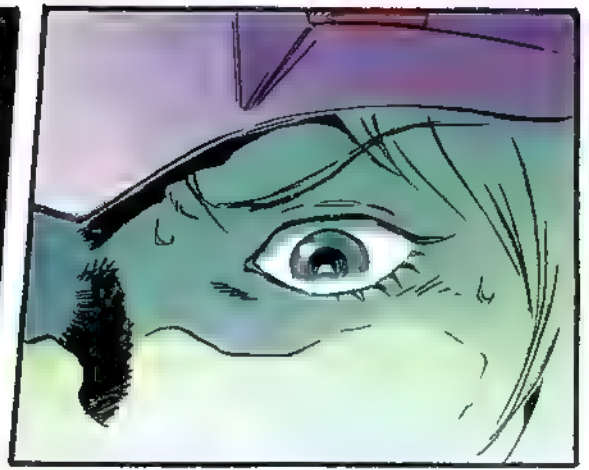
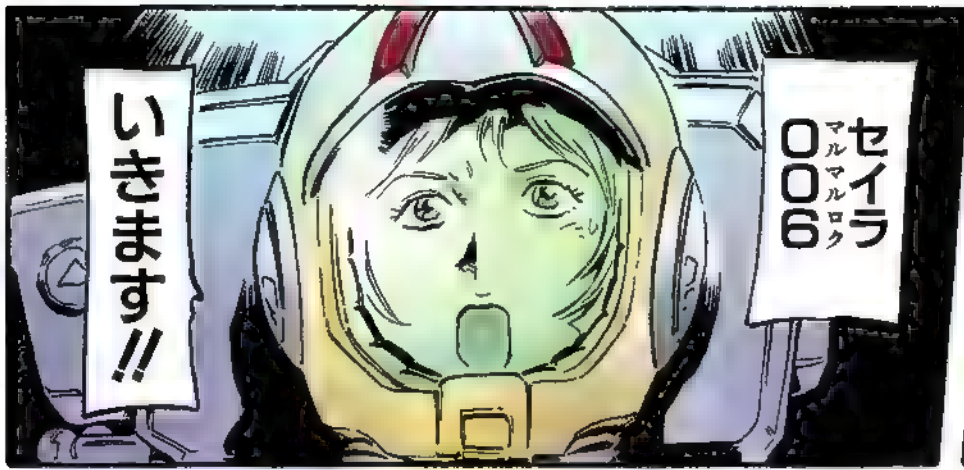
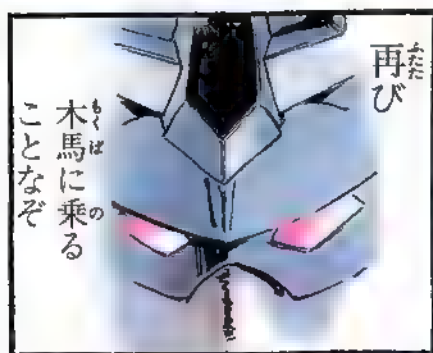
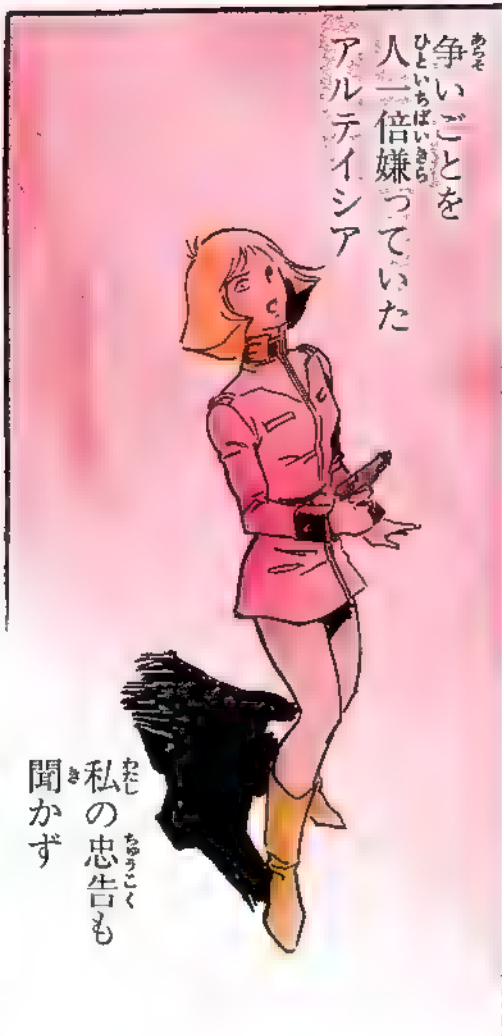
同じコア
ブースターの
パイロットじゃ
ないですかあ

ガンダム発進スタンバイOK！
アムロ！
母艦が高速巡航中だということを忘れるな！
敵が射程エリアに入ったら戦端を開く
コアブースターと連携して戦え！
オールビュークリアー！
カタパルトOK！
宇宙か……

ドレン大尉
ザンジバルのシャア大佐からであります！
おうっ
ごぶさたでありますっ大佐！
元気そうだなドレン またきさまの手を借りたいのだ
はあっ
なんなりと！
木馬を追っている
ちょうどきさま達の位置なら木馬の頭をおさえられる

また木馬ですか
御縁がありますなあ
わかりました!
やってみますが
追いつけますか?木馬に
私を誰だと思っているんだ?
ドレン?
申し訳ありません大佐!
やはり大佐は宇宙の方が
お似合いですなあ
今度はお世辞か?
はあっはっはっはっはっ
プッ!
!

目標は木馬だ!!
ザンジバルと共に挟撃し
今日こそ沈めるぞ!!

前方に敵艦三隻!!
バーニアの閃光確認!
回頭しました!!
ガンダム発進させろ!!
続いてコアブースターもだ!!

第二エンジンがちょっと咳こむんですよ
わかったっていってるでしょ!
離れんと
ぶっとばされるぜぇ!!
離れて離れて
あ はい
005スレッガー機
発進!!

軍を離れろ

二度とあの艦には乗るな

アルテイシア

セイラ006（マルマルロク）
いきます!!

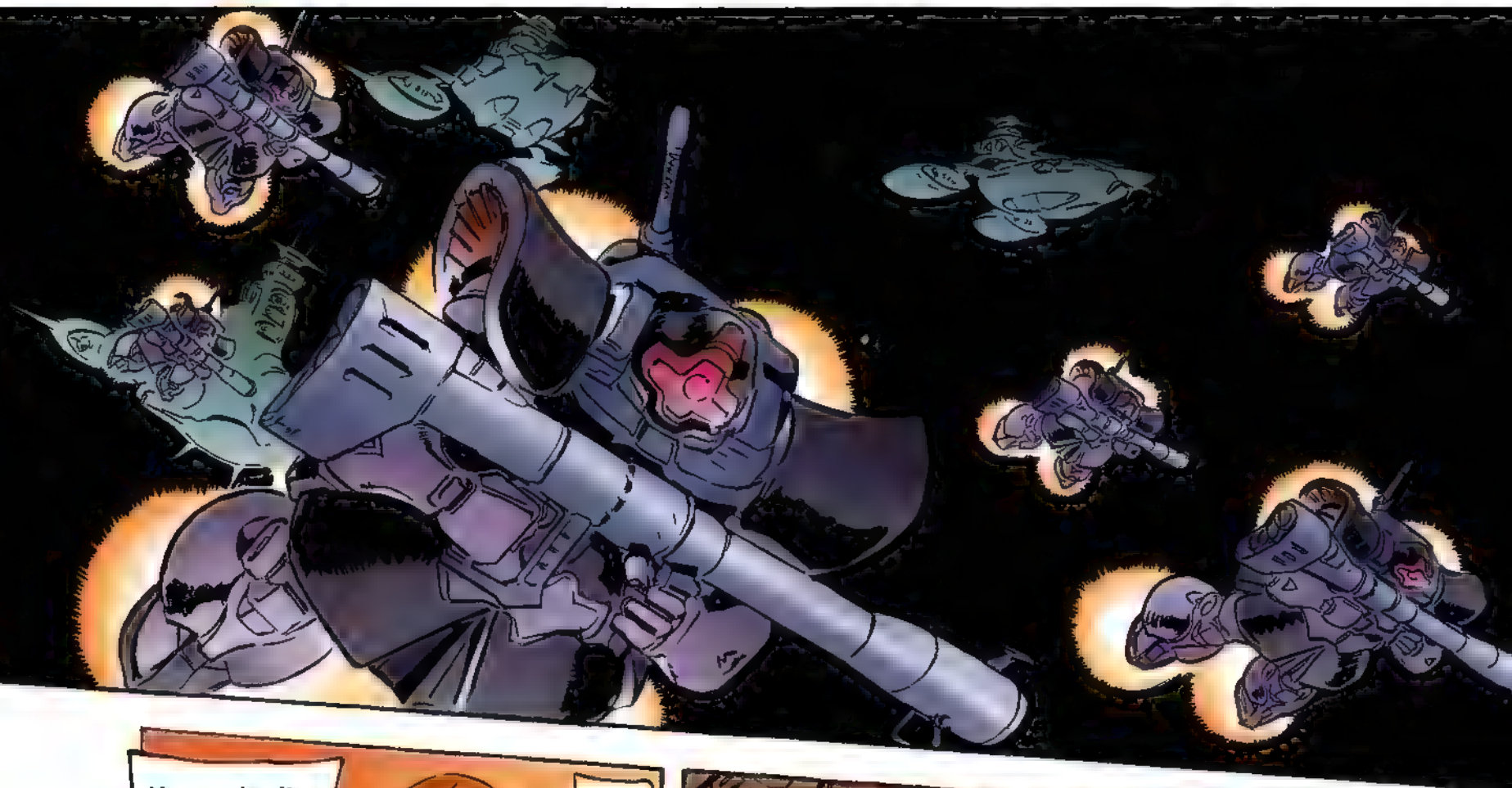
木馬から大型機二機発進！
他にモビルスーツ一機！

おそらくあの
白いヤツと思われます！

アルテイシア…

争いごとを人一倍嫌っていたアルテイシア
私の忠告も聞かず

再び木馬に乗ることなぞ

ありえんな！

大尉！ノーマルスーツを着用してください！

ばか！
指揮官が真っ先にノーマルスーツを着られるかよ！

兵士達をおびえさせてどうする…

スワメル　トクメルは
本艦キャメルの
両舷に開け!!

砲撃戦闘用意!!

リックドム
展開!

キャメル隊は
まもなく有効
射程圏に入ります

うわあ もう撃った！

はやい！

はやいよ スレッガーさん

こういう時は
あわてた方が負けなのよね
うわあ
来た！来たあ！

ハヤト君！
落ちつけ!!

おお やだやだ

俺ら オールドタイプは 対空砲役かよ

カイさん行きましたよオッ!!

うわあっ

やられた…

…んじゃなかった
どっち？
やば
セイラさんかもね

あらあら
姫に遅れをとっちゃった
趣味じゃないんだよねっ
御婦人の
お尻にくっついてのは！

うまい！

いいぞ！
防空戦は完璧だ!!
ゴオオ…
ハヤト君!!

ミライ!!

回避の初動が遅いぞ!!

ハヤトのガンキャノンを回収しろ!!

ただし艦の速度は落とすな!!

木馬！
突進して来ます!!

被弾している筈ですが
減速しません!!

ザンジバルが追いつけんとは……な
トクメル被弾!!
ビーム砲!
直撃です!!
どこから撃って来た?!
木馬じゃないぞ!!

大型機二機交戦域を旋回しています!
そいつらかあっ!!

砲撃しろオ!!
キャメルスワメル二艦で木馬を仕止めるぞおおっ!!

撃て!!
撃てぇぇ!!

――の白い(しろ)ヤツが
あのリックドムは?!
なにぃっ?!
フランシィです
ヤツも
聞えんないぞ!!
ガンダムは見て(み)
いないと
ガンダムがいないそうですっ!!

そんな筈はない
ガンダムは…
いるはずだ

0方向から接近するものがあります!!
モビルスーツらしきもの!
熱源体
接近!!

どこなんだ?!
ドレン大尉!!

なにか?!!

本艦ではありません!!

ス
カー
っ!!

ガンダムだ
あの白いヤツだ…
!!

ドドドド

ズズ

敵艦隊
全滅です

追尾してきている敵艦は?!

接近して来ていますが
まだ有効射程外です

どう思うミライ?
ふり切る自信はあるけど

追いかけては来ないでしょうね
今の私達の戦いを見れば

ことに
シャアのような人だったら

そうだな
うん
そう思う

最大戦速で現空域を脱出する!!

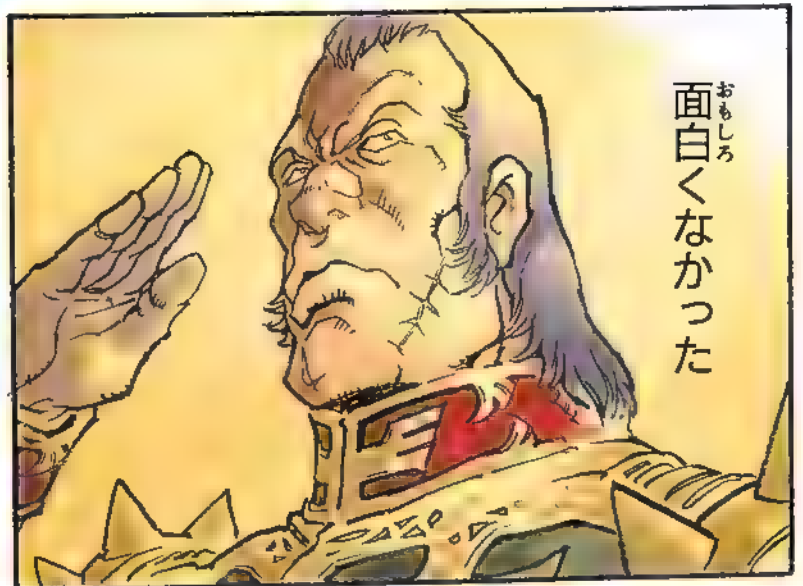
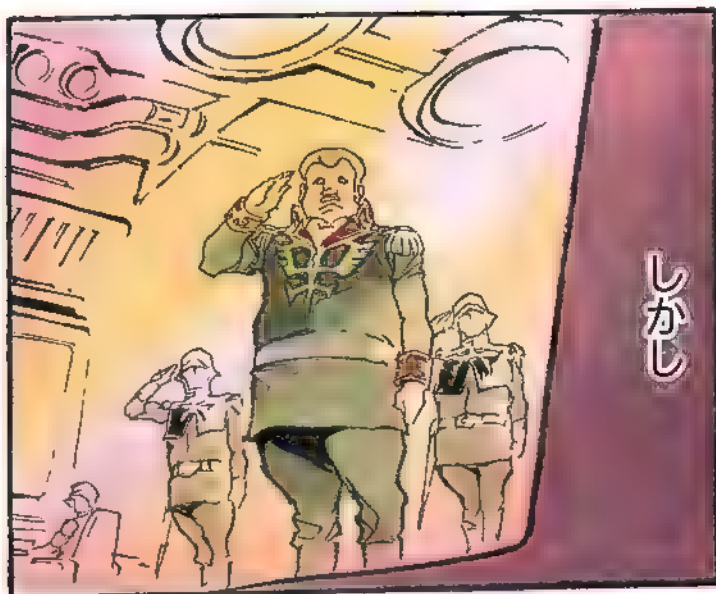
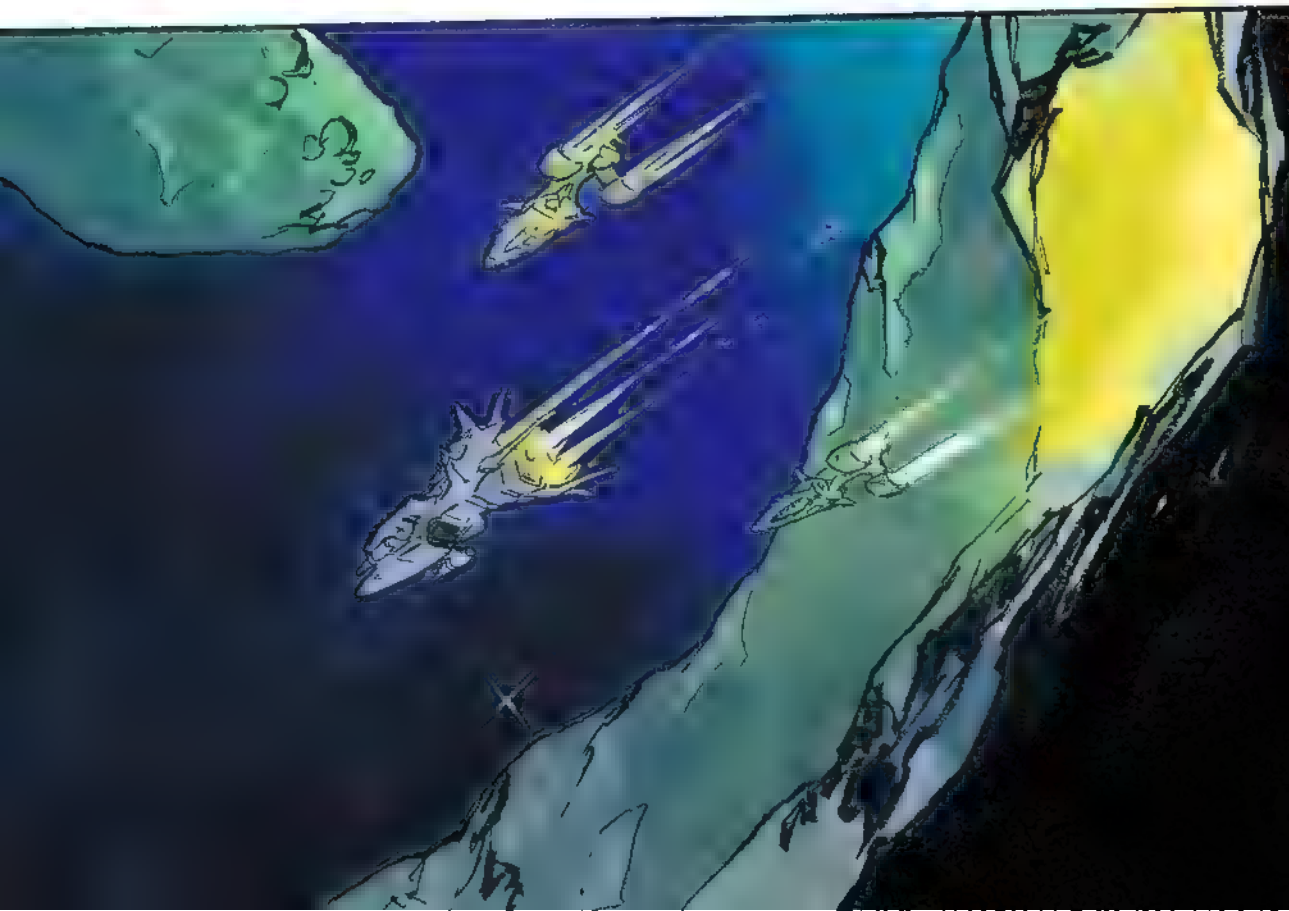
ガンダムとコアブースターを収容しろ

ララァ編・前
SECTION
II

――かつて
サイド1のあった空域――

現在　ここには
ジオン公国宇宙軍の拠点
〝ソロモン〟がある

ドレンの艦隊を撃破した
ホワイトベースがサイド6に寄港
しようとしていることに対しても
疑念を抱いていた　更に
彼が罷免したシャア大佐を

その無能さにも拘らず
姉　キシリアが
重用している
らしいことも

面白くなかった

しかし

ルナツーに集結しつつある
地球連邦軍主力艦隊の
目的がわからぬ限り
コンスコン少将の艦隊以上の
戦力をさくわけには
いかなかった

グラナダへ向かうんじゃ
なかったんですね

陽動作戦だ
グラナダのキシリア軍は強力だからな

敵は分散させて叩く
そのために本艦は様々な任務につくだろう

なるほどね
でも
何故にサイド6？

軍令がなければ…
誰が寄るものか！

知るか!!

接舷の許可を求めてきています
入港時に臨検するそうです

入国審査官のカムラン・ブルームです
ごくろうさまです
入港を許可します　ただし
武装はただちに封印します
異議ありません
どうぞ
大砲　ビーム砲　ミサイル発射口
すべてにこれを貼ります
一枚でも破られると
たいへんな額の罰金を払わなければならない
承知しています
補給は
どの程度可能でしょうか?
それもできません
すべて戦争協力になりますので

ふ…

航海記録を拝見します
艦橋は？

案内します
どうぞ

ちょうど入港するところです

ホワイトベース入港！
繋留用意！

三六〇度レーザーセンサー開放！

バランサー両舷よし！
微速前進

動力弁閉鎖！
ベイに入ります！

ミライ!!

……

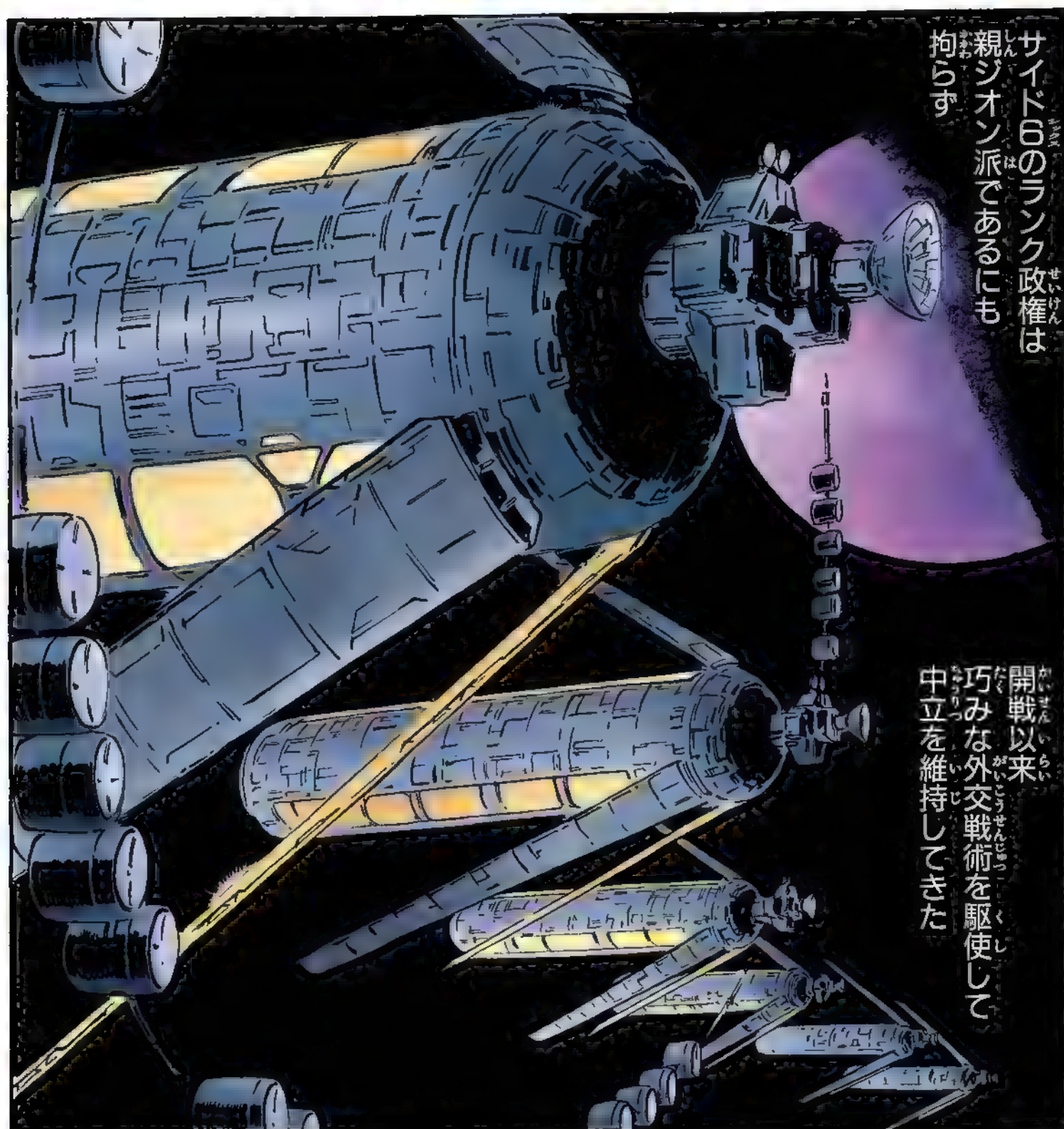
ミライ!!
あああ
ミライじゃ
ないか!

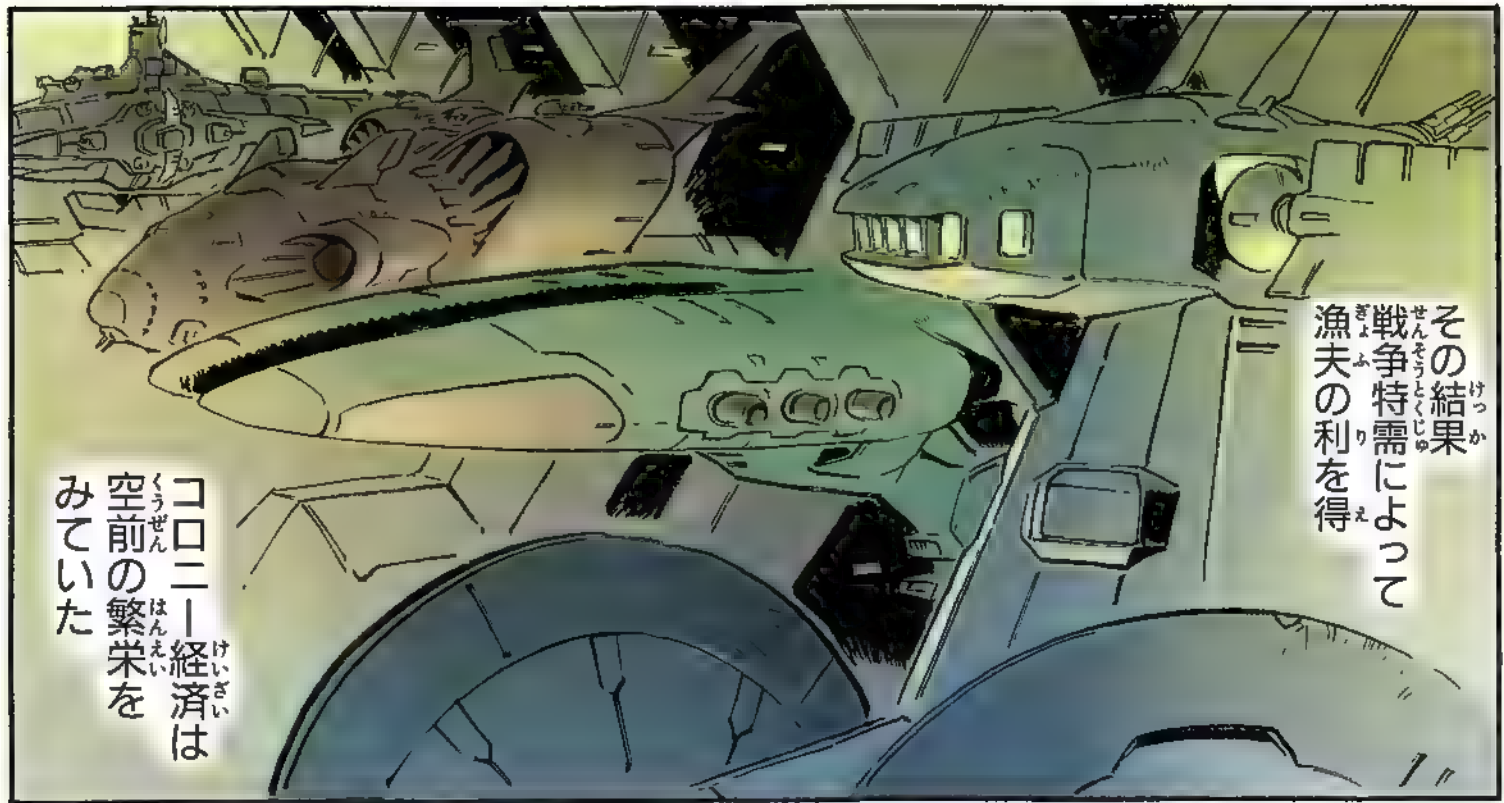
ミライ
生きていて
くれたん
だね
ミライ!!
カムラン
あなた…

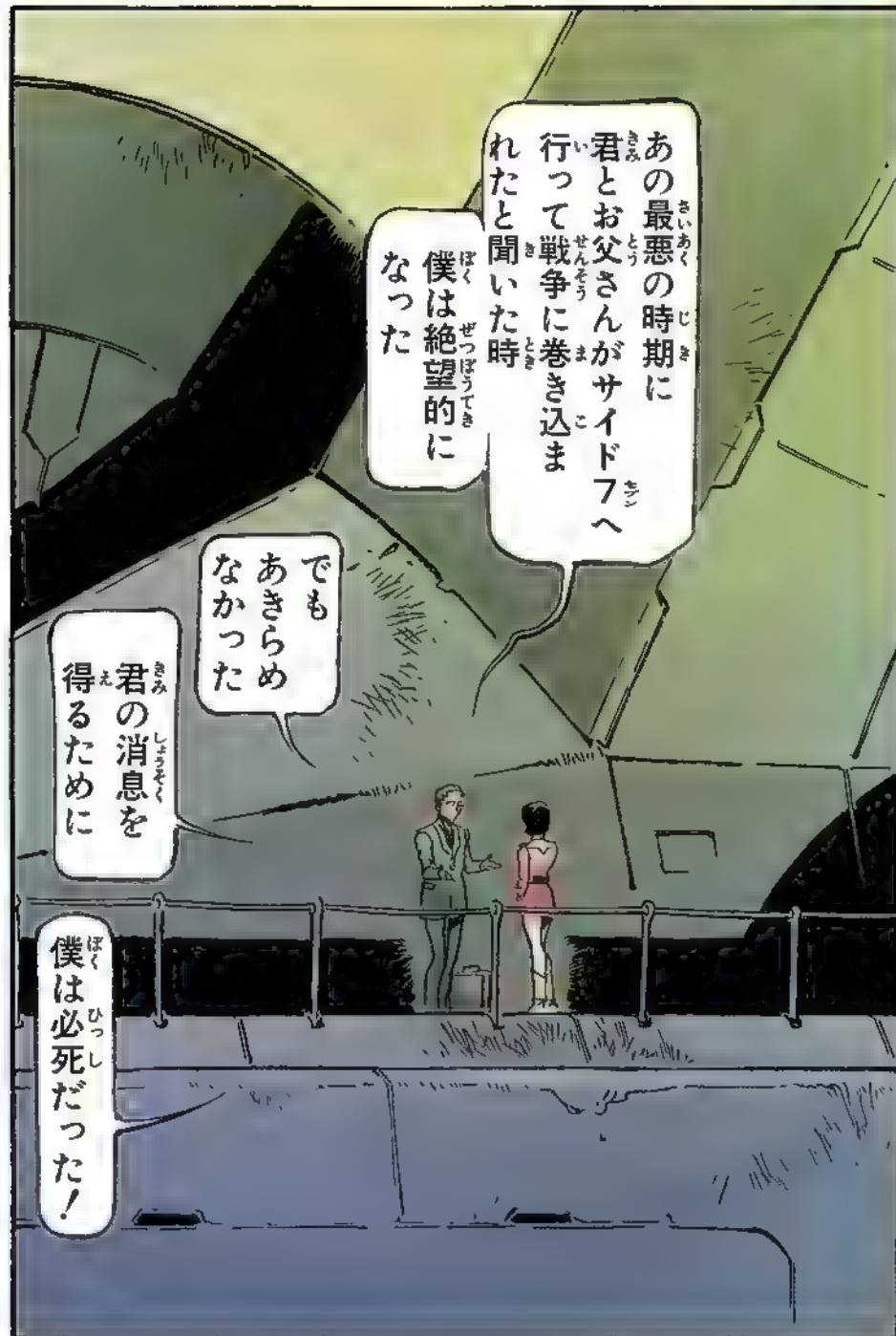
あ
あなたこそ
お元気で…

どなた?

カムラン審査官！入港中です!!
遠慮していただきたい!!
？
親戚かなんかじゃないの？
ミライ准尉も！
あ
ああ 大尉すまない
……
………
チラ…

フィアンセと
いったって
親同士が
決めた話よ
戦争が嫌い
だから
コロニー
公社に入って
今はたしか
サイド6に…

サイド6のランク政権は親ジオン派であるにも拘らず

開戦以来巧みな外交戦術を駆使して中立を維持してきた

その結果戦争特需によって漁夫の利を得
コロニー経済は空前の繁栄をみていた

うれしいよ
もう君には会えないとあきらめかけていたんだ

あの最悪の時期に君とお父さんがサイド7へ行って戦争に巻き込まれたと聞いた時
僕は絶望的になった
でもあきらめなかった
君の消息を得るために
僕は必死だった!

必死
で？

ああ
必死で
捜させた
いくら費用が
かかったか
知れないくらいだ

捜させた…
そう…

なぜ
自分で捜しては
くださらなかったの？

そりゃ
ちがう！
ちがうよ
ミライ！

ここへ赴任
したばかりで
僕も忙し
かったんだ
それに！

まさか君が軍艦に乗っているなんて
考えもしなかった！

……

判らないよ なぜこんなことになっているのか！
馬鹿げている！
君が軍人だなんて！

ゆっくり話しあおう
そうだ！父と会ってくれ！
父はランク首相とも親しいから よろこんで力になってくれるよ!!

ちょっと待って
ちがうのよカムラン
悪いようにはしないよミライ！
君のためなら

失礼
ぬ〜っ…

!?
ヒョイ!
コン!

どすっ!
ヘタなちょっかいを出してもらいたくないもんだなあ
いいの!
もういいの
スレッガー中尉
ホントですか?
ええ
ええ
ずる
ずる…
だとよ
やさ男さん

ピン!

ホラ眼鏡いったぜ

あ

カムラン大丈夫?
ああ
ご婦人の口説きようがまずいということらしい…

そうだな?
中尉

そういうことさ
よく判ってるじゃないか

ミライ准尉はホワイトベースのお袋さんなんだからな
気をつけてくれよ

……
……

MARKET
FOOD

ひや〜〜〜
すごいぞ すごいぞ

FOODS
ひゃっ ほ〜〜っ
これで少しは変わったものを食べさせてやれるな

?
あしたはもっと
い——っぱい
お船に
届くん
だよネ
うん
急がせて
おいたからね
P
どうしたの
アムロ？
Bo
FAIR
SALE
Books
CASH

え
?!
父さん――!
MEN'S SALON
RESTAURANT
CAFE
MODE
茶
先に戻ってて!
STOP
Toy

BAR
おい!!
RESTAURANT
COFFEE
す
すみません

SALE
さん!!

父さん？
何だよ

ROOT 6
ゥゥゥ///
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
はあっ
はあっ
はあっ…
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ

ピ
ピ
ピ
父さん!!
SALE
父さあん
おう
アムロか

ガンダムの戦果はどうだ?
順調なのかな?
?!
あ
はい父さん!
ん
来るがいい
……
はいっ
No.2

ほら
何をしている
はいって
はいって!

ここは?

ジャンク屋というのは情報を集めるのに便利なのでな

ここに
住み込みをさせてもらっている

いいものを見せてやる
最新の研究の成果だ!

ゴト‥

こいつを
ガンダムの記憶回路にとりつけろ

ジオンのモビルスーツの回路を参考に開発したものだ

——こんな古いものを…
こいつは今までのとは違って瞬発力が

父さん——
酸素欠乏症にかかって……
数倍違うんだ

すごいぞ！ガンダムの戦闘力は
数倍にはねあがる！

さ
もっていけ！
あ
はい
でも…

父さんは？

研究中のものがまだいっぱいある
また連絡はとる

ささっ
行くんだ!!

うん……

……父さん
僕――

故郷で
母さんに会ったよ

ぶつ
ぶつ
ぶつ…

父さん…
母さんのこと
気にならないの?

父さん!

うん
戦争はもうじき終わる
そうしたら一度
地球へ行こう

そうじゃなくて…

いそげ!!
お前だって軍人になったのだろうが!!

ダダダ
ダダ
ダダダ

う
うう
あ

う
う

うううう……

ララァ編・前
SECTION
III

お帰りなさい

降りていたんじゃ
なかったのか？

ええ
ちょっとね

チクチク…

やっぱり
いられないの？

あ？
ああ

なんだかんだと言って
追い出したがっている

中立が聞いてあきれる
港の外にはジオンの艦隊が来て待ちかまえているというのに

はい

戦局は最終局面に入っているからなァ

ランク政権も神経質になっているんだろう

え?
あ??

俺の……?

肩のところがほつれてたわ
艦長さんなんだから大事でしょ
身だしなみは
こういうことは
当番兵に…
ふふ…
あの人達の手つきじゃ不安だから
………
あとどれになさいますか？
fresh FRUIT
あ　はい
え───と…

あれと
これと
4050
ピピ…
足りないんですけど
はいっ
す
すみません
アムロは?
街へ行っているわ

お父さんが見つかったんですって?
ああ…
かわいそうな…
子
どうせ長くは一緒にいられないにしても…
寄港しているだけでも
問題だっていうのね
そう
ランク内閣にはザビ家が相当テコ入れを
しているのサ
………

街へ出なくても
いいのか？
チラ・
ウフ…
ちょっと
ね
あ…
んー
話は……
したんだろ？
こほん・
カムラン審査官とは

ちがうのよね――
あの人…

……
ちがう?

………
…………

戦争を

自分とは
関係のないもののように考えてる

………

あれでは
たまらないわ

………
そうか……

……しかし

人の縁は
大事にした方がいい

本気で言ってるの?

え?

……

そりゃあ
まあ

俺だって
生きている間ぐらい 人並みに 上手に生きてみたいと思うけれど…

不器用だから
な

コッ
コッ
コッ
コッ

……

コン

……ほんと

そう…
なのよね

フフフ…
そうか
私としても
そりゃあ
うれしいよ
おまえが
ガンダムの
パイロット！

で?!

ゆうべ
渡した
部品は
どうだった?!

ほら
あ!!

——え?

おまえに
わたした
新型
メカだよっ

あれは
絶大な効果があっただろう?!!
ないわけは
ないんだ!!
あ?
え?
アムロ!!

え
ええ…
そりゃあもう…!!
そおおか!!!
うまくいったか!!
ドン!
ああはははは
ははは
ははははは

よおおしっ やるぞ!!
じっくりと
新開発にうち込むぞおっ!
はあっはあっ
ハハハハハハハハハ
そうかうまくいったか!
はっはっはっ
うんうんそうサ
私の作ったものだからな
バサ
バサ…

お父さん……

ガンダムが先だ!!
早く通せ!!
父さ〜ん!!
ホワイトベースへ行けー!!
父さんはモビルスーツのほうが!

ポツ
ポツ
!!
あちち

天気の予定表
雨だったかなあぁっ
ゴン…
ドコン…
ブルルル…

ガコン

かわいそう

ザァ

ピチャ

かわいそう

?!

ちょっと玄関で雨やどりを
あのォ
いいですか？
すみません
とつぜん——
あの鳥
好きだったんですか？

美しいものが
嫌いな人が
いるのかしら？

それが年老いて
死んでいくのを
見るのは――
悲しいことでは
なくって？

あなたは
なにも感じな
かったの？

いや
そうじゃ
なくて
僕が聞きた
かったのは…

やんだわ!!

うふふ…
きれいな瞳をしているのね
そう…ですか？

―ララァ編・前
SECTION
IV

まだかああっ

木馬はまあだ
出て来んのかああっ!!

はっ
出港の気配はありません
ドック内にも偵察員を貼りつけているのですが
格別の変化は見られずと…
けしからんっ!!
ランク政権の奴等…
木馬を追い出すととうに確約しておるのに…
こんなサムイ港外でいったい いつまで待たせる気だ!!
許せんぞっ!!

04

しょうがねえでしょ
しかし
一個戦隊が待ちかまえているんだぞ
どうしても出ていけというんじゃあ

特にチベ級戦艦は強力だ
火力も推力もホワイトベース以上だしモビルスーツも八機は積載可能な筈だ
今度は戦って勝てる保証はない
うん聞いている
通してくれ
カムラン審査官が来られました

カムランさん
出航のことでなにか？
いいえ
プイ

変更ありません
貴艦は今日中にここを出なければなりません

そう……ですか

ただ……
待ち伏せているジオン艦隊はサイド６の空域内でもあなた方を攻撃するかもしれません
だから…

せめて私に
水先案内をさせてください

指揮官のコンスコン少将は功をあせっているようですからルールを守るとは
限りません

入管当局としては越権行為ですが楯代わりにはなると思います

そうですかそれはありがたい

カムラン！

どういうつもりであなた　そんなこと！

余計なことを
していただきたくないわ!!

ミライ……

き　きみに
そういう言われ方をされるのは心外だなァ
これは
あなたには関係のないことでしょ！
ぼ
僕はねっ
ミライ！
……
……
君がこの艦を降りないというからせめて——
それが余計なことじゃなくてなんなの!!

そ
そういう言い方こそ
侮辱じゃないかっ

いまさら自分が役に立つ人間だと思わせたって!

そ…そんな卑屈な気持ちじゃない

あたしが…
僕の誠意だって…
あたしがいちばん辛かった時には知らん顔で!
いまさらっ
で でも
僕にできることってこれくらいかもしれないけど
き きみにわかってほしいから…

けっこうですっ!!

ミライ!
僕はべつに
押しつけるつもりは…

!

ぱし！
！
！！
！

この父は本気だなんだわかるっ!!
そうでなかったらこんなバカが
言えるか!!
あんたもあんたじゃないのっ!
いくら自分の家の庭先だってミサイルが一発飛んでくりゃ命はないんだよっ!!
中尉…

あんなにグダグダいわれてなぜ黙ってんの？
なにも
殴らなくたって…
本気なら
殴れるはずだ
そ そんな
野蛮な
…………
ニヒ

そうだよ
カムランさん
気合いの問題なんだよ

なっ
准尉サン

……

ははははははは。。。

すまん
悪かった悪かった

……
……

さっきの件
お気持ちが変わらなければお願いできませんか
カムラン審査官

え？
あ…
ええ

いいな？
准尉

……

艦長の
よろしいように

いよっ

おかえりニュータイプ！

はあっ？
なんです？
アムロには関係ないわ
クイ！
クイ…
え？

御協力に感謝します
では後ほど

アムロ!
なんだ?!

お父さんと
別れを?

あ
はいっ

あのォ……

それは昨日済ませたんじゃなかったのか!!
はいっ
そうなんですが…
あ わかった!
許可する!
ただしすぐに帰るんだぞ!
出港までにもう時間がないんだ!
はいっ
総員点呼は二時間後だ!
それまでに帰艦しないと
敵前逃亡とみなすぞ!!
わかりました!

キキ
キュッ!

バゴン
ドン.

ブル
ル
ルル…

CLOSE

もう
いないんだ……

CLOSE

コッ
カッ

アムロ!
聞こえてるか?!
一時間半経った
現在地を知らせろ!
点呼に遅れるぞ
ただちに帰艦せよ!!
聞こえているのかアムロ?!
応答しろ!!
あ

ズル
しまったあ
どうしたアムロ?!
泥道の輪だちにはまりました
ナニ?!
すみません
急いでいたので
大丈夫か?!
なんとかします!!
ヴォオオー

まいったなあ…

わっ!
チェッ!
キッ!
ブルルル!
ブォ
ブォロ!
ウイィィ!

なにぶん

運転手が未熟なものでねえ……

シャア!!
泥はかからなかったかね?
あ
?!
はい
よけられましたから
そうか…うん
それはよかった

ごめんなさい

スピードを
出しすぎてたみたいね

ーーい
いえ
……
うーーん
車で引かないと無理だなあ

ララァ
トランクを開けてくれ
はい

君も手をー
!

アムロ
レイです!

うん?

アムロか……
不思議と知っているような名前だな…

……

そう
知っている
ザシュ

ザシュ
カッ
コッ
ウィィ

僕はあなたを…
知っている

クス…

……

そうか…

ララアって

いうんだ……

ガッ

コッ!

ザン…

あ　すみません！
お手伝いします
かまわんよ

済んだ

すみません本当に

シャア・アズナブル

あのォ
お名前は…

ご覧のとおり
軍人だ

ララァ
車はゆっくり発進させるんだ
はい大佐

シャア…
アズナブル……

あれが…
シャアか…

初めてなんだ…
これが……

ブルルル…

どうした?
下がれ アムロ君!

ブルル…
それにあの娘
ララァ……
どうして
シャアと…?
はああ……
……
終わったよ
アムロ君

アムロ君
君 歳は
いくつだ?

!
じゅ
16歳です!

16か…
若いな
敵の士官を見て
硬くなるのは
わかるが…

君の愛車に
なりかわって
せめて
礼の一言
くらいは
言ってほしい
ものだな
!!
あ

ダ

どうも
ありがとうございました
こんなの
い
いいんです
汚れるのは私だけで
よかったのにな

ほんとに
ありがとうございました!!

バムッ!

ブルッ
ブルルッ

どうしたんだ
あの少年？
フフ……

怯えていたんですよ
大佐が赤い彗星のシャアだとわかったので……
そうかな

フフ……
だろうな
多分

―ララァ編・前―
SECTION
V

遅いぞ!!
ハッチ閉鎖五秒前だ！
すぐに出港だ！
パイロットスーツに着替えてデッキに直行しろ！
アムロ・レイ准尉
帰艦しました！

よォしっ
エア・ロック閉鎖!!

ガントリーオープン!
総員戦闘配置につけ!

アムロめ…
いつもいつも…

管制室より指示です
出港せよと言ってきています

入管局のランチ出ました
航路クリアー

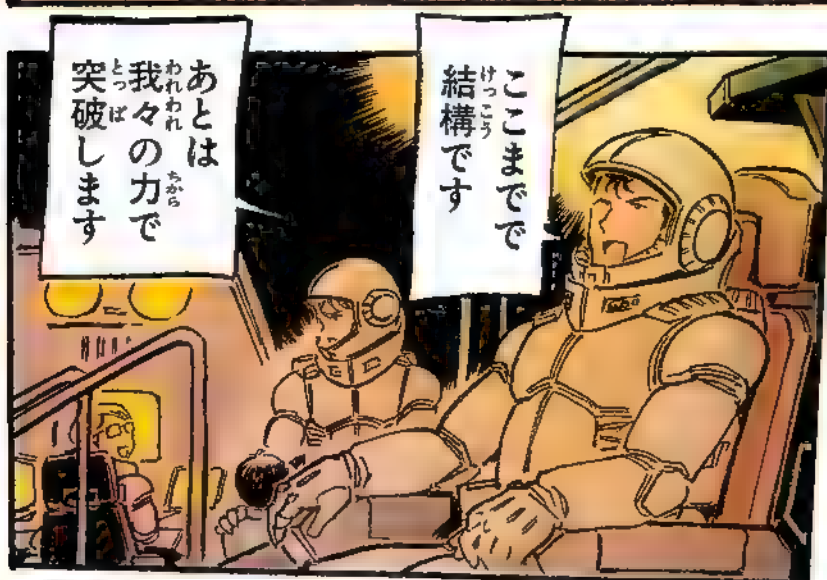
…………
メインゲートフルオープン

木馬が出港します!!

出て来おったか!
ついに!!

カヤハワの情報は正確だったなっ
はっ
ですが…

ん?

なんだ?
随伴艦―か?
入国管理局の船です

サイド6の領空内で戦闘が始まらないように領空線まで誘導するから
手出しをしないようにと言ってきています

ナマイキに!
入管の小役人ふぜいがっ!!

このオレに指図するとはいい度胸だ
かまわん!!
領空内であろうがなかろうがやる時はやるっ!!

リックドムを全機発進させろ!!

ゴオオオオ…

主砲はチベに両舷のメガ粒子砲はムサイに照準を合わせろ!
ただしまだ撃つんじゃないぞ!
合図があるまで発砲するな!
初弾は敵に撃たせる!
いいな!!

ズズズ

へっ
ぬけぬけとよくもまあ
スカート付きめ!
艦から離れないで!
わかってるよォ
カイさん!
挑発にのらないでくださいよ!

うわあっ
来る来る！

ああ〜っ
ひえええ

話がちがうじゃないスか
手当てはずんでもらいますよ
わかってるよ

ひぃいい〜

おわっ
あ〜〜っ

わあぁ〜〜っ
ギャ〜〜〜!!

来た、来た、来た。
きたよォ〜〜っ
あなたたち!!
駄目!
こんな所に来ちゃ!!
子供達にノーマルスーツを着せてやれ!
リツマ曹長!

フラウ!!
はいっ

はいっ!!

通信席
替われ!!

第一から第二船速!!
ムサイをマークして後ろをとらせるな!!

ここまでで結構です
あとは我々の力で突破します

カムランさん
カムラン審査官!

いいや領空を出るまでは
カムランさんっ!

ダメだよ
いっぱいいっぱいだよ
領空線までなんて とても…

カムランさん
…大尉

下がってください
我々は戦闘に入らざるをえないでしょう

カムラン！

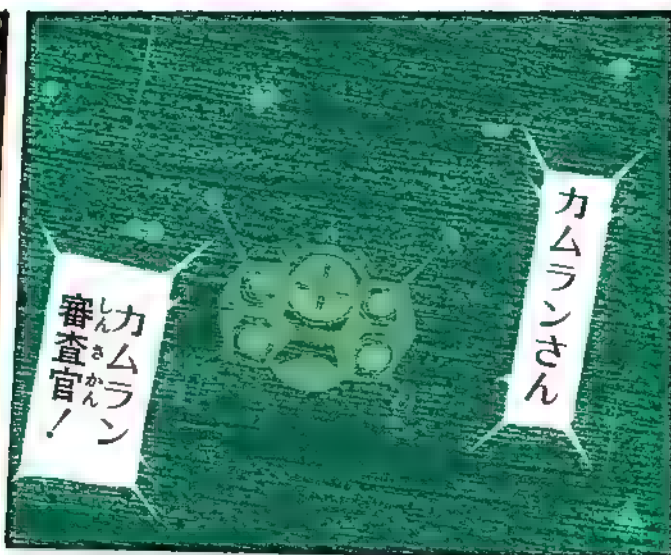
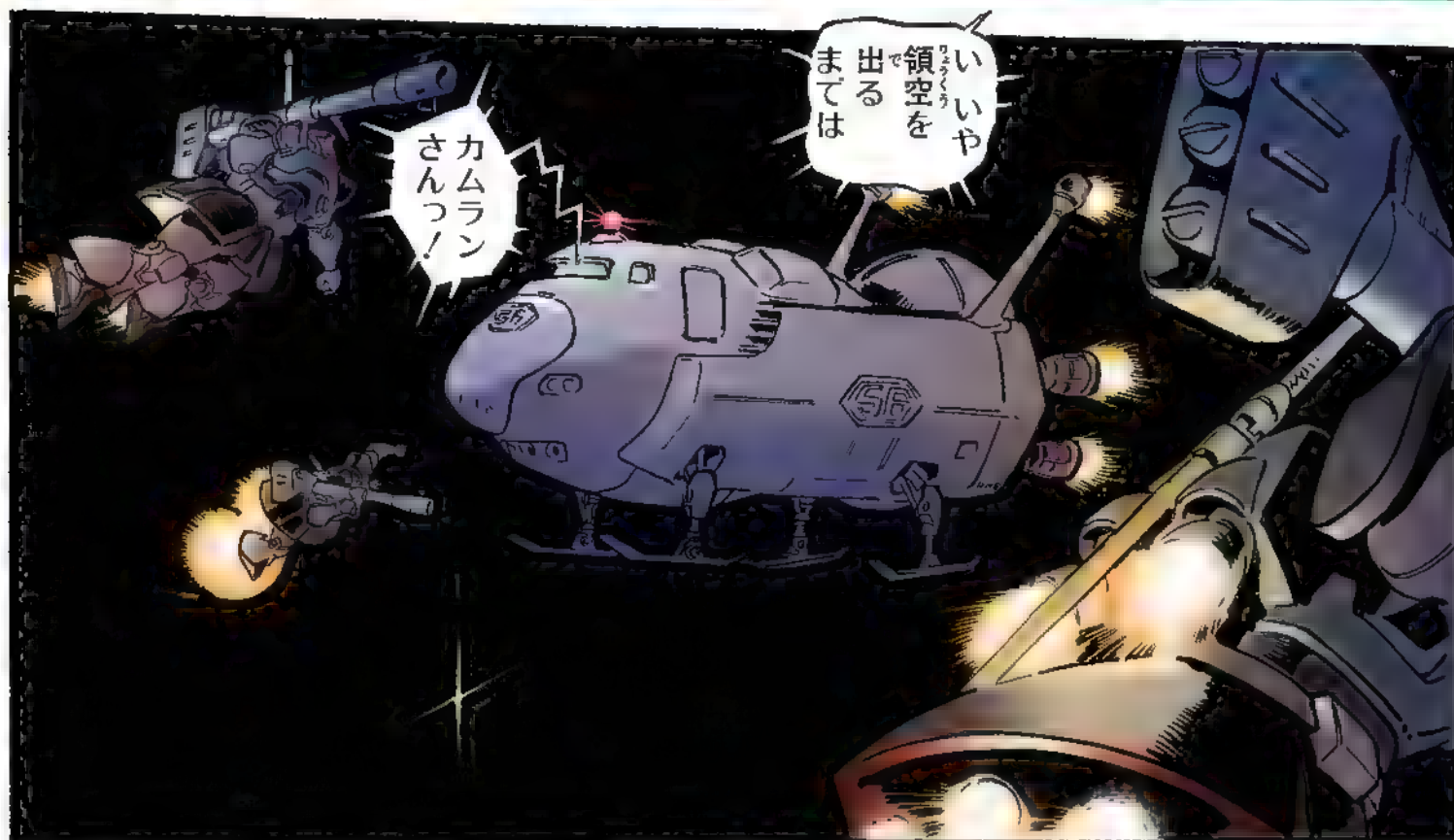
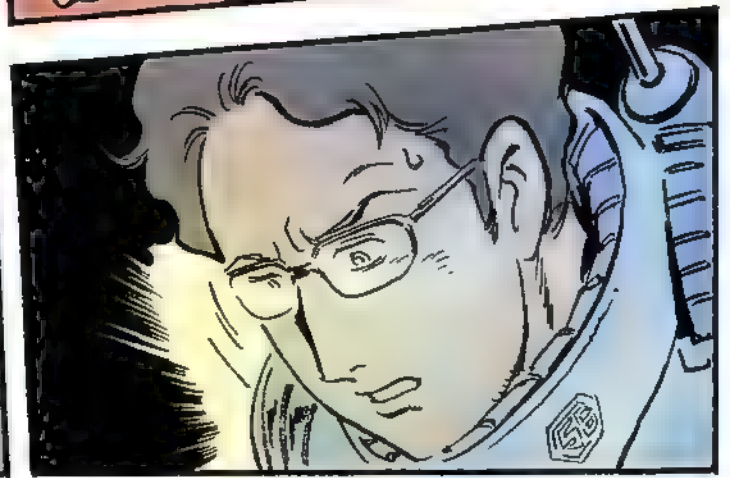
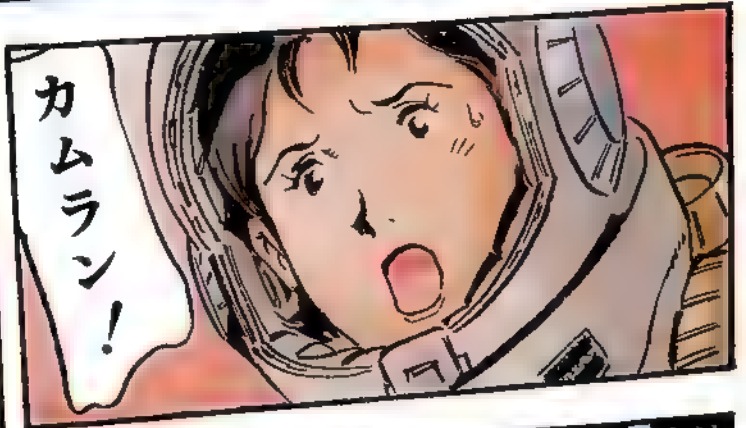
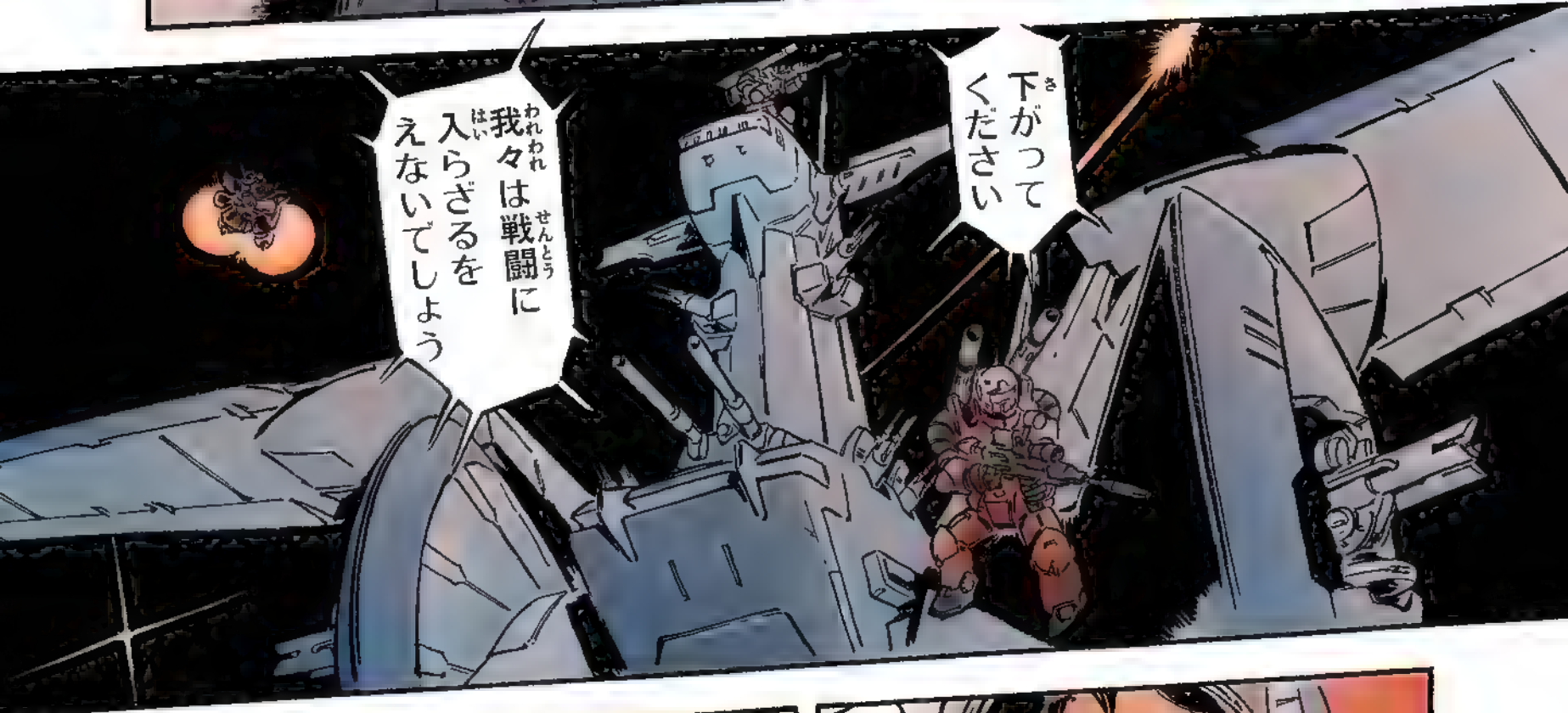
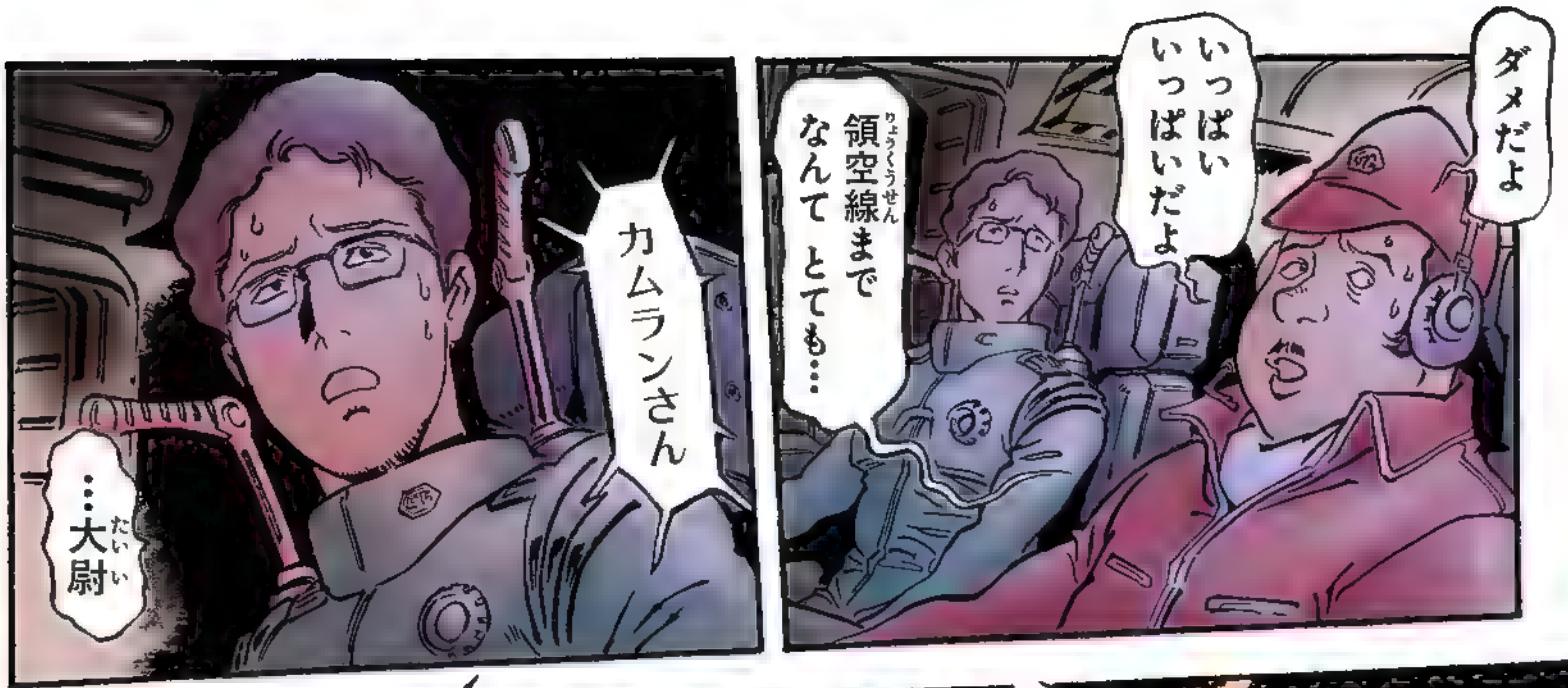
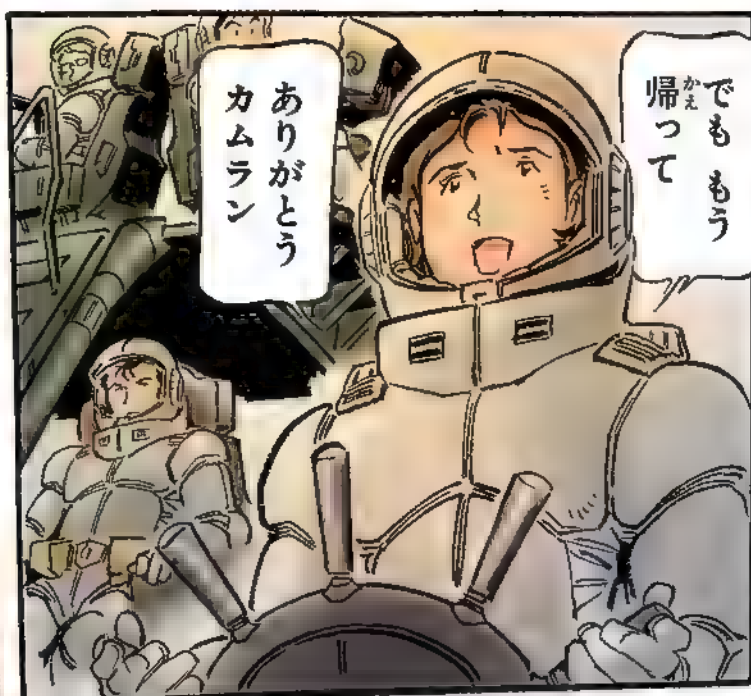
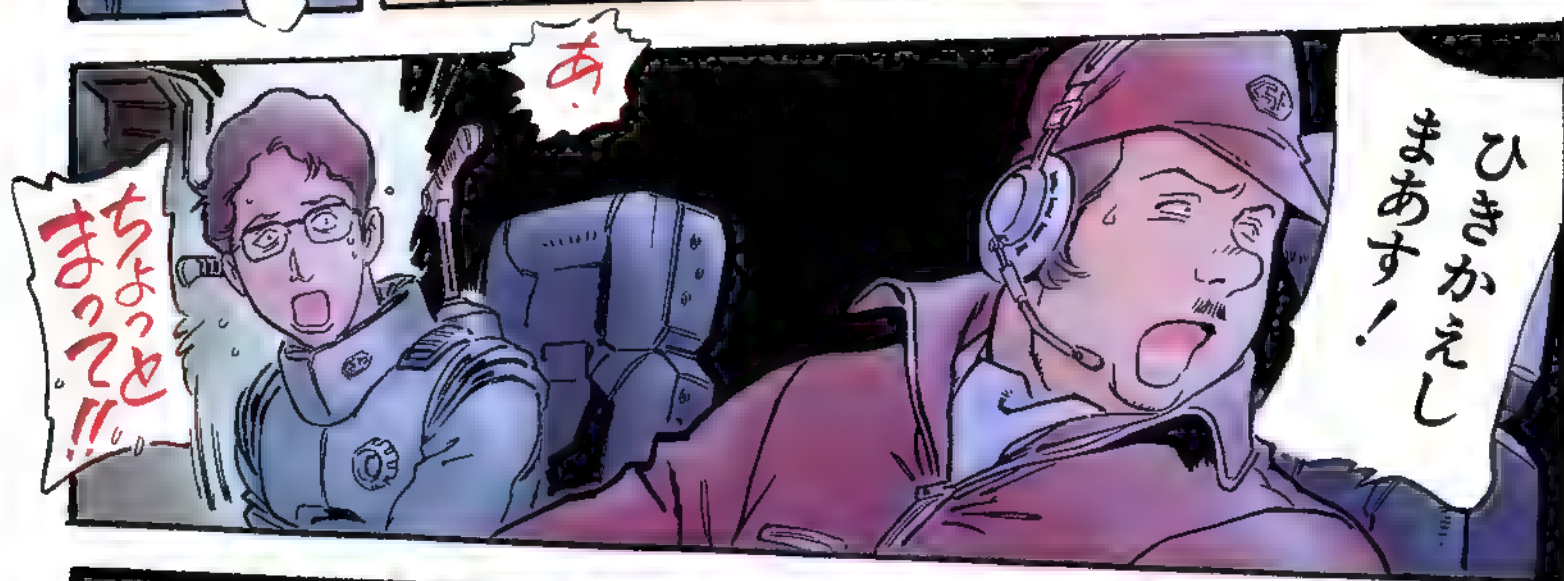
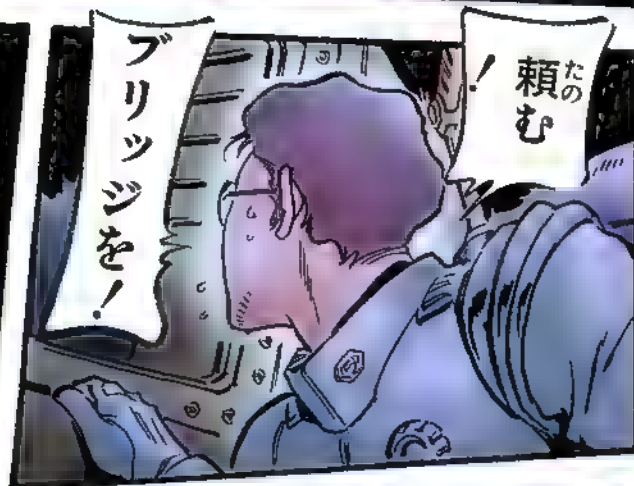
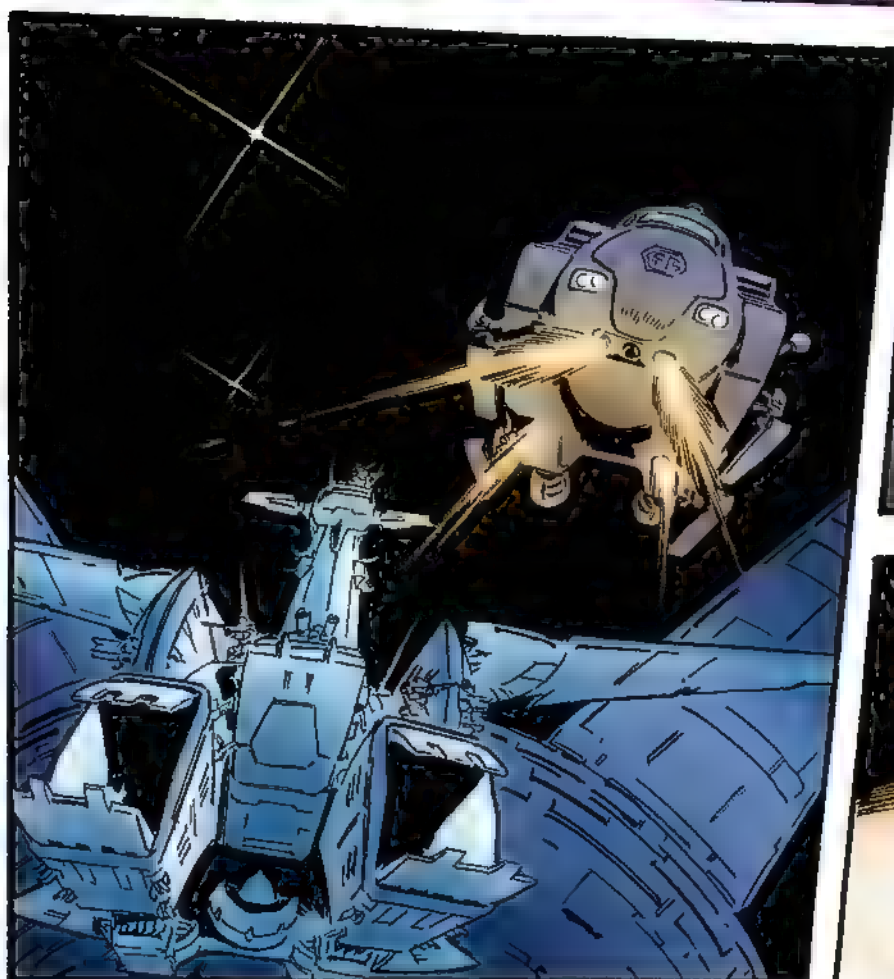
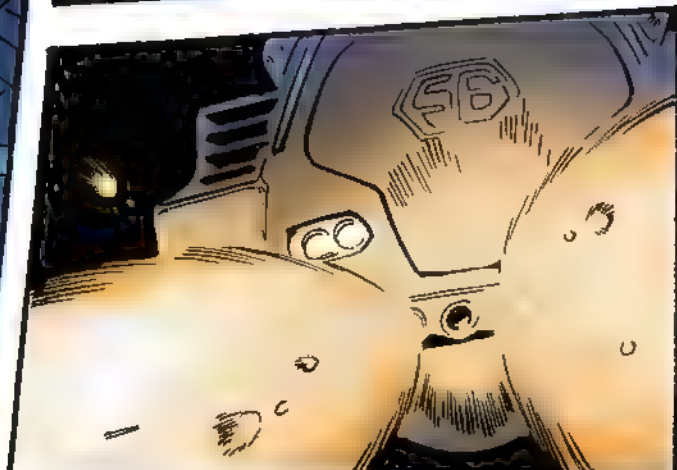
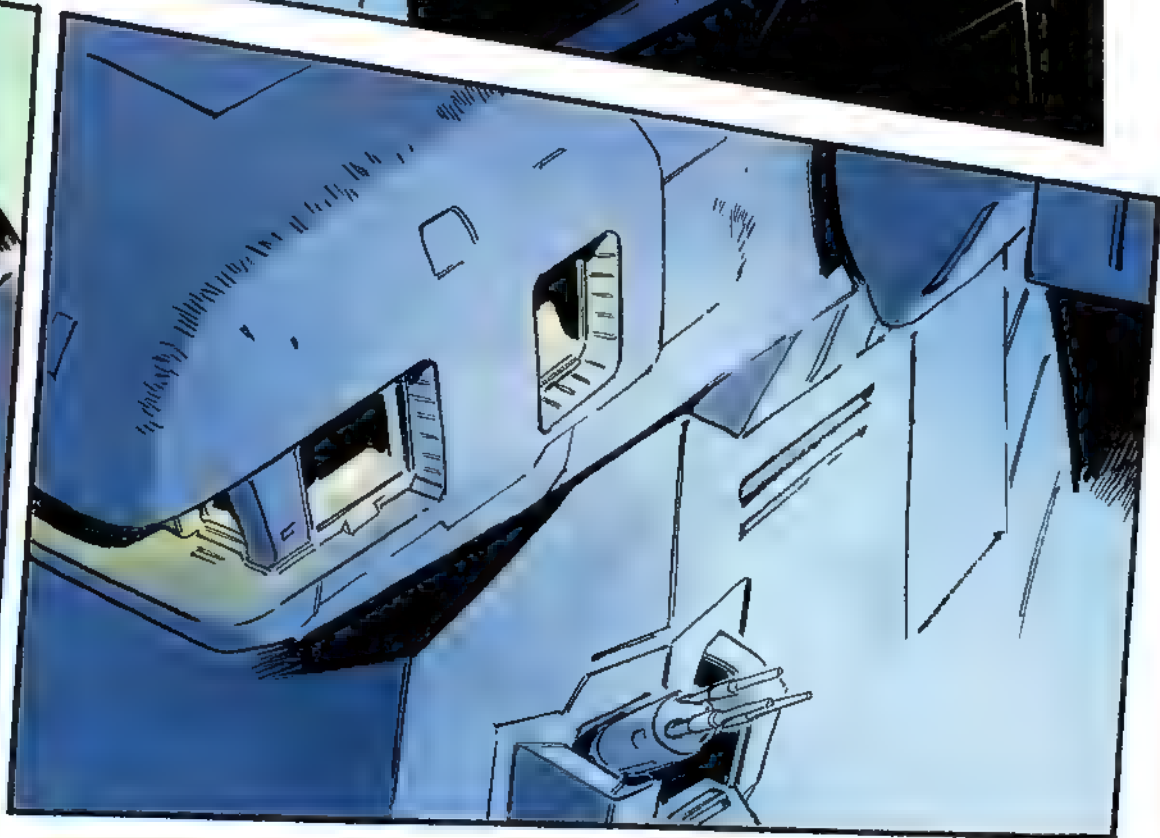
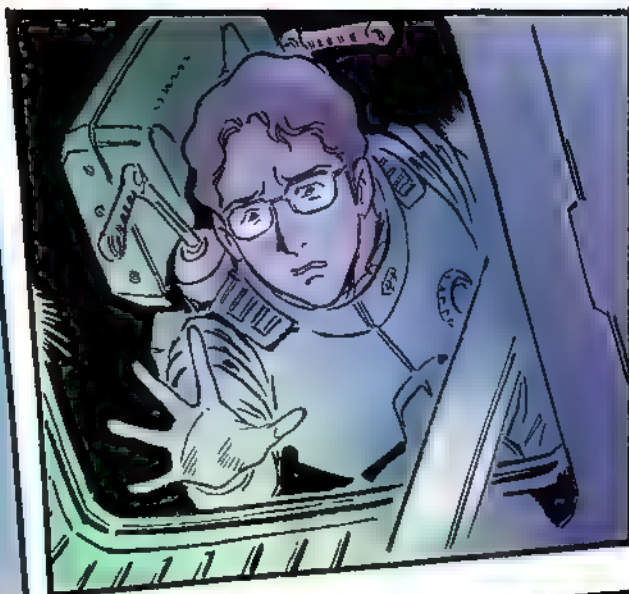
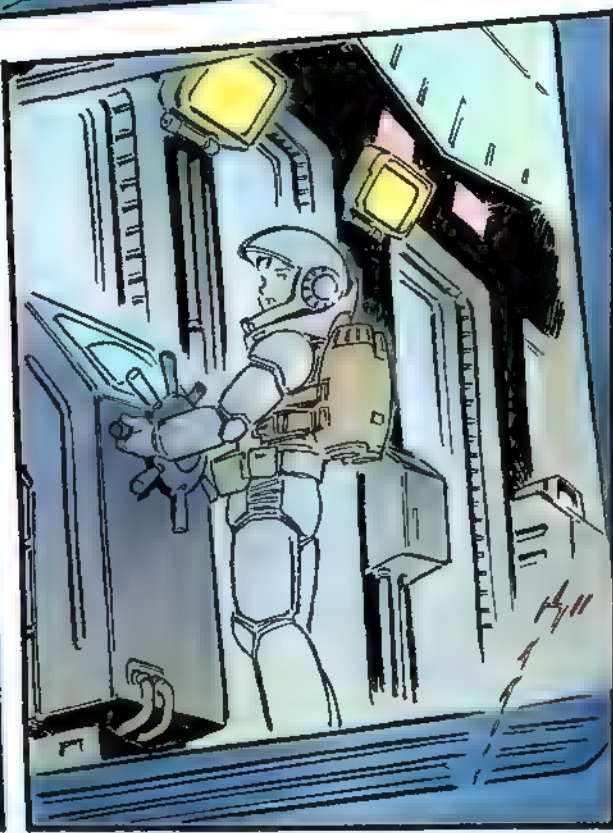
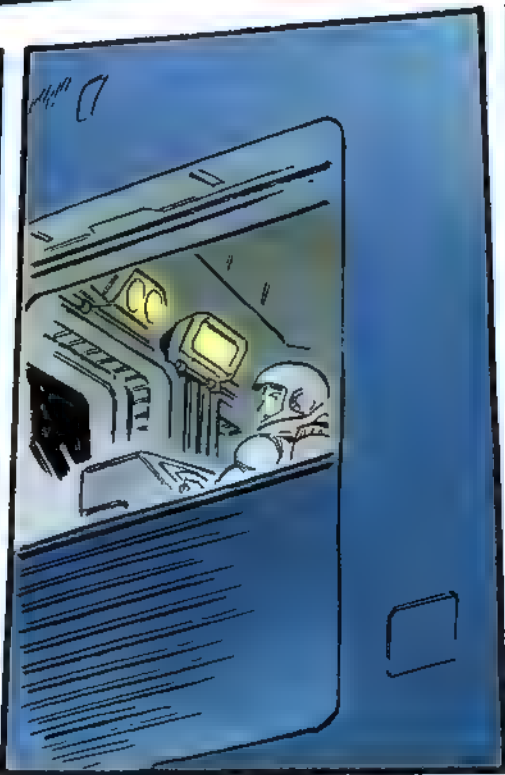
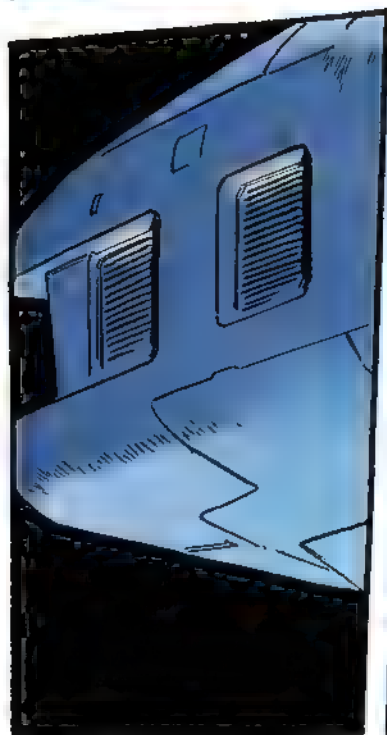
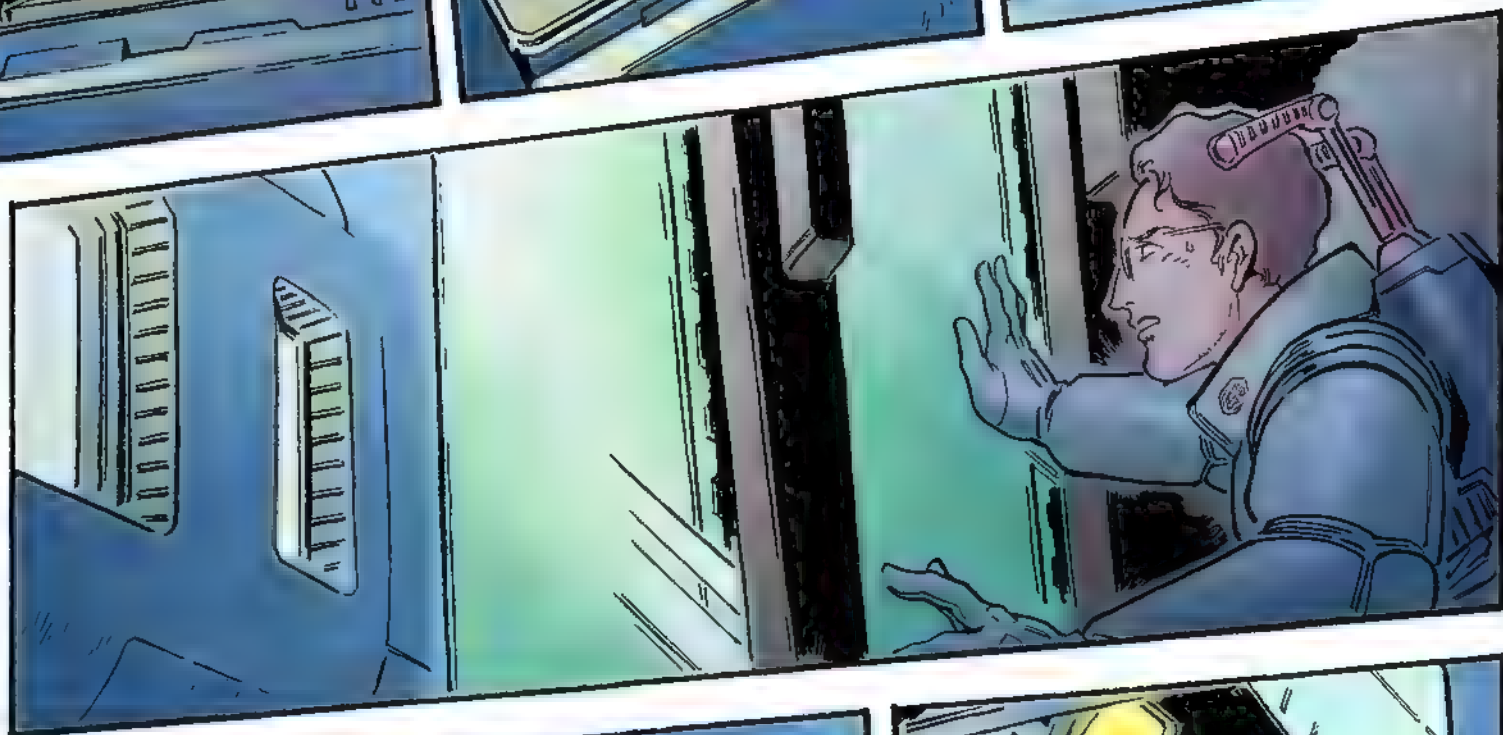
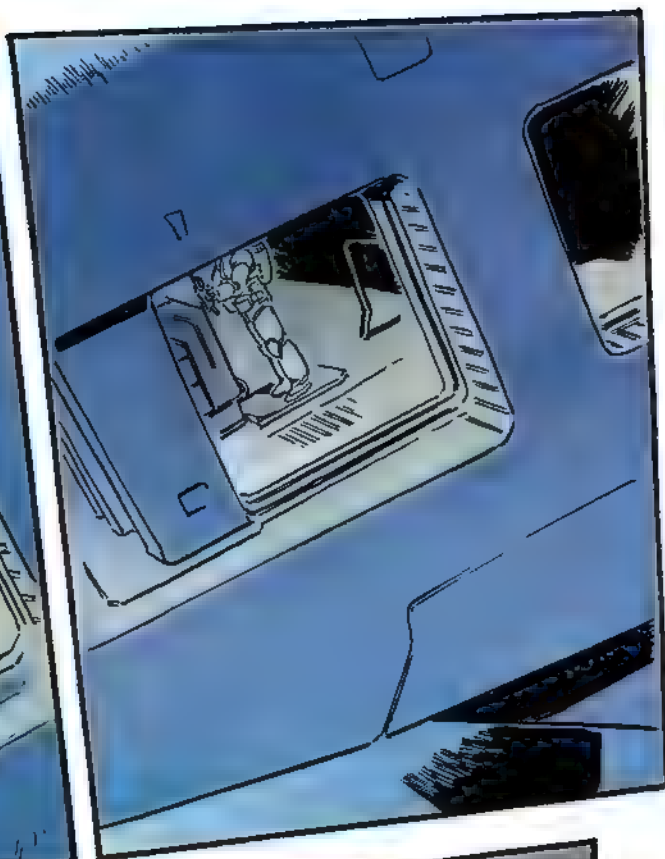
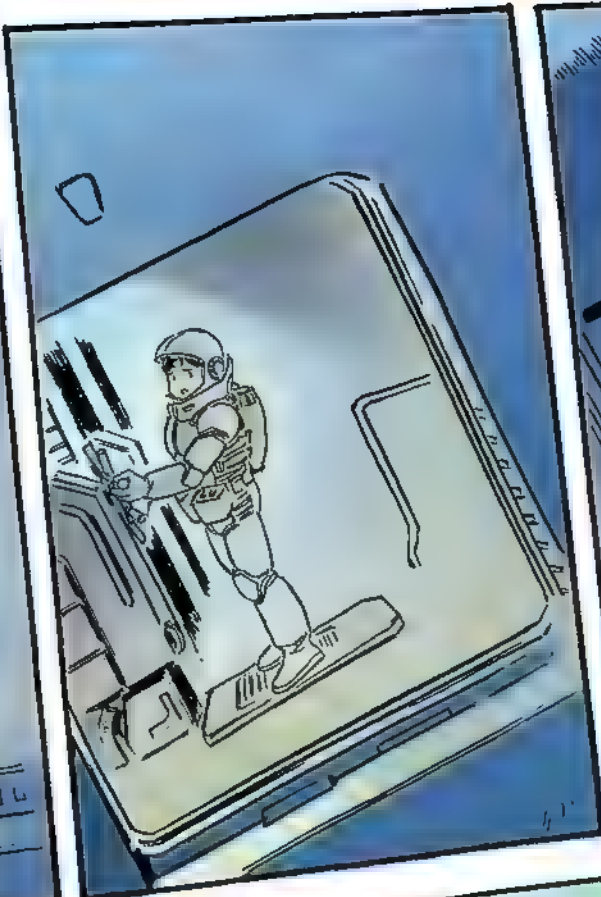
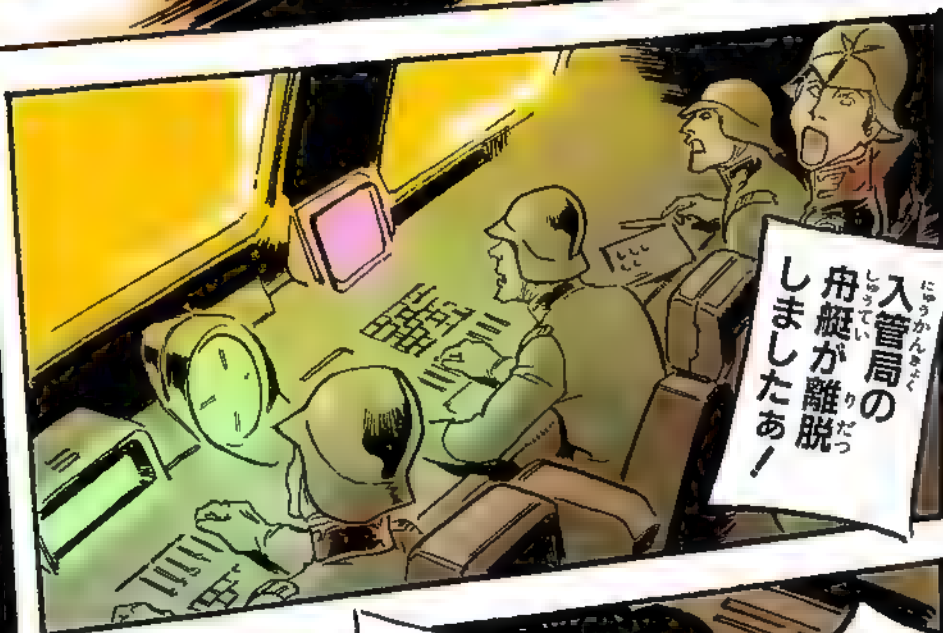
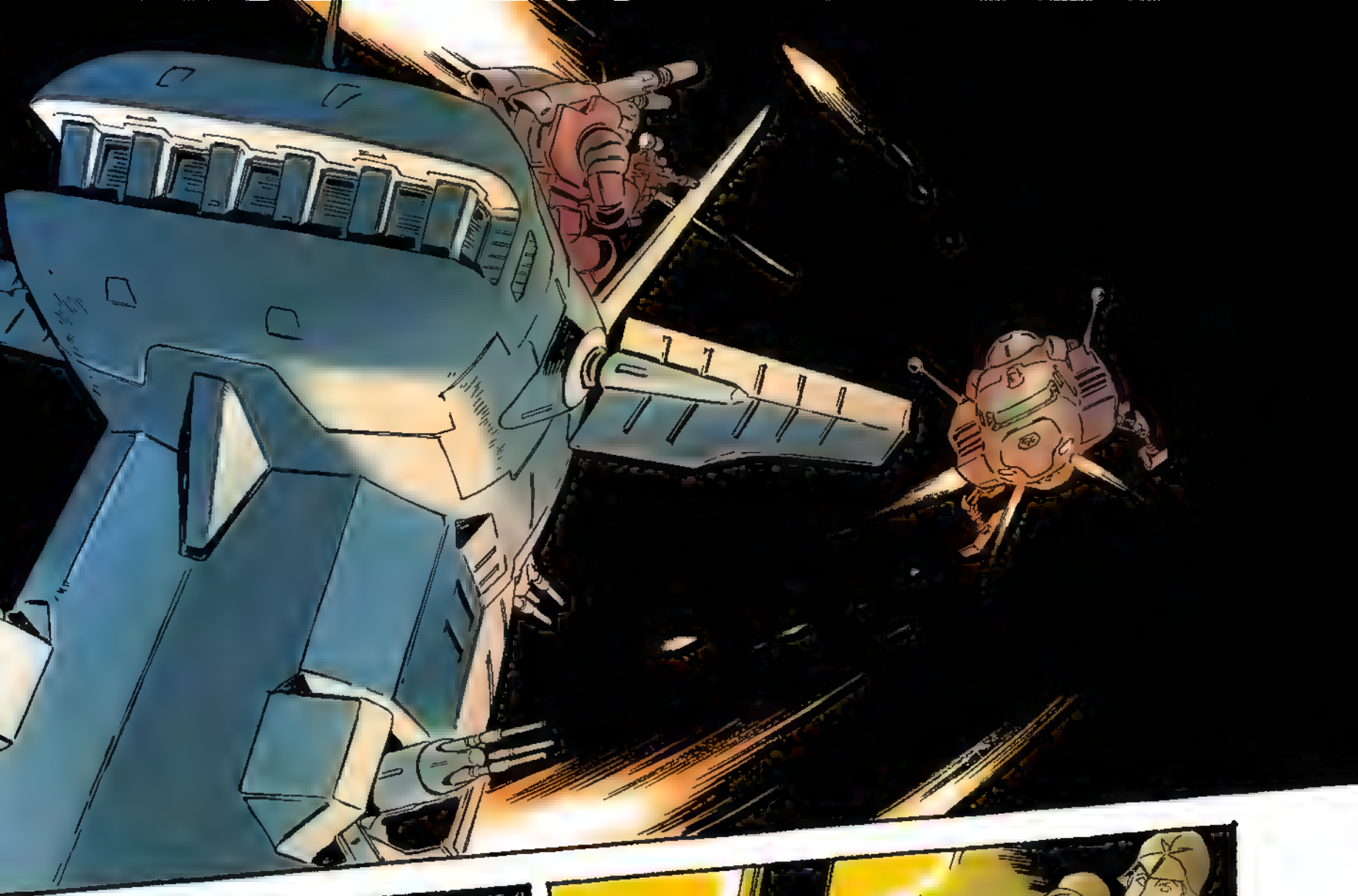
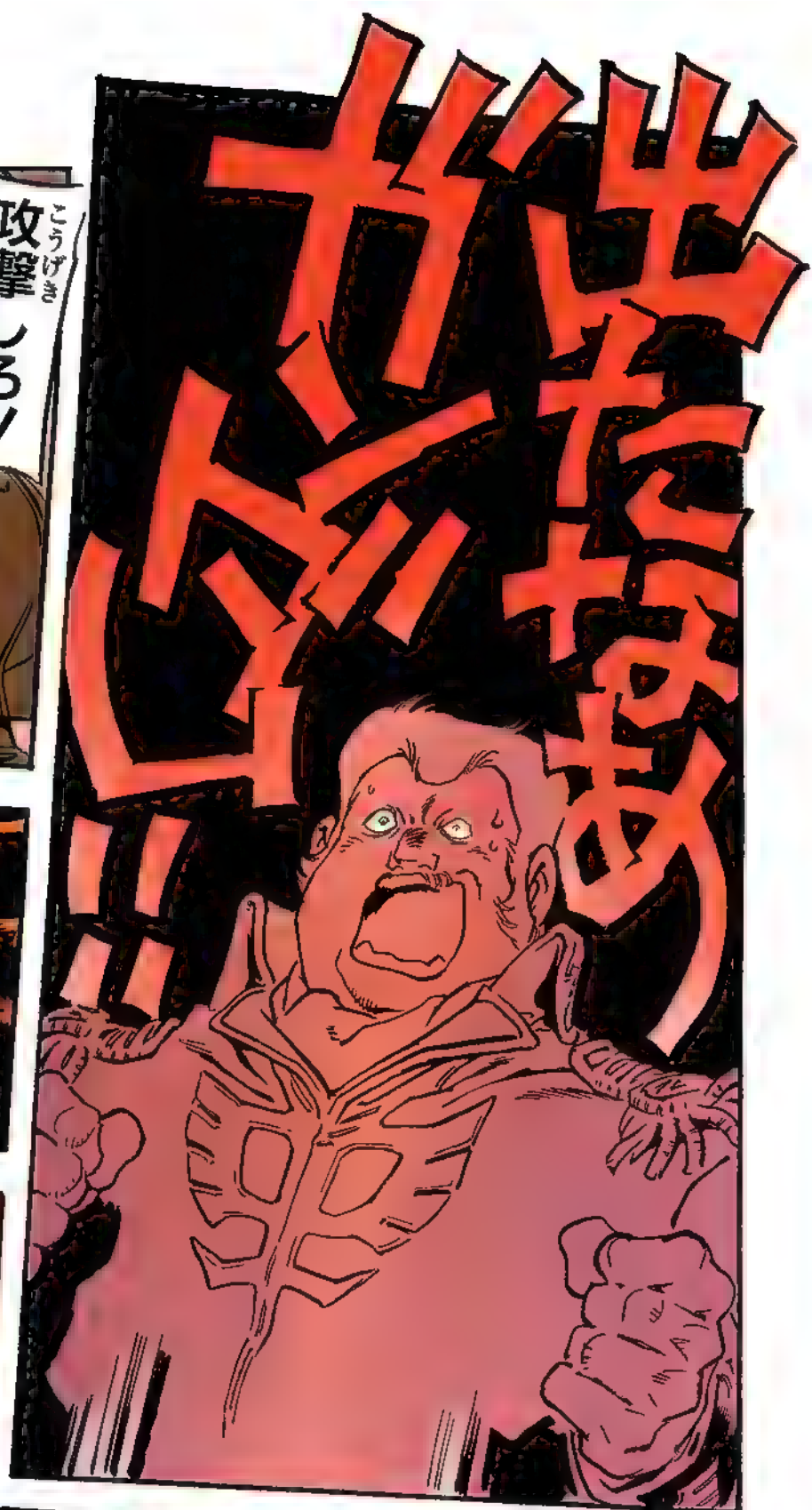
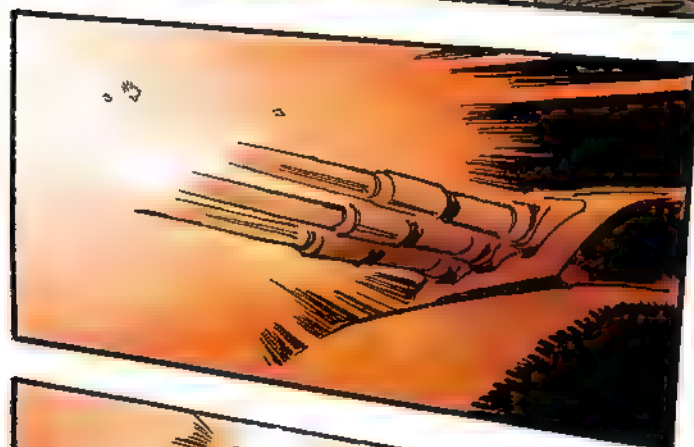
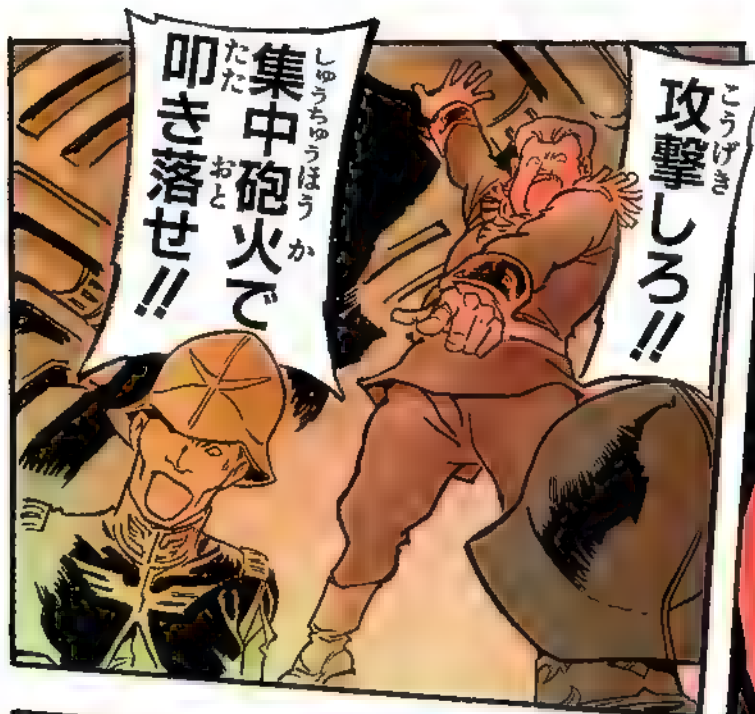
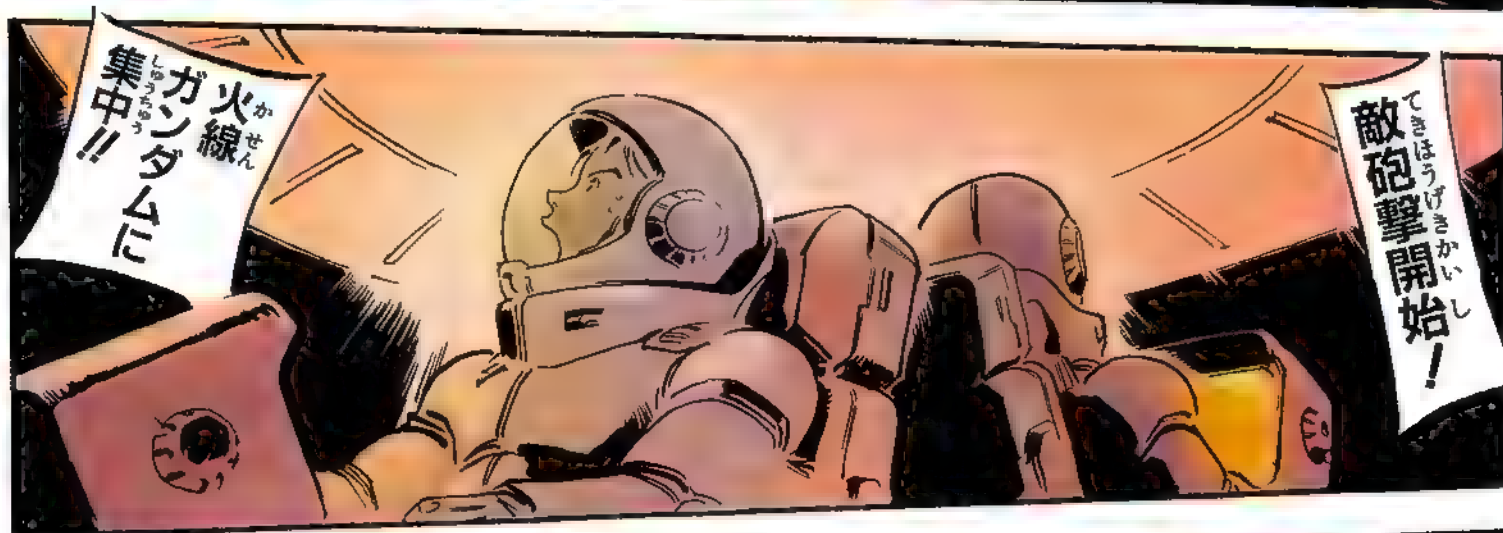
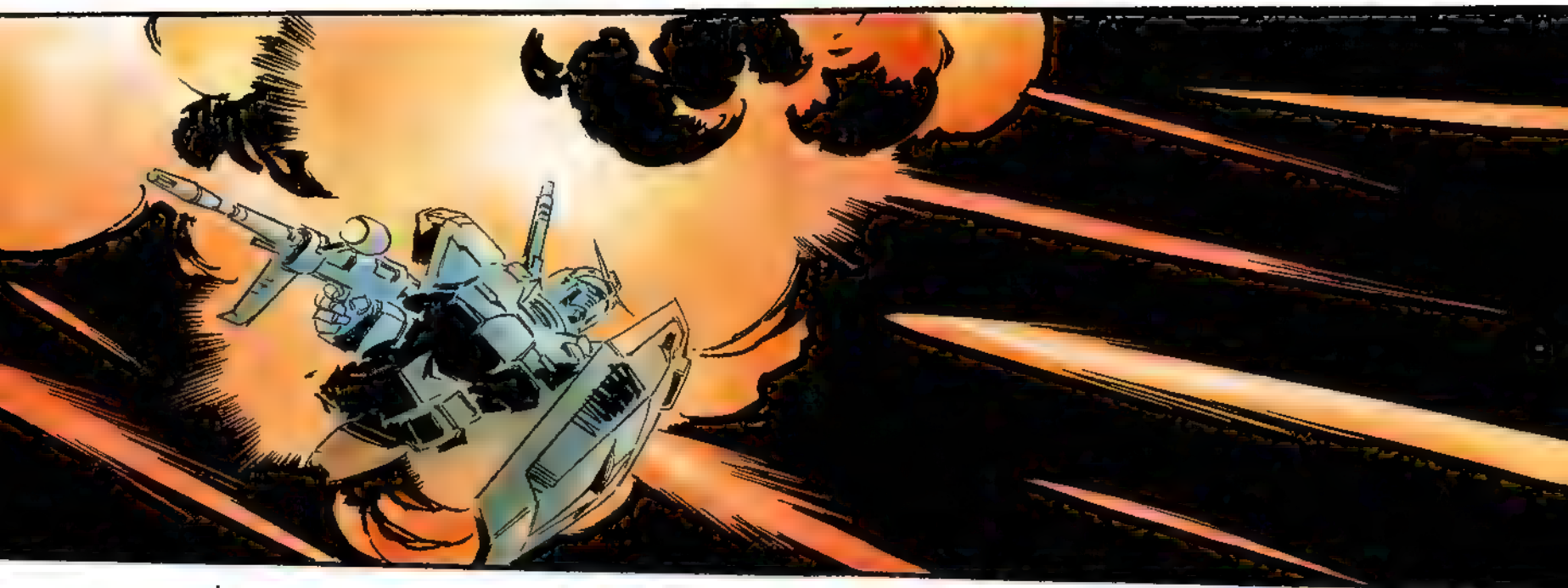
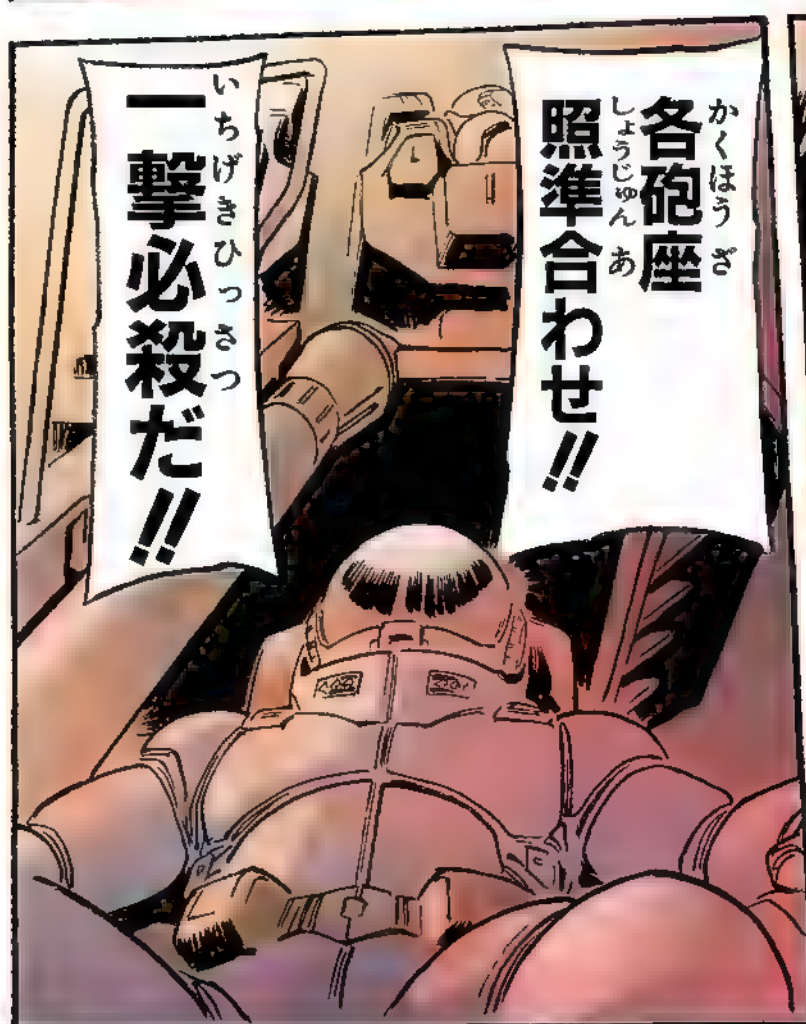
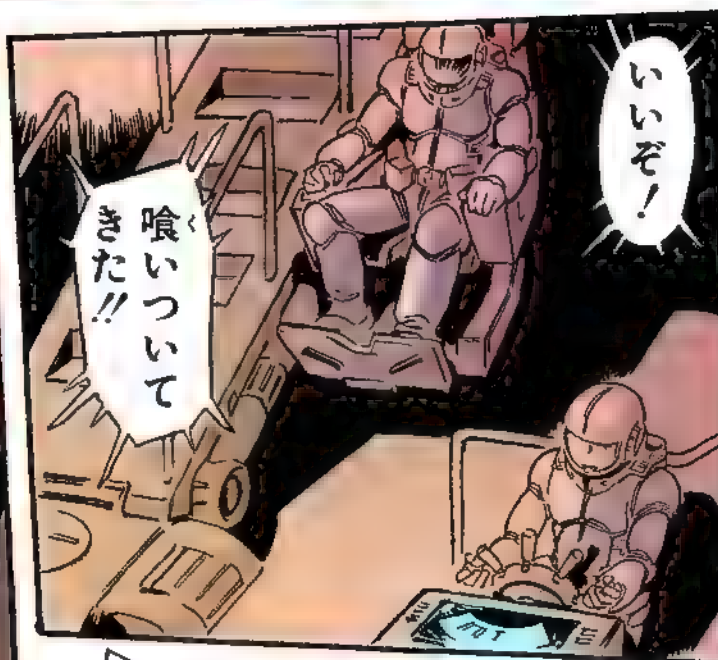
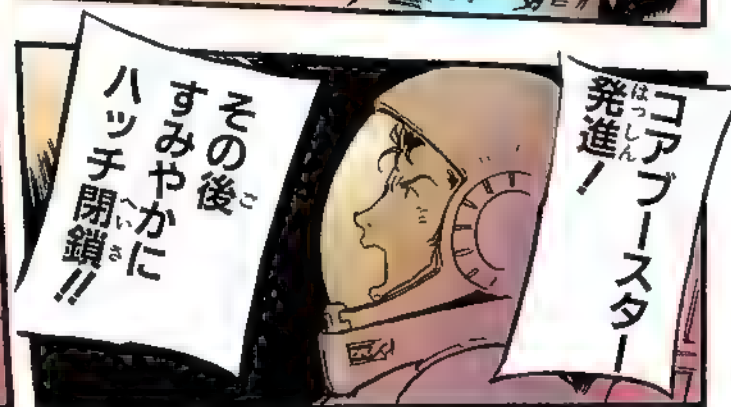
ありがとう

お気持ちは充分いただいたわ

でも　もう帰って
ありがとうカムラン
お父様お母様に
よろしく
ミライ…
ひきかえしまあす！
あ
ちょっとまって!!
頼む！
ブリッジを！

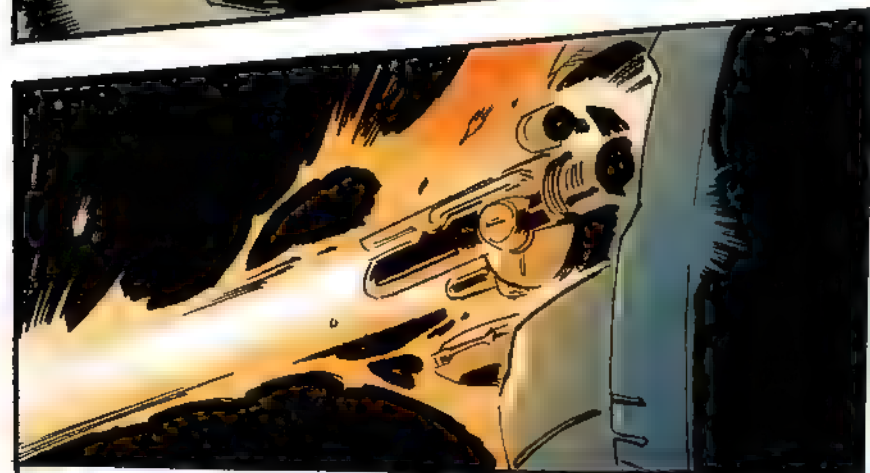
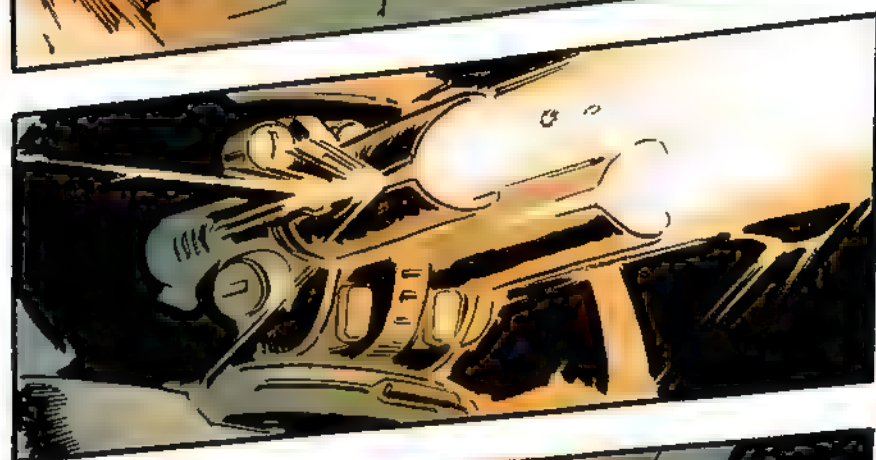
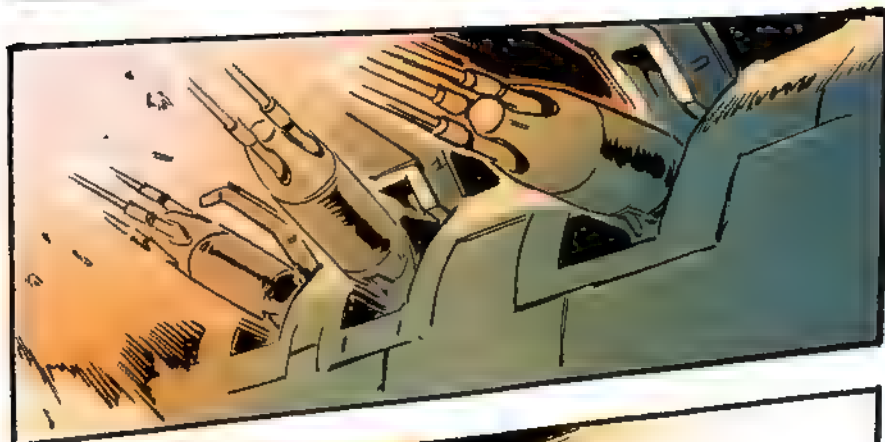
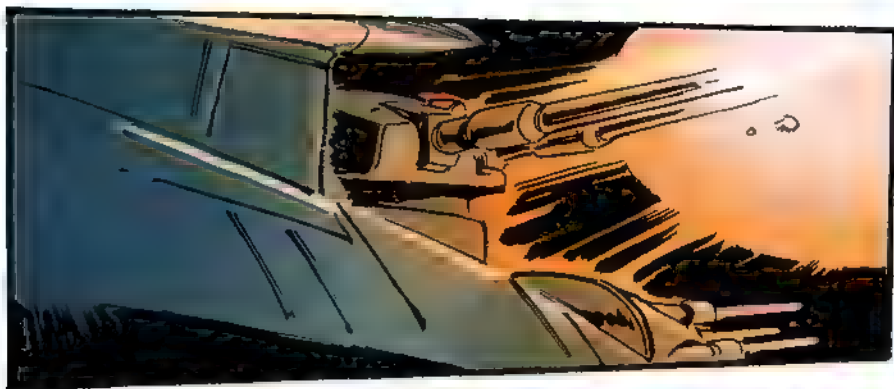
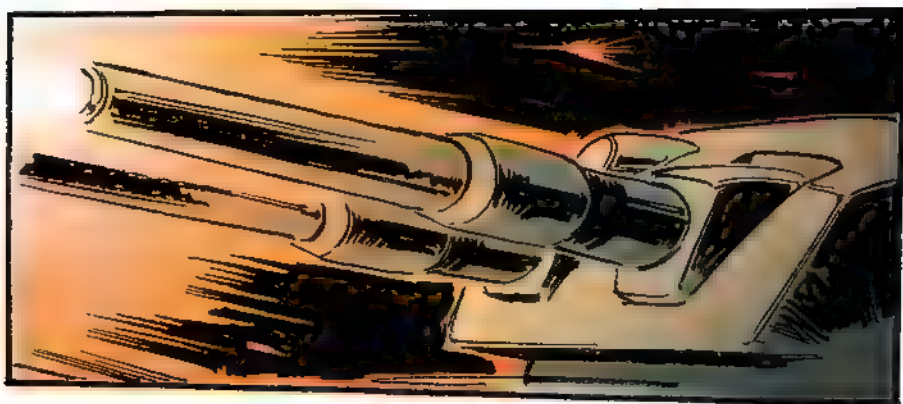
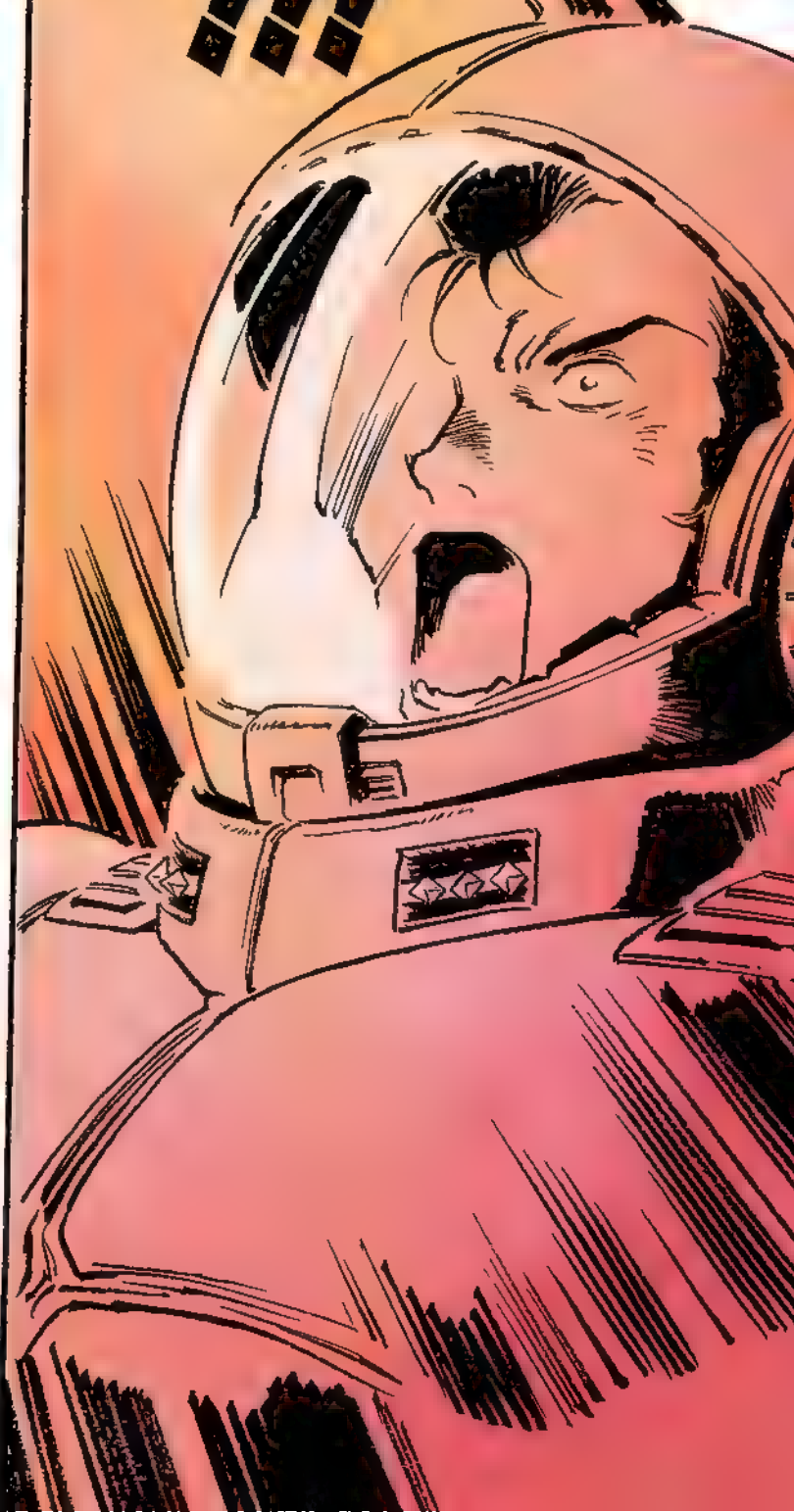
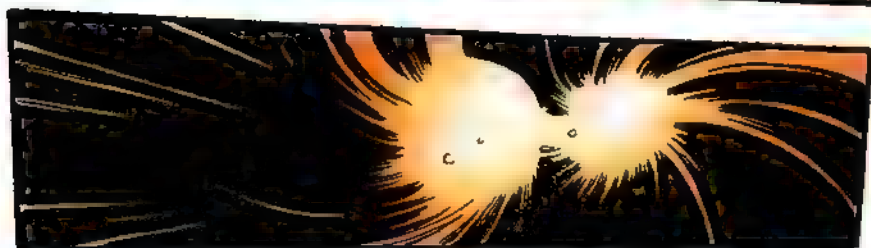
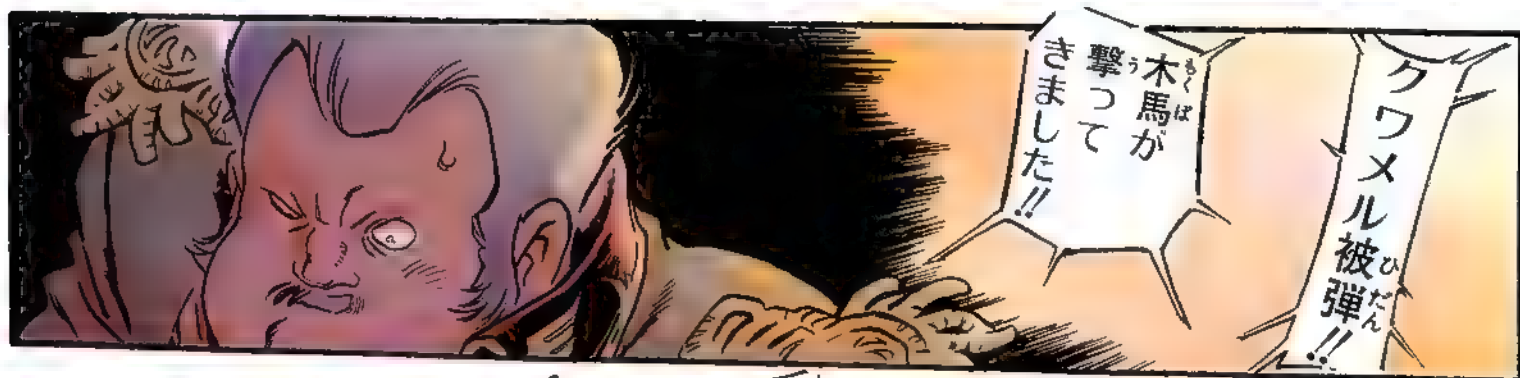
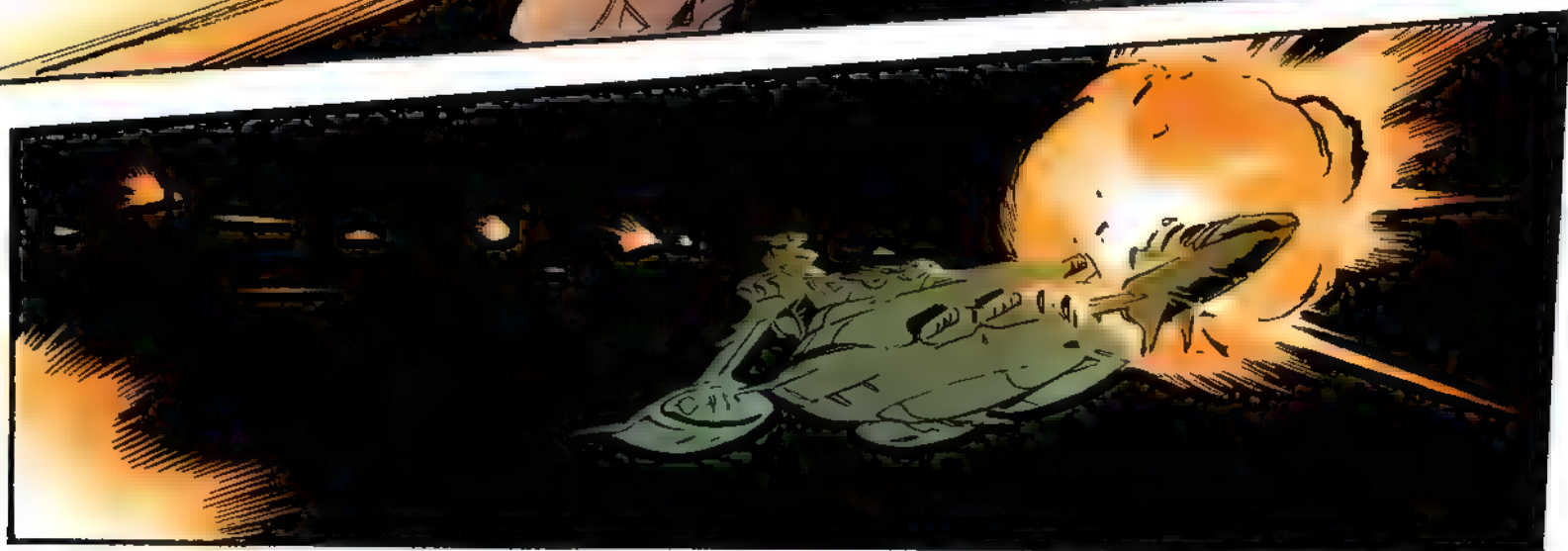
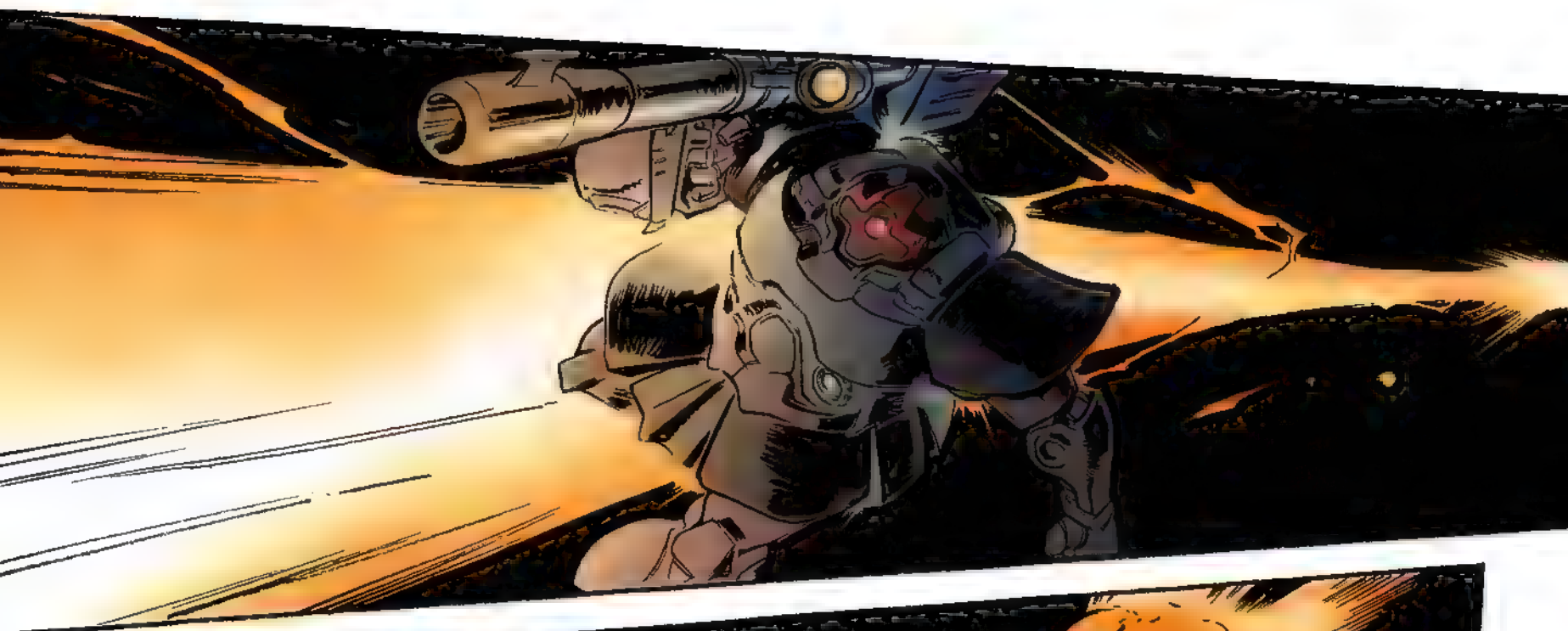
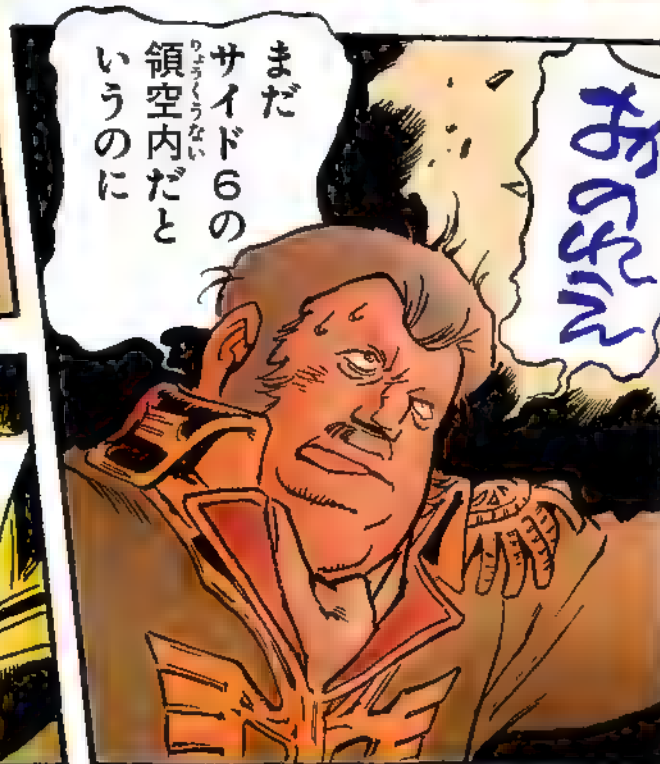
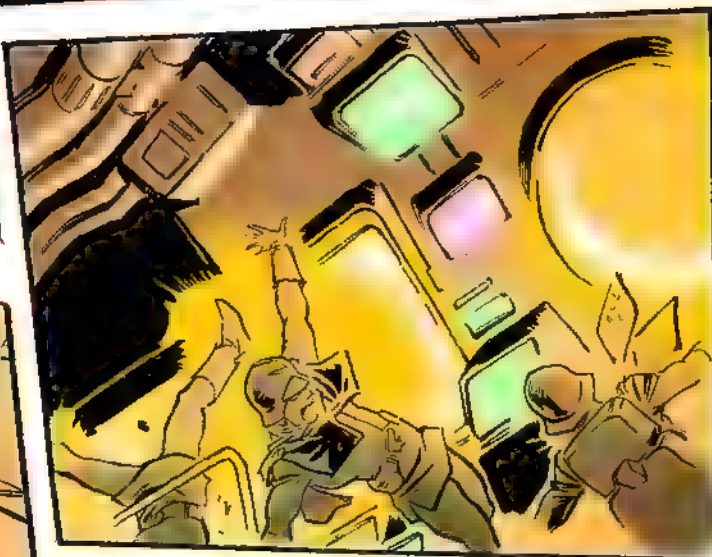
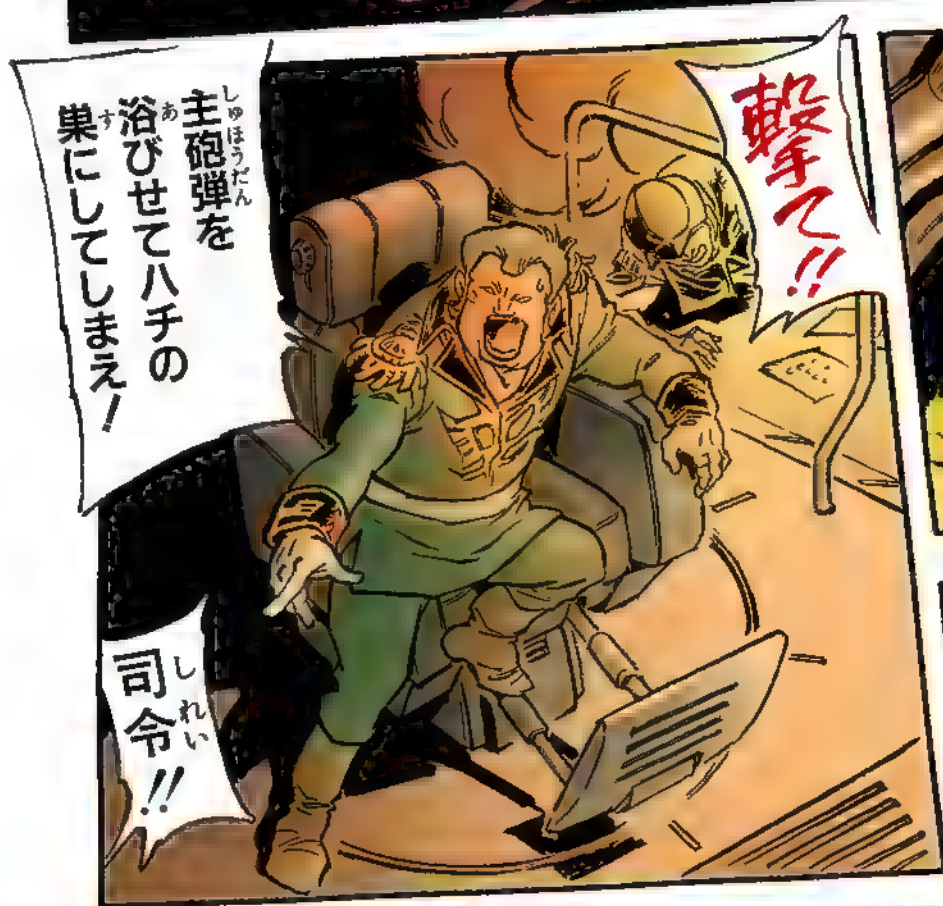
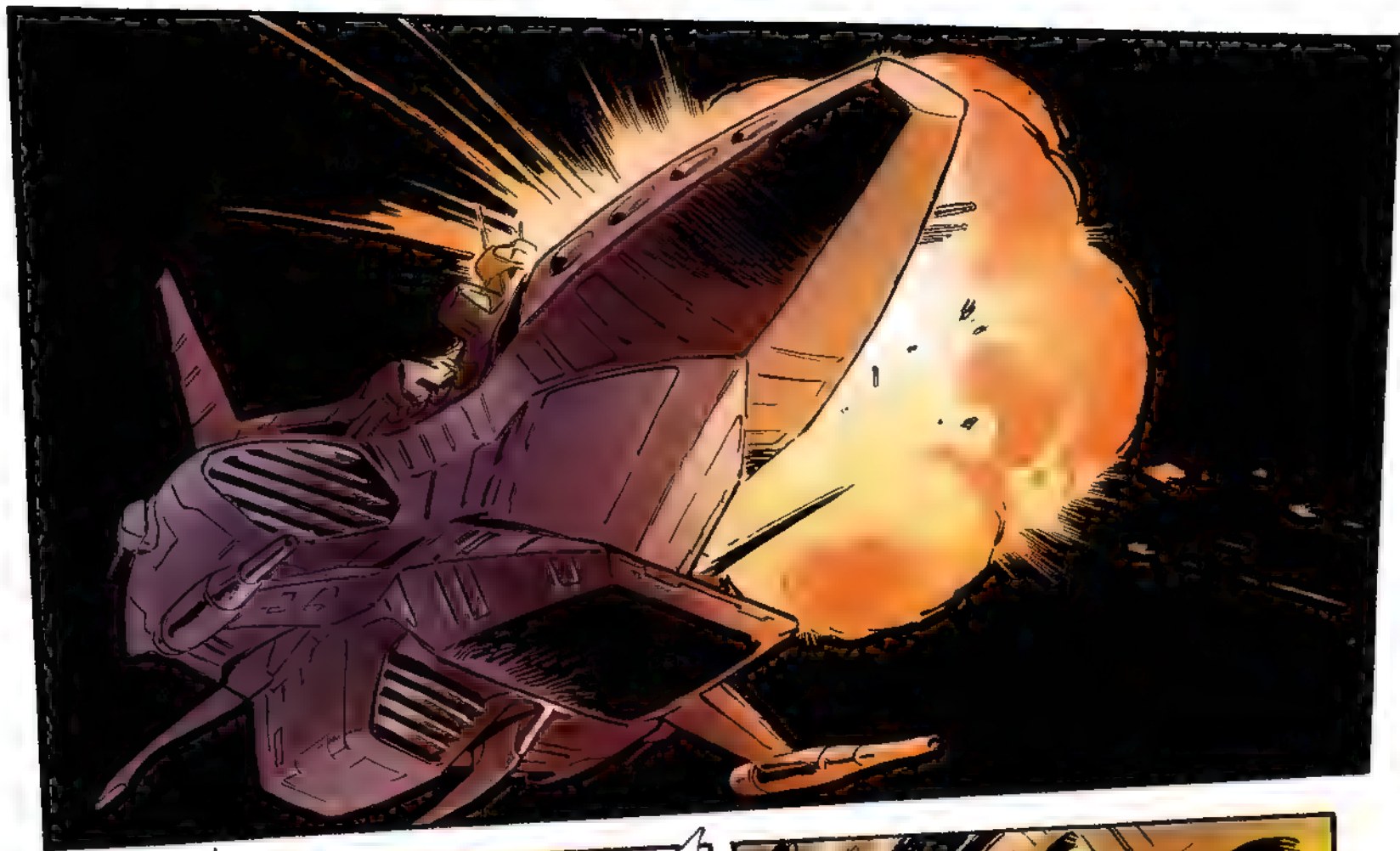
入管局の舟艇が離脱しましたぁ！
よしっ
ただちに攻撃──
ん?!

なんだ?!!
木馬が今何かを射出したな!!
なにっ
RX78─02"ガンダム"確認!!
白いヤツです!!

きさまあ
ガンダム!!
攻撃しろ!!
集中砲火で叩き落せ!!

敵砲撃開始！
火線ガンダムに集中!!
いいぞ！
喰いついてきた!!
各砲座照準合わせ!!
一撃必殺だ!!
コアブースター発進！
その後すみやかにハッチ閉鎖!!

撃てええ!!!

クワメル被弾!!
木馬が撃ってきました!!
超高熱源探知!
よけられません!!
なにいィ

撃て!!
主砲弾を浴びせてハチの巣にしてしまえ!
司令!!
まだサイド6の領空内だというのに
おのれえ
ダメです
この角度では撃てません!!

威力が減衰しないまま
ビームがコロニーに
達してしまいます!!

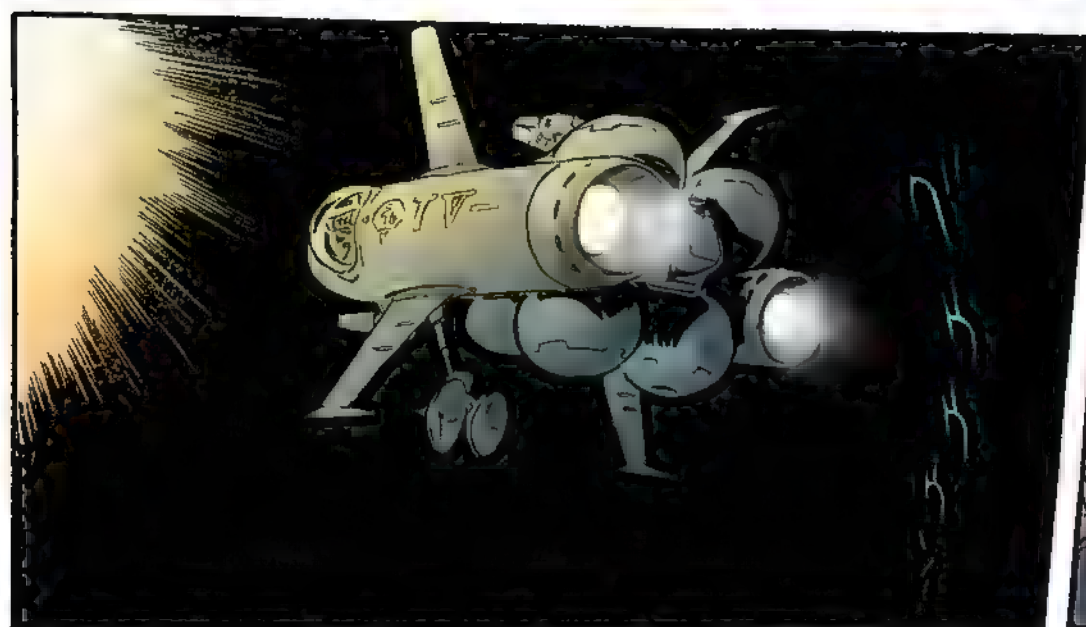
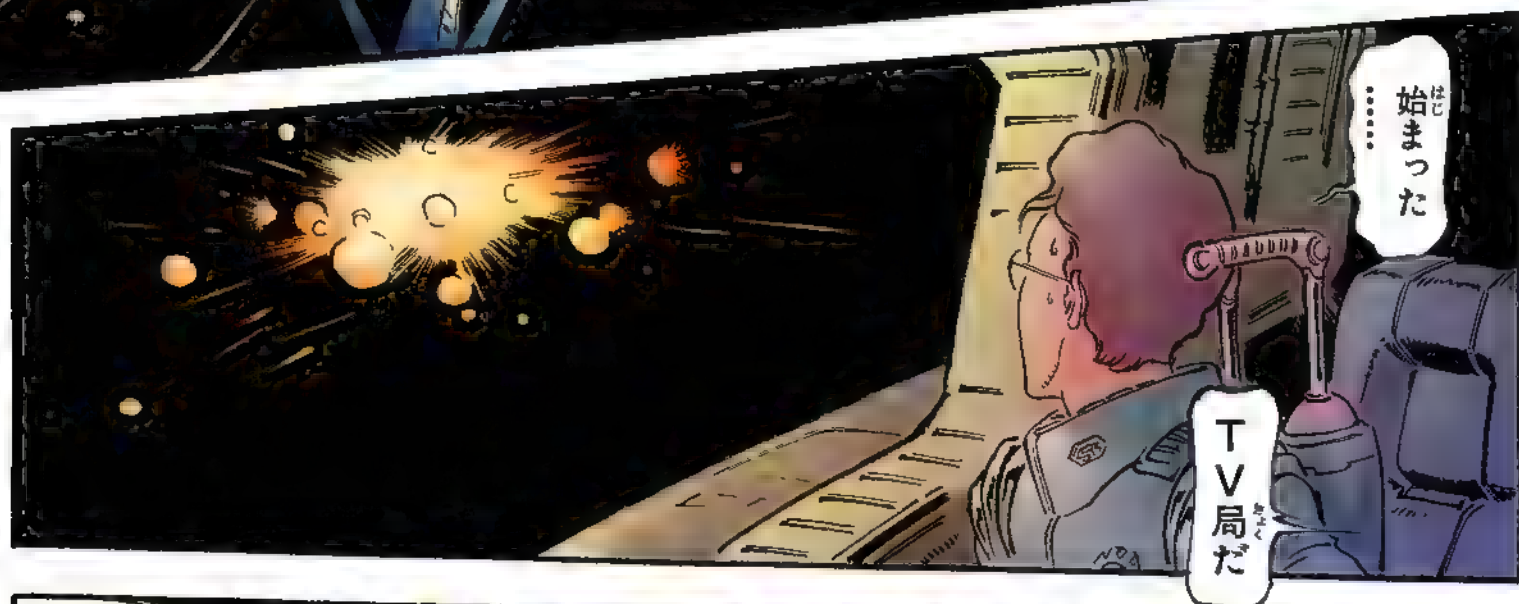
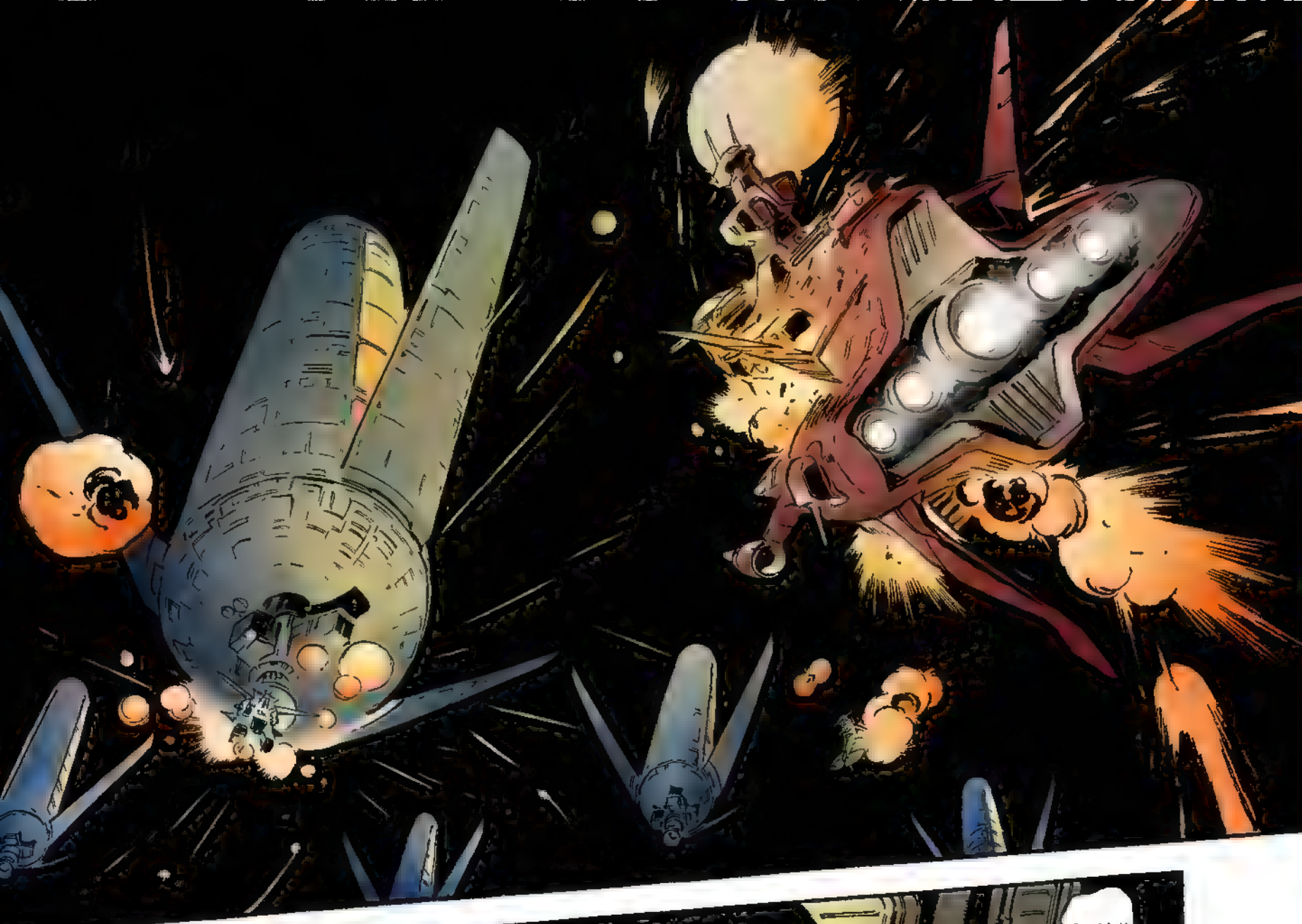
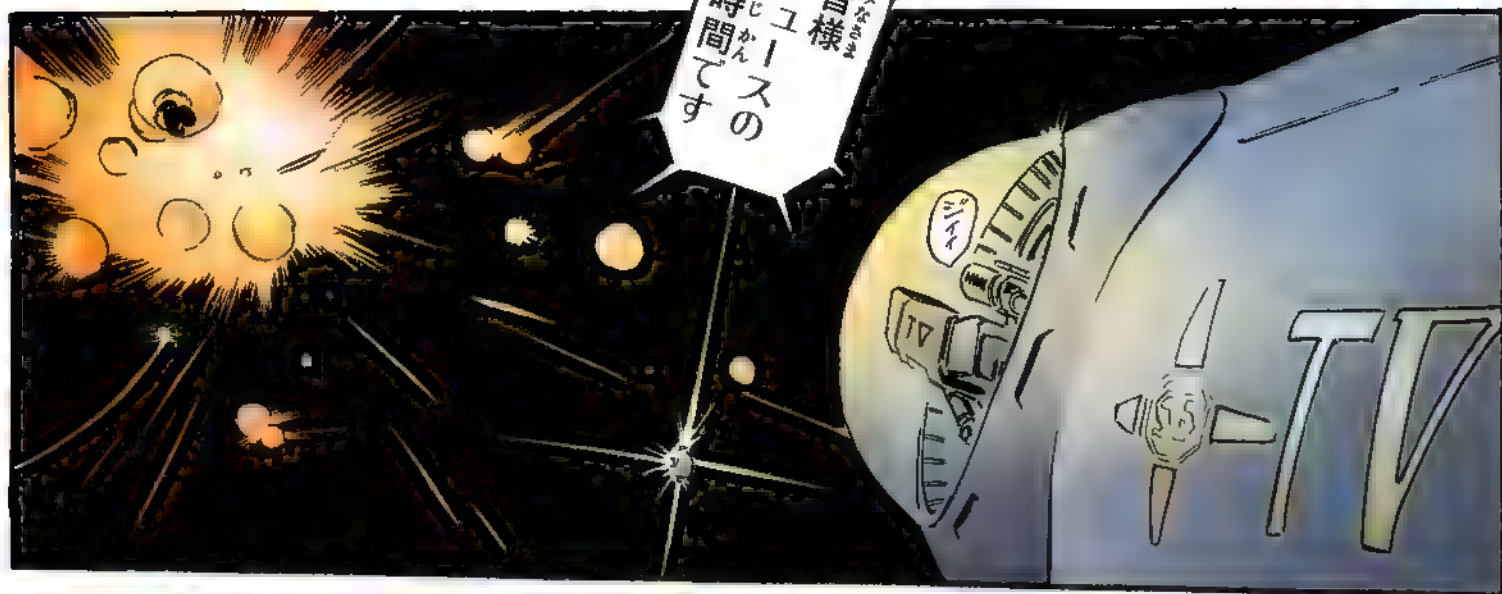
あれを破壊したら
大問題になります!!

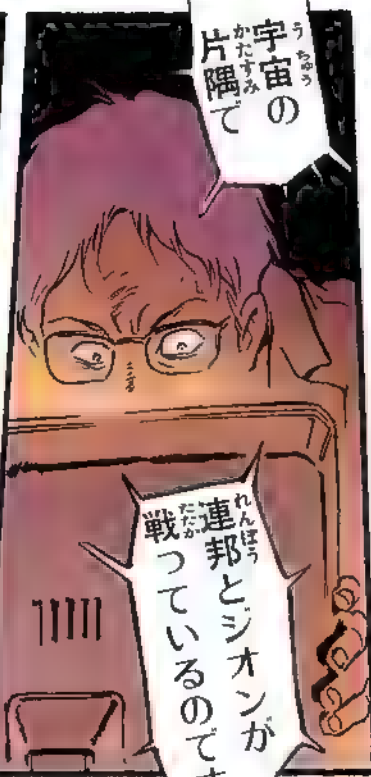
むぐ……

ズルイ
奴等だ…

それで

入管局の船を
楯にしてわざと
のろのろと…

始まった……
TV局だ

皆様ニュースのお時間です
ジィィ
TV

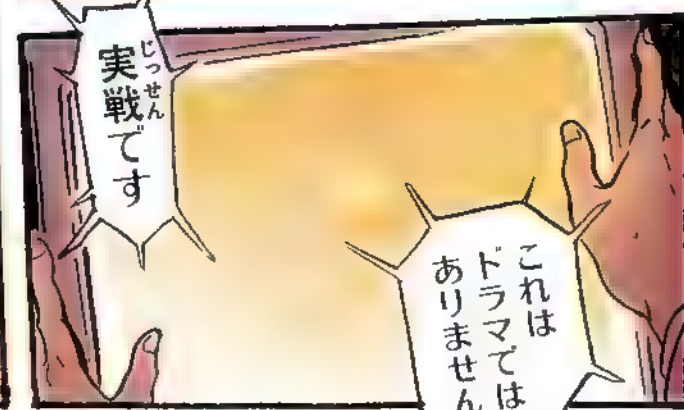
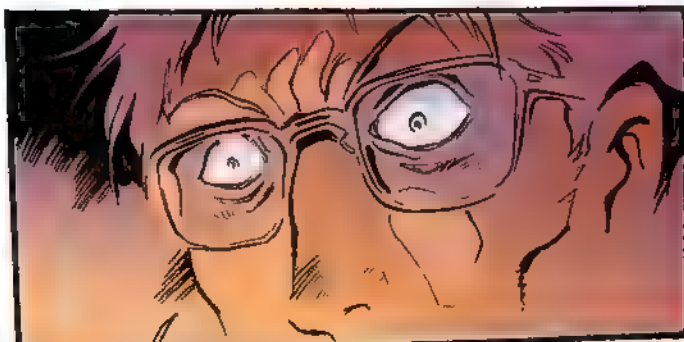
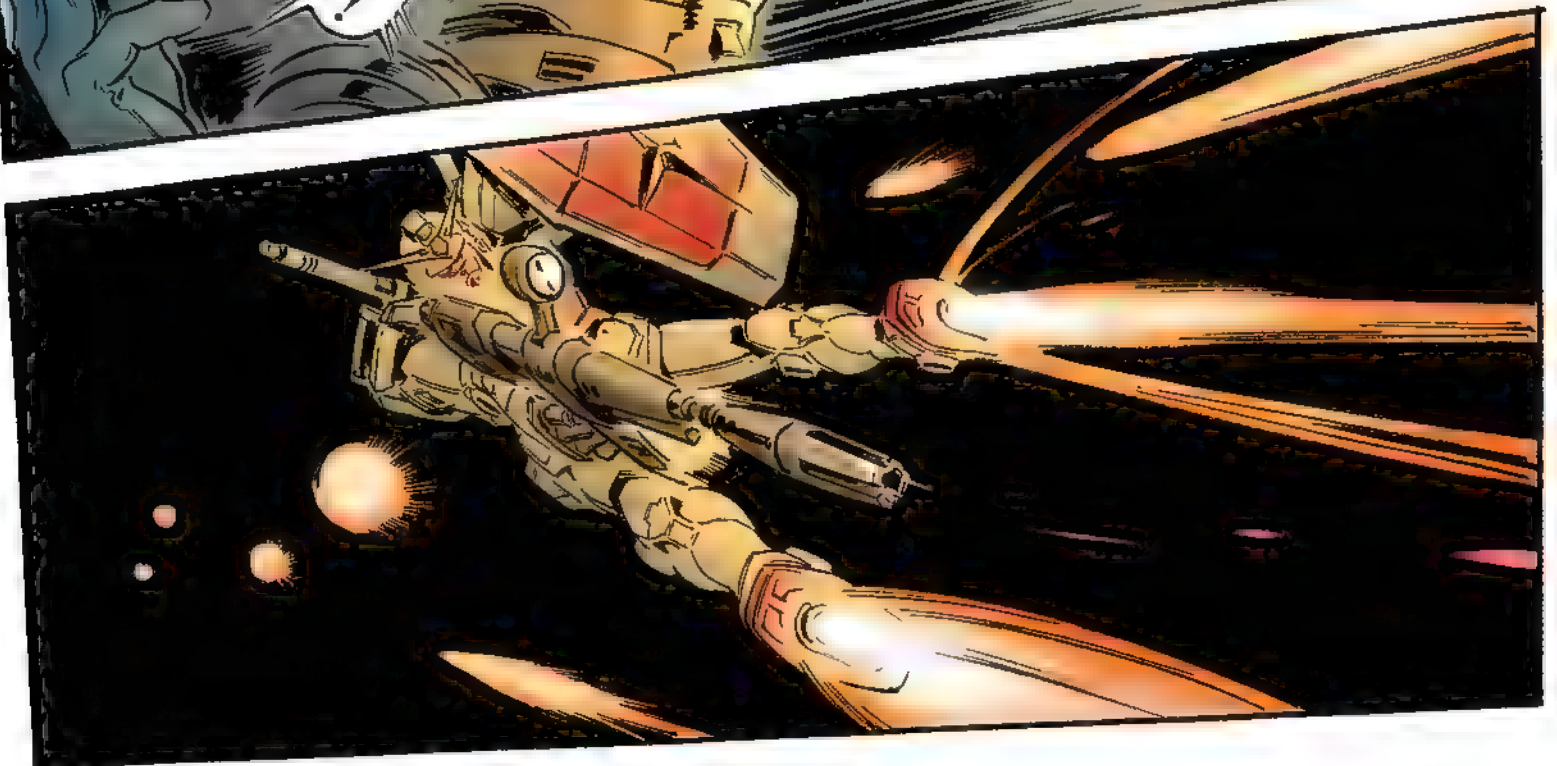
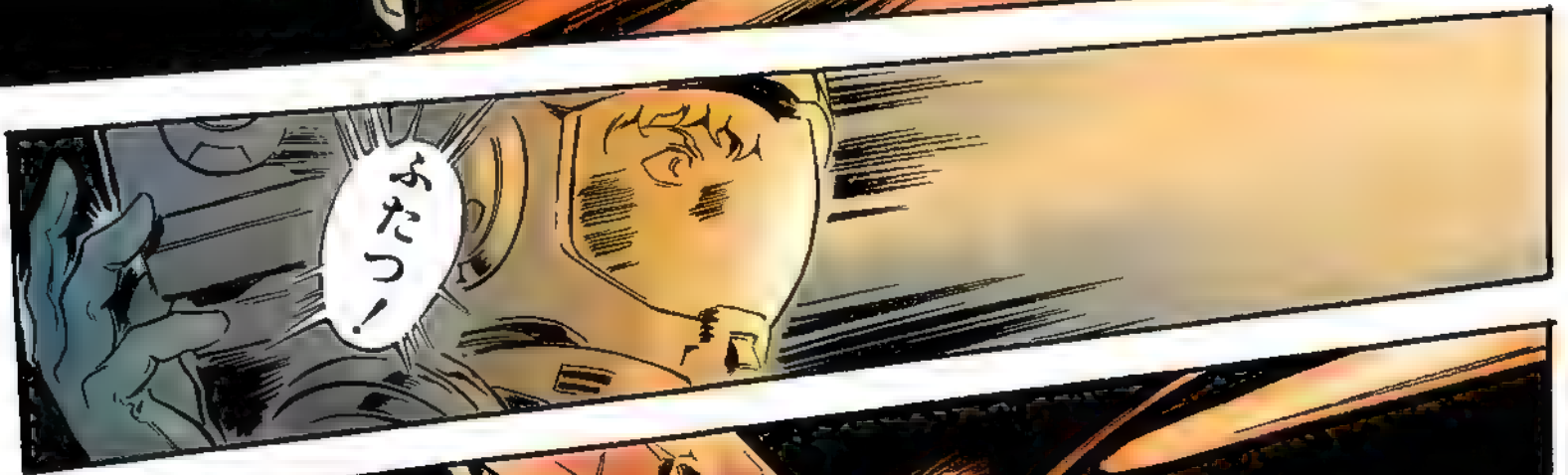
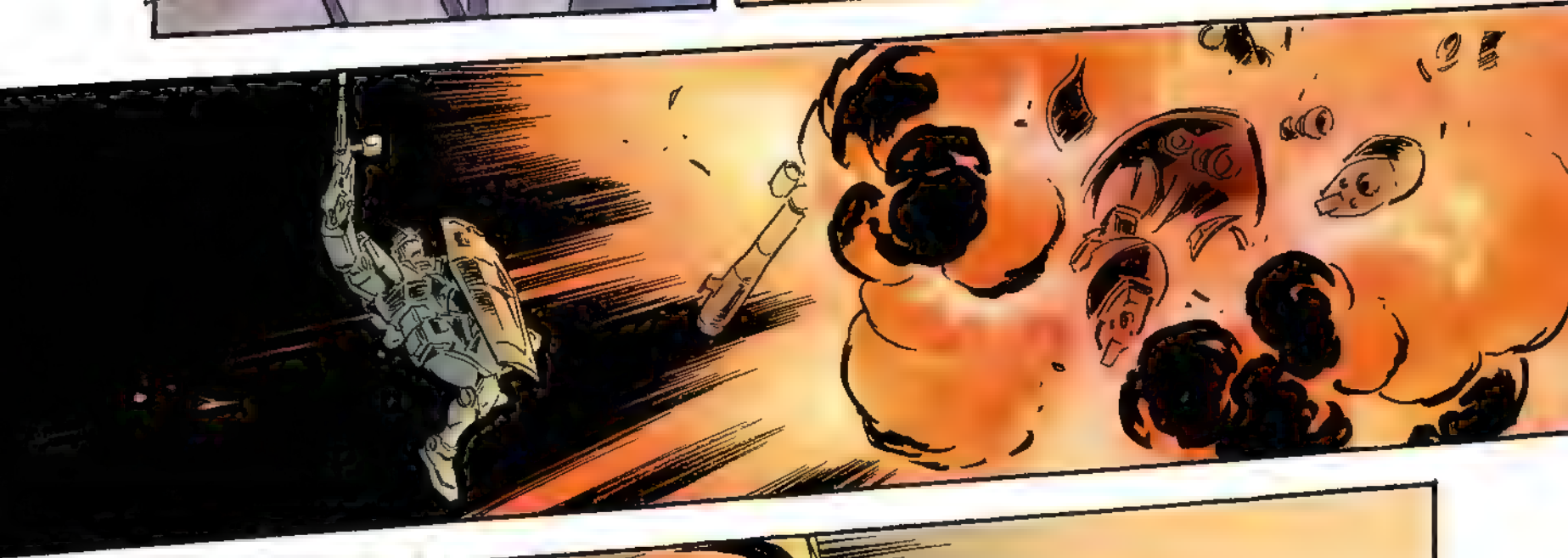
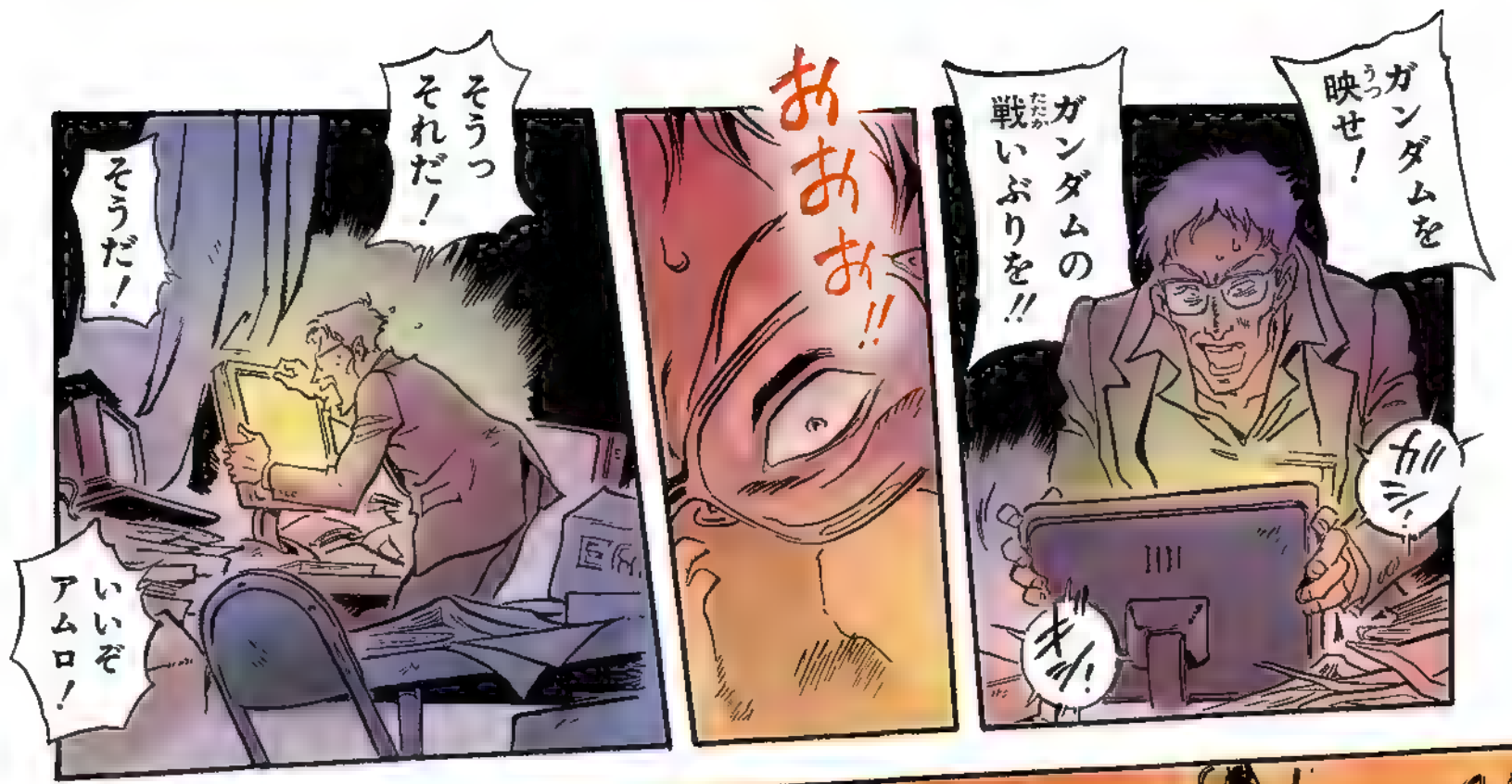
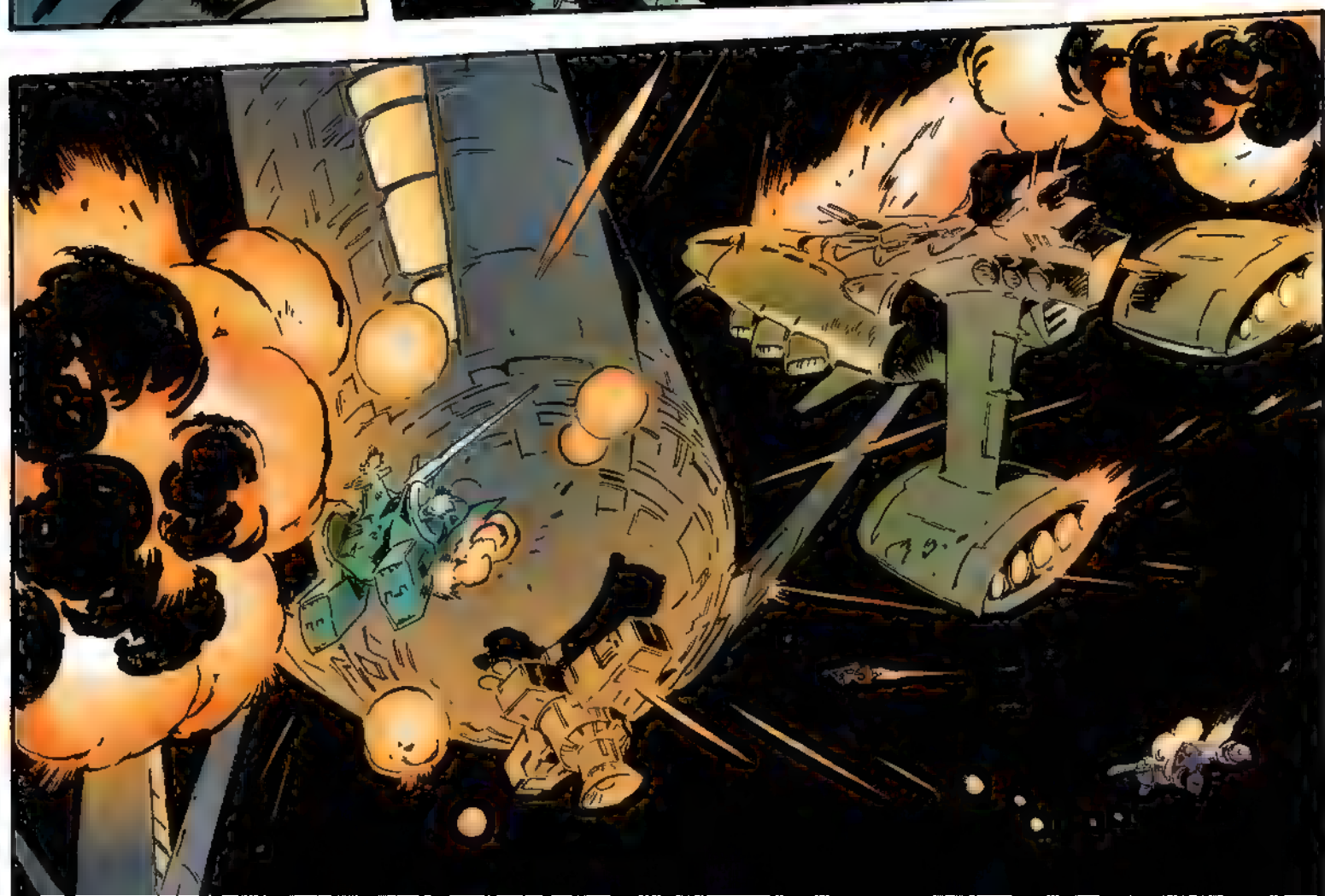
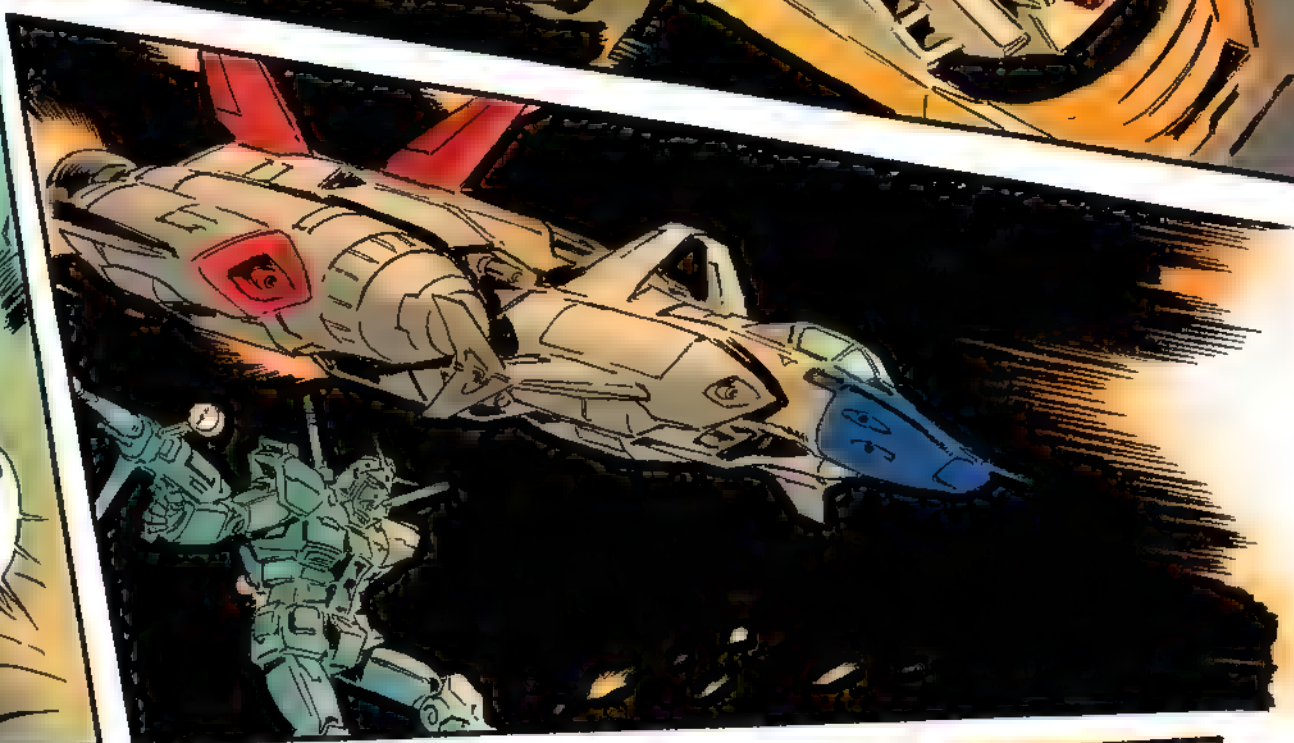
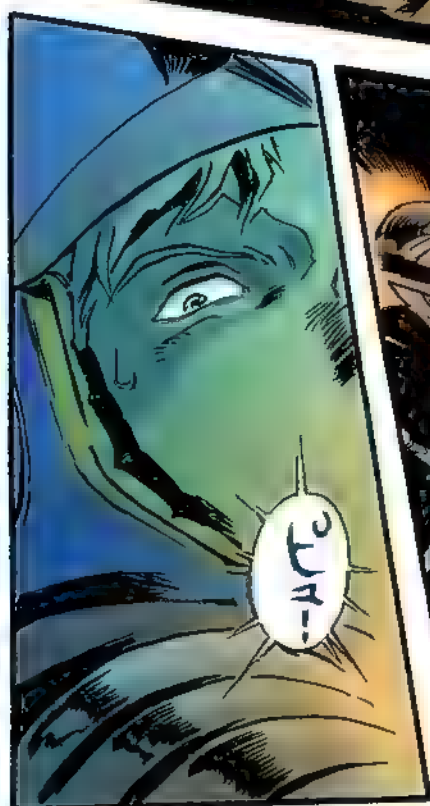
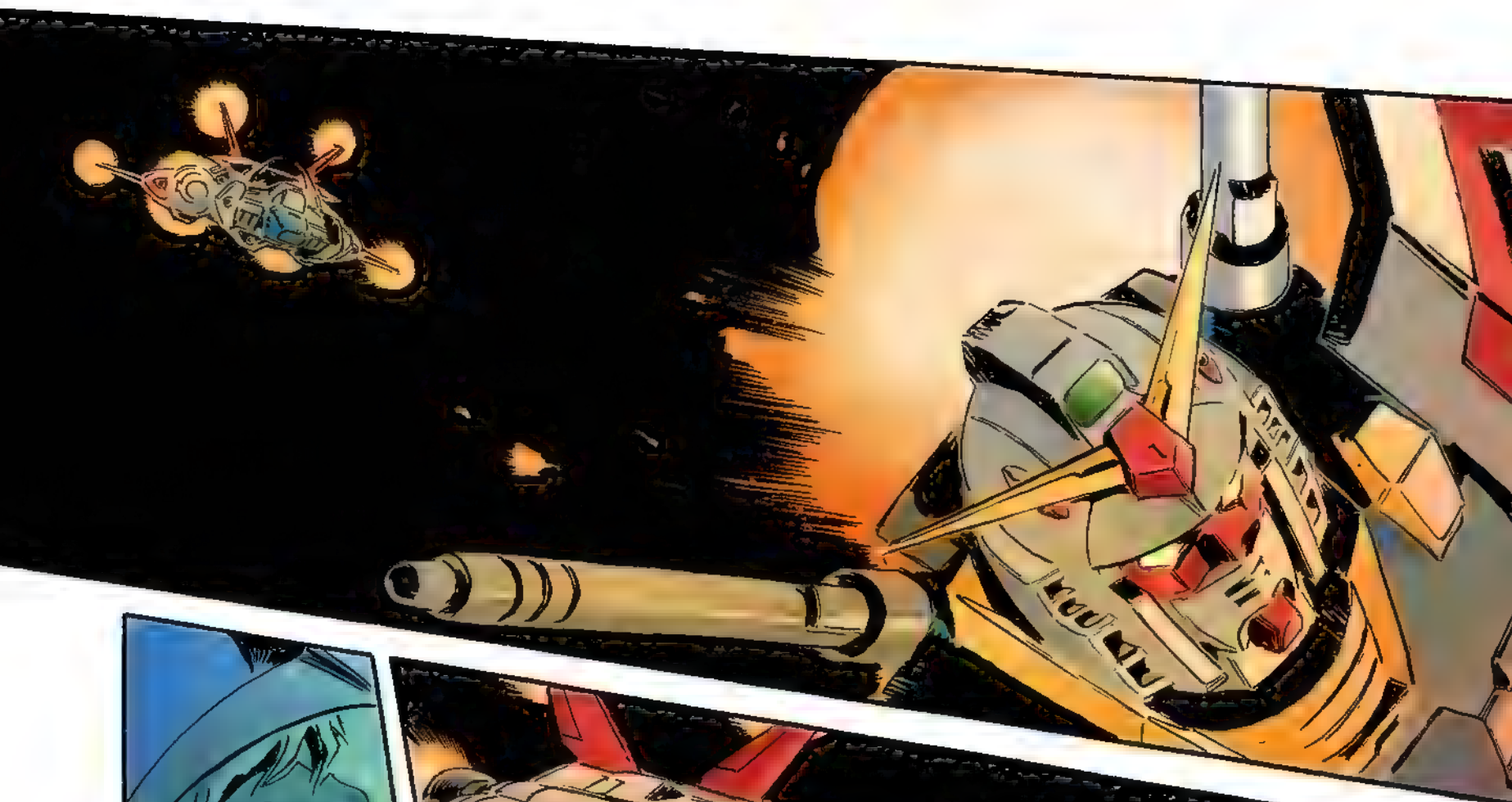
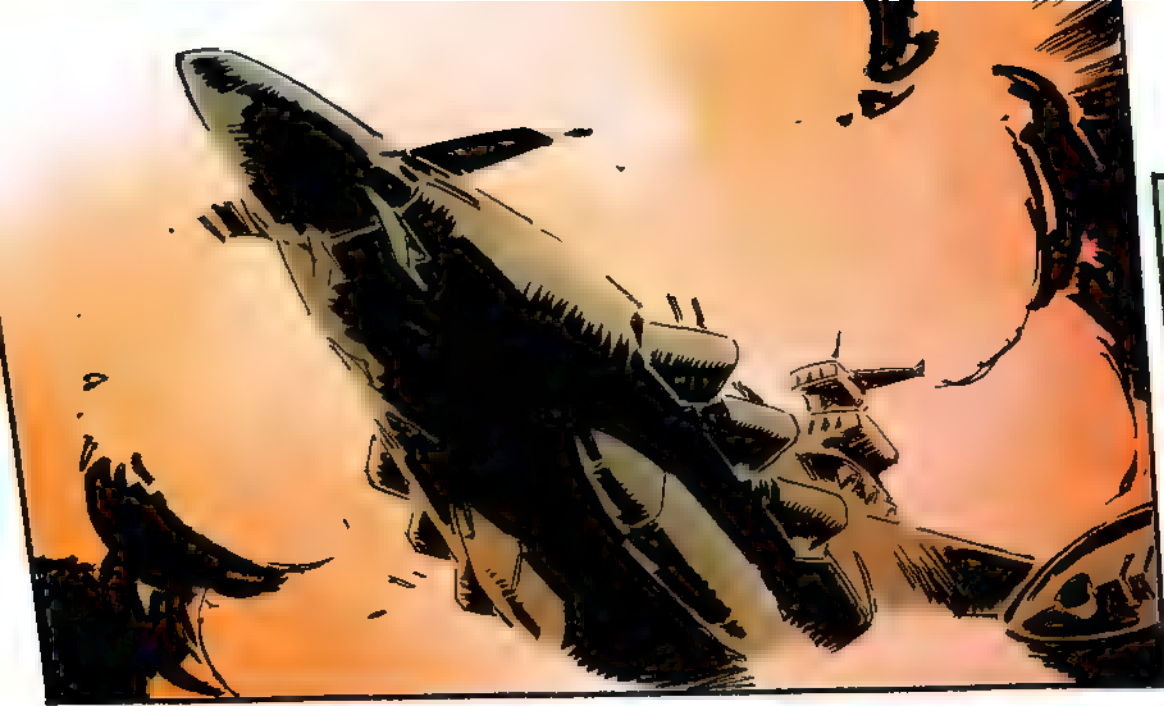
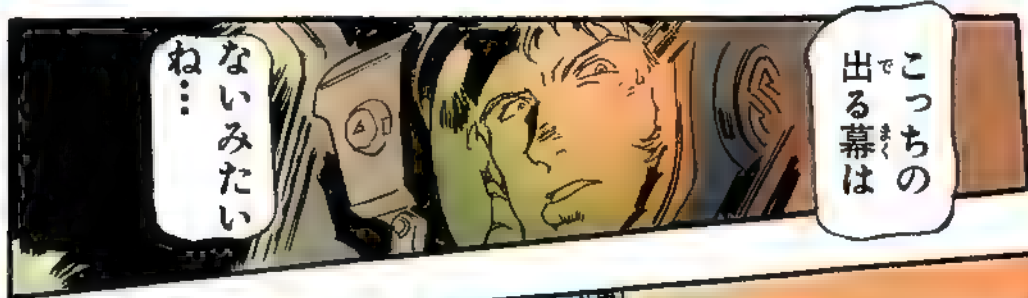
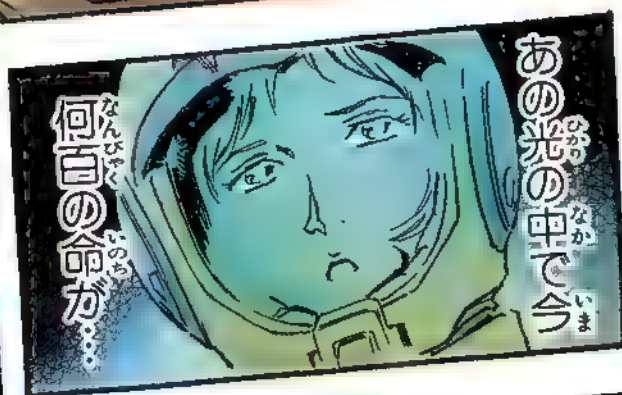
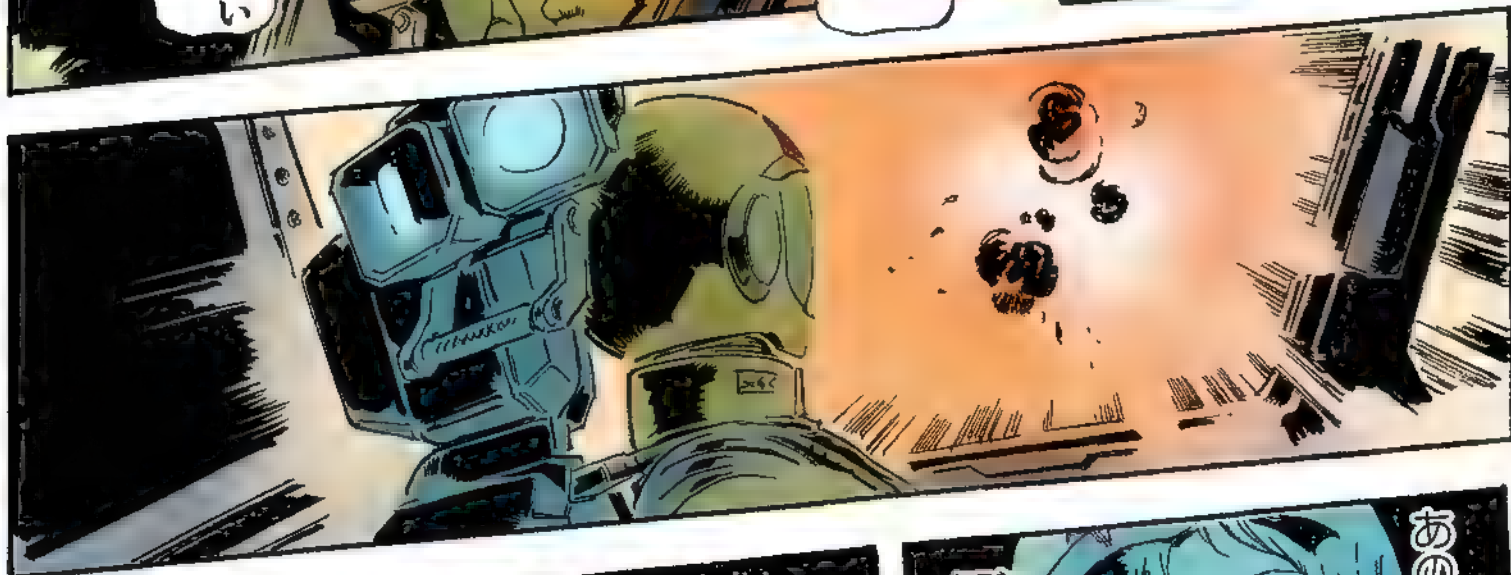
寄港していた連邦軍の艦船〝ホワイトベース〟を巡って緊張していた状況が
ついに最終局面を迎えました
ご覧ください

宇宙の片隅で

えええ
ホワイトベースはいいい！
連邦とジオンが戦っているのです

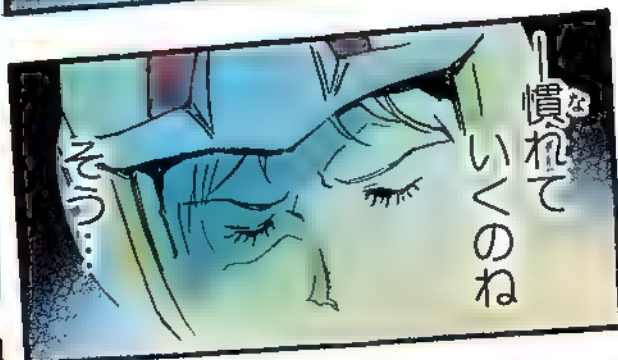
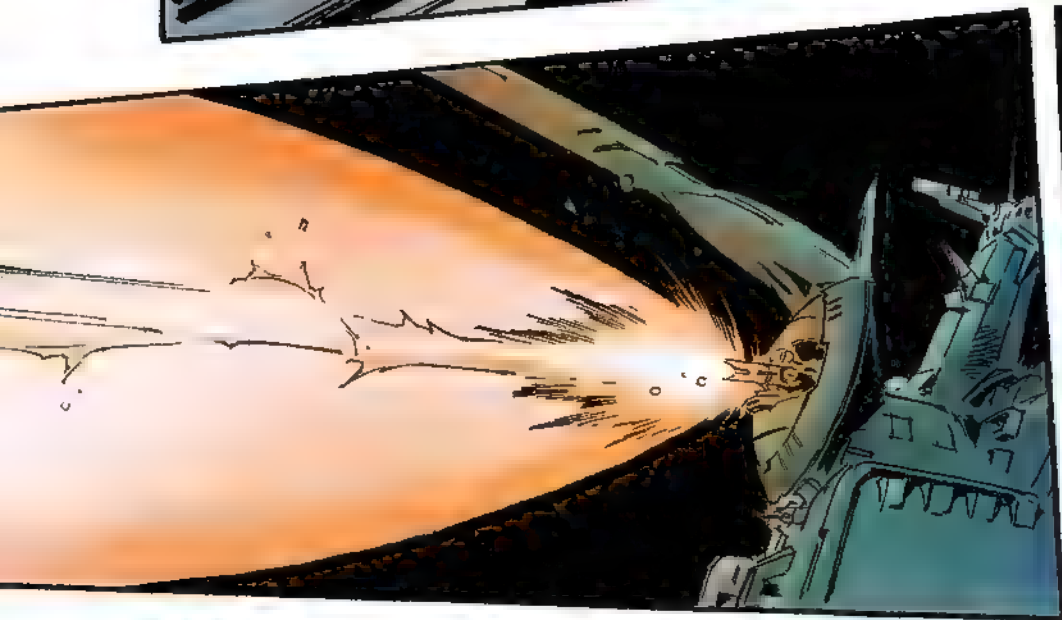
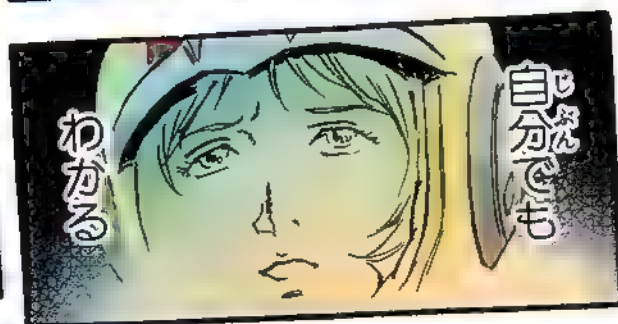
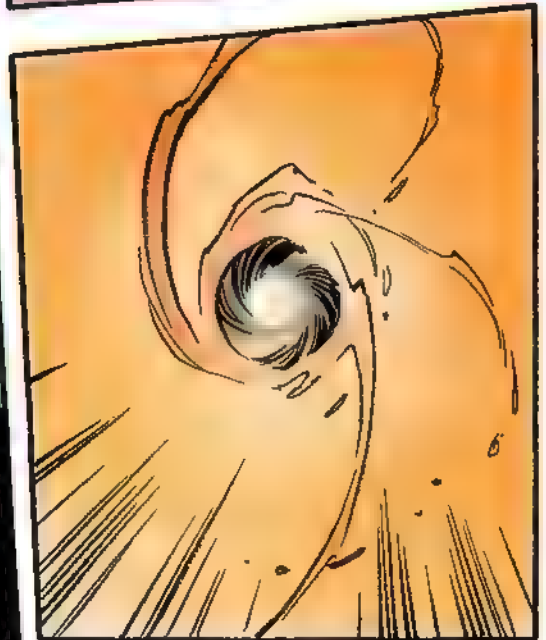
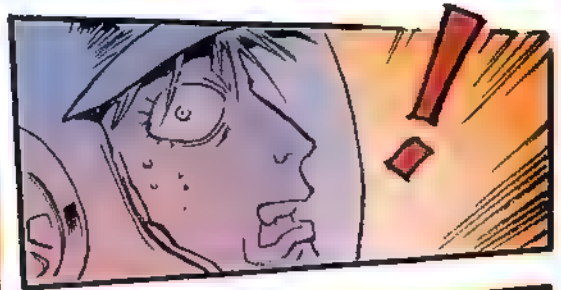
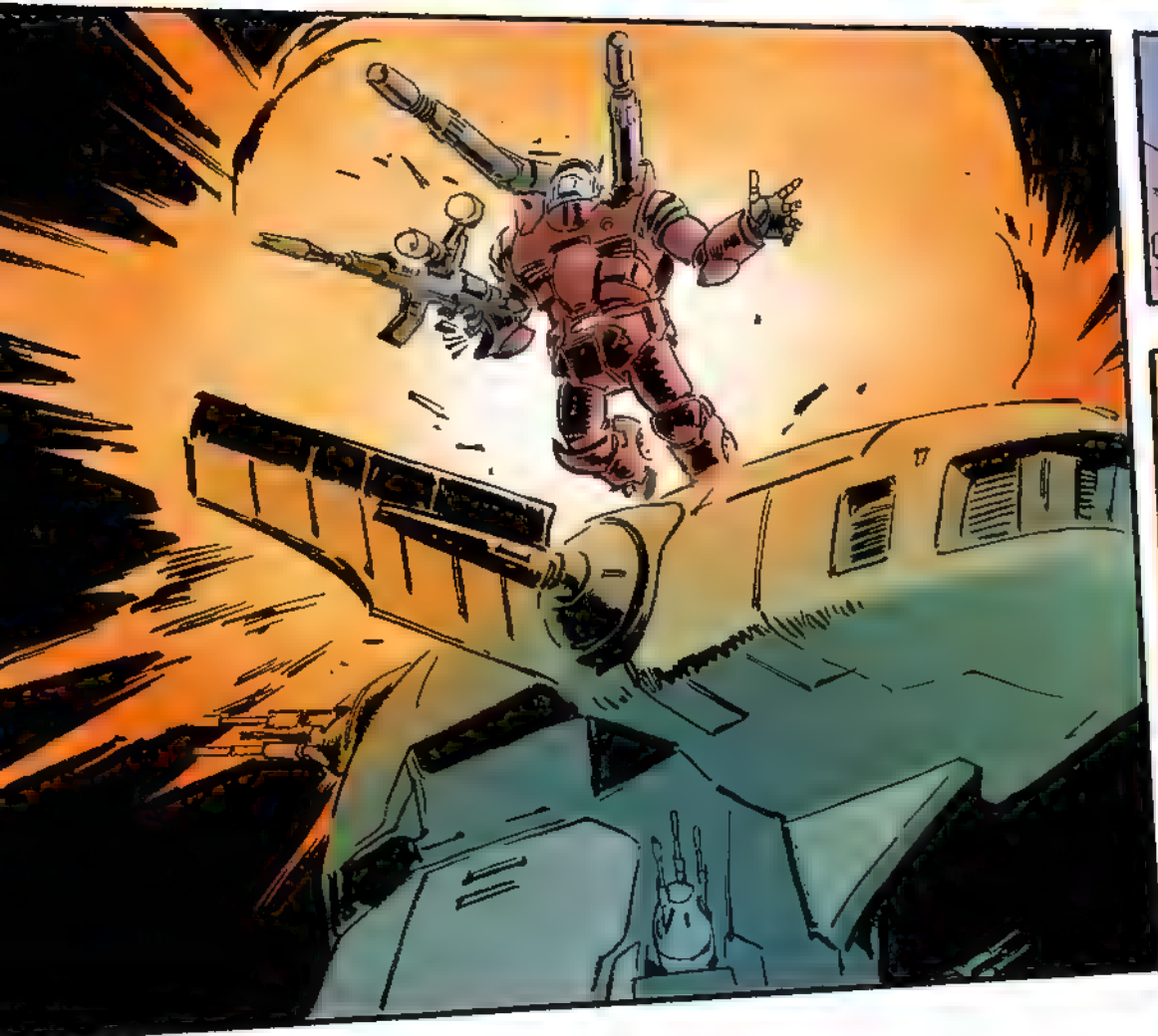
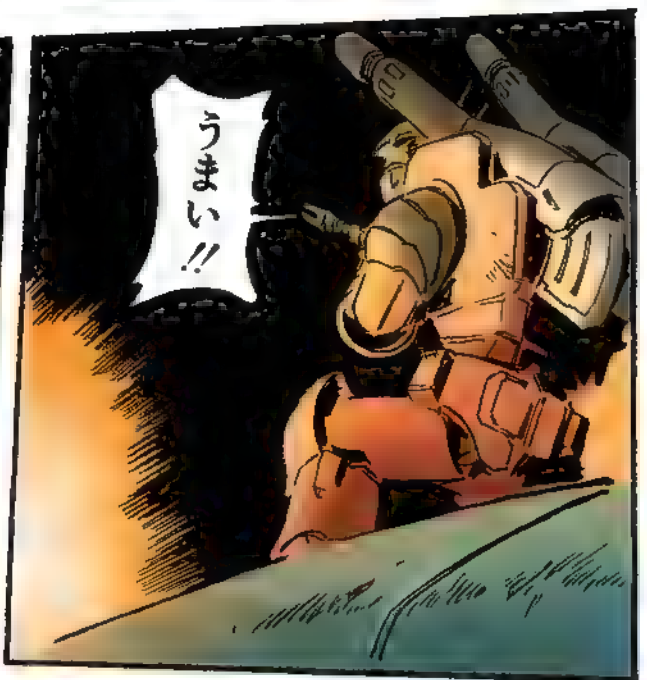
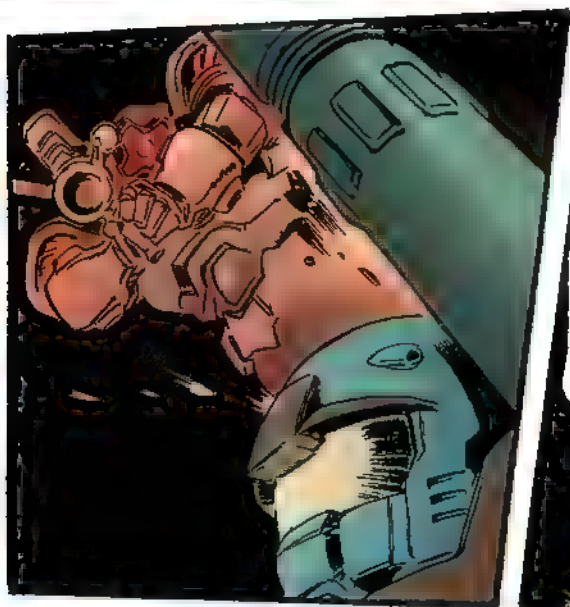
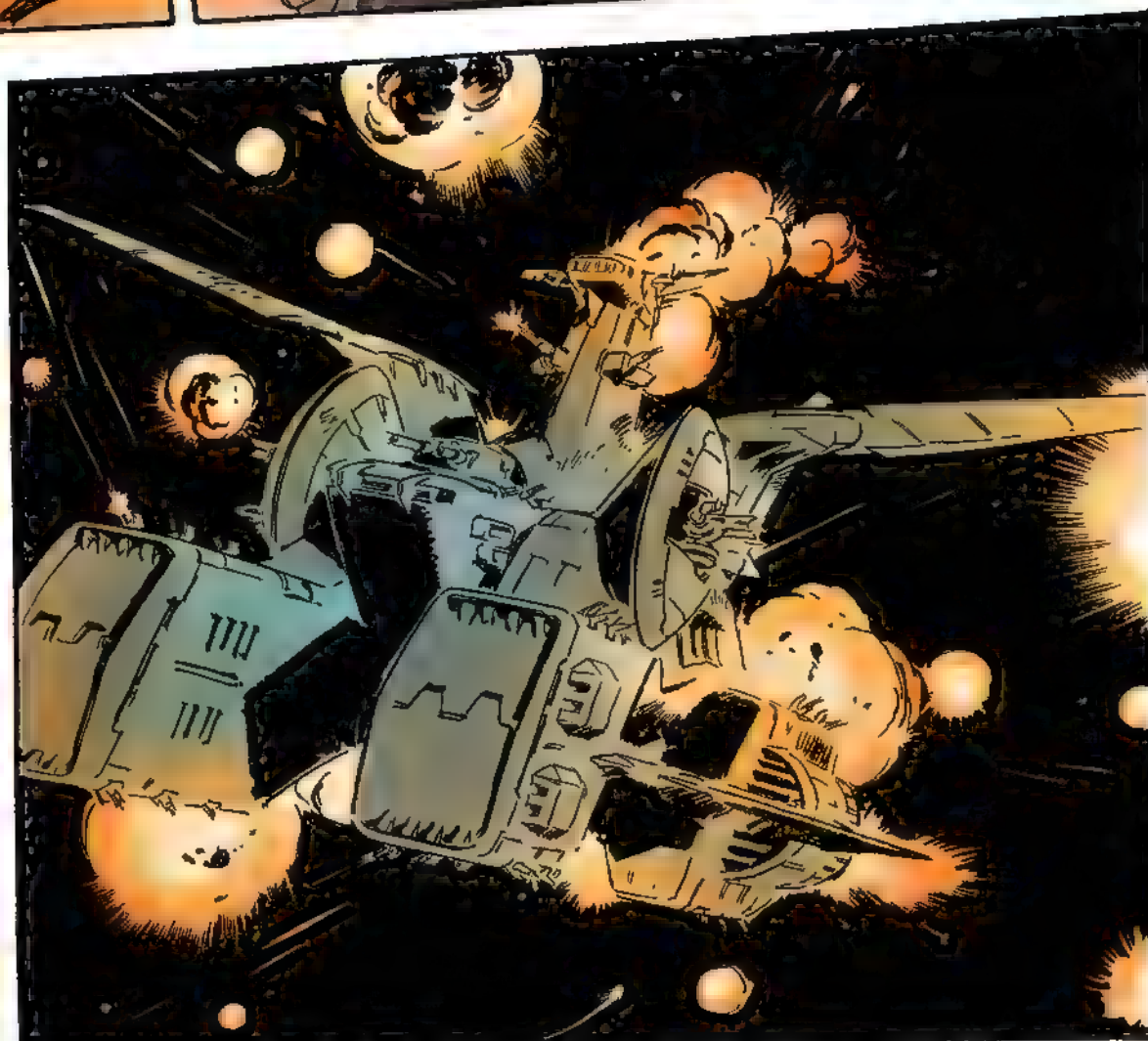
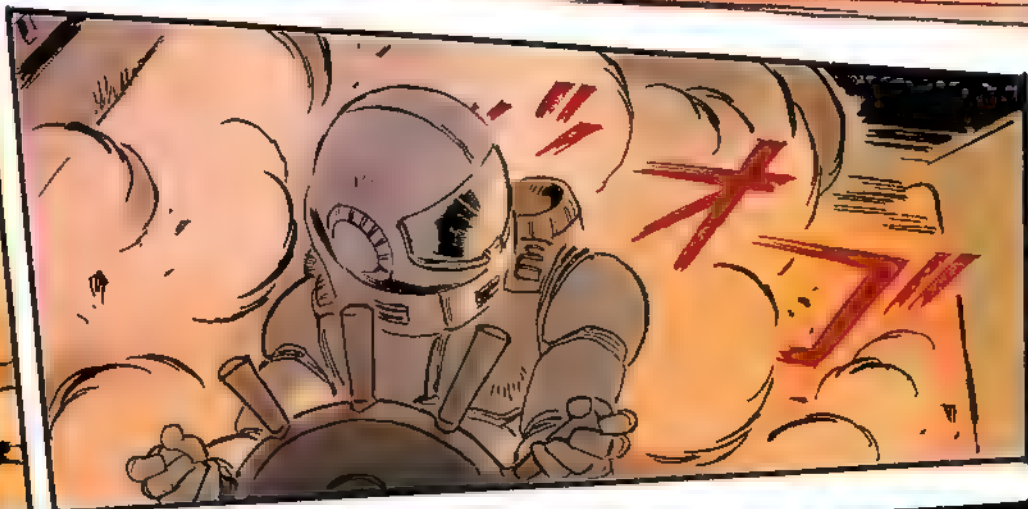
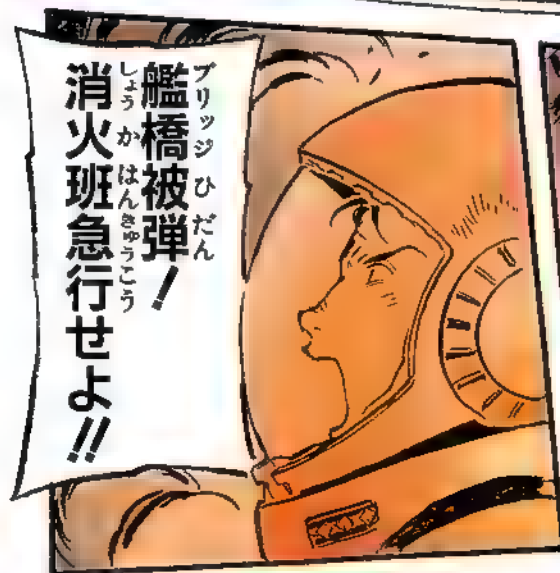
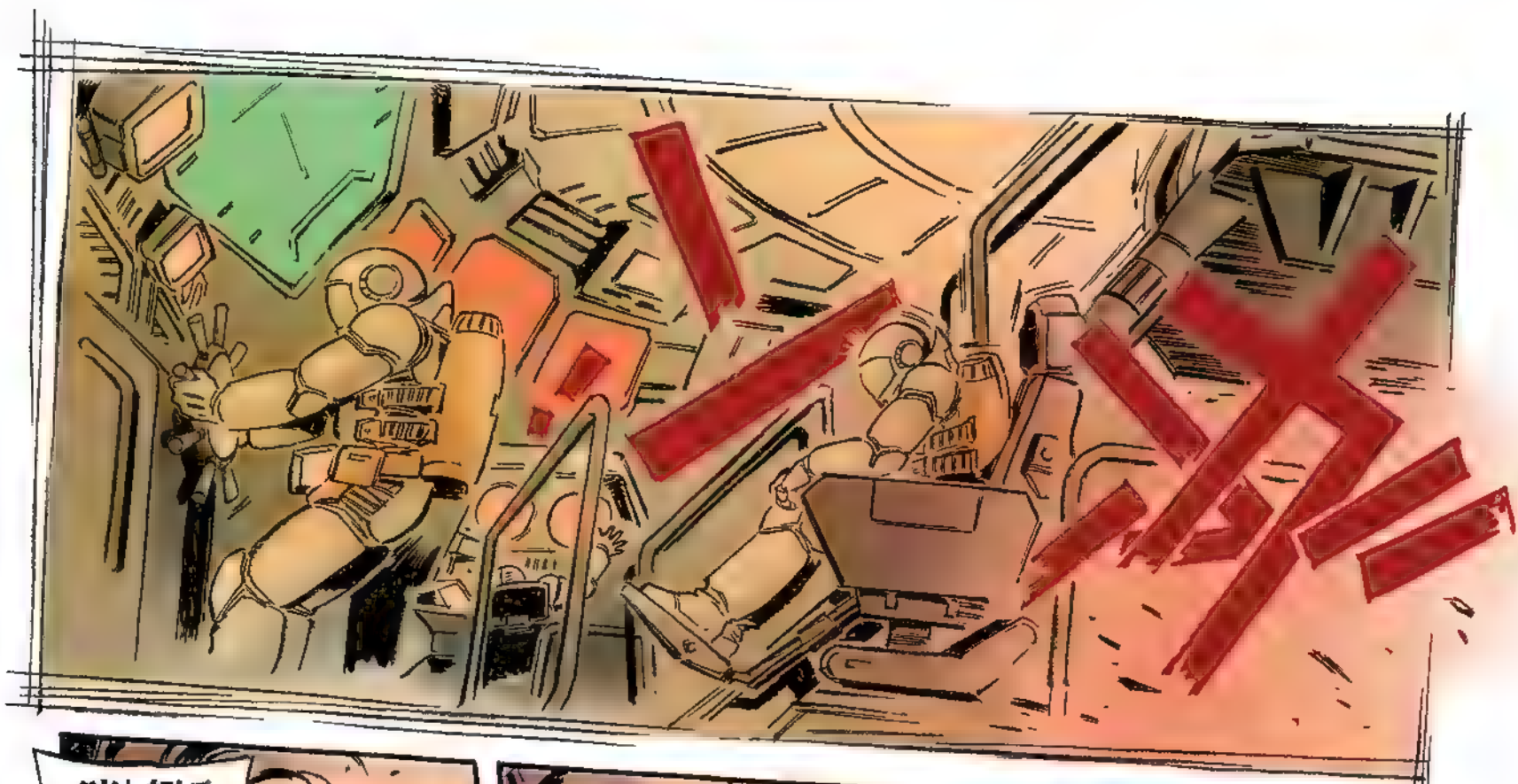
実戦です
これはドラマではありません

ガンダムを映せ！
ガンダムの戦いぶりを!!
ガッ
ギッ
おおお!!
そうっそれだ！
そうだ！
いいぞアムロ！
ふたつっ！

ビチッ
バチ!
おっへ!!

ピュー!

どうしちゃったんだ今日のアムロちゃん
これじゃ…
こっちの出る幕はないみたいね…
あの光の中で今何百の命が…
—慣れていくのね
そう…
自分でもわかる

うまい!!
ってほどでも？
一発轟沈じゃないし…

!

艦橋被弾！
消火班急行せよ!!

サイド6のすぐ外でおこなわれている
戦いなのです
連邦強襲揚陸艦ホワイトベースはただ一隻で
ジオンの包囲網を突破できるのでしょうか?
あまりにもわかりきった結果をみるのではないでしょうか
しかしそうであってもこの艦は
敢えて出港しなければならなかったのです

実戦というものは
ドラマのように格好のよいものではない

戦場にいても
まあこんなものだ

わかります
大佐

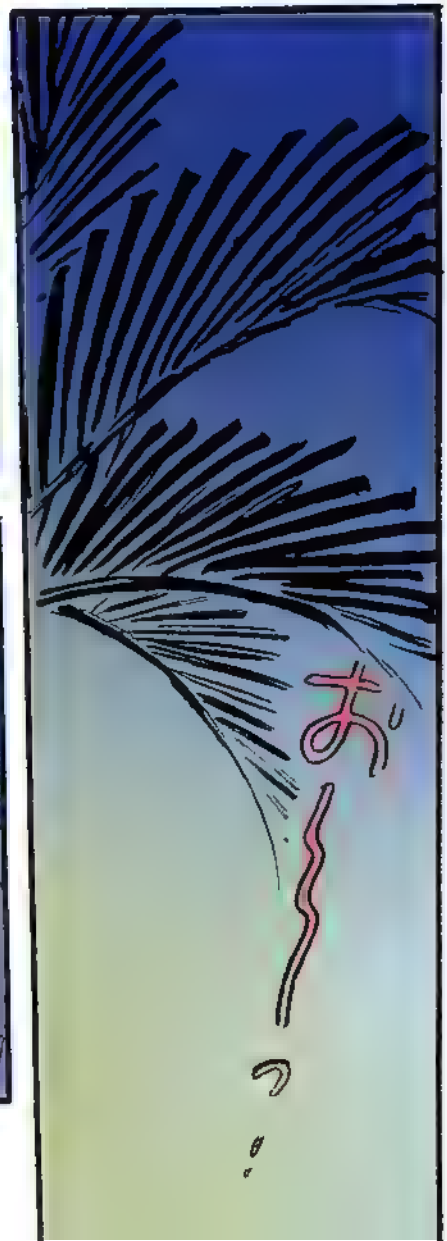
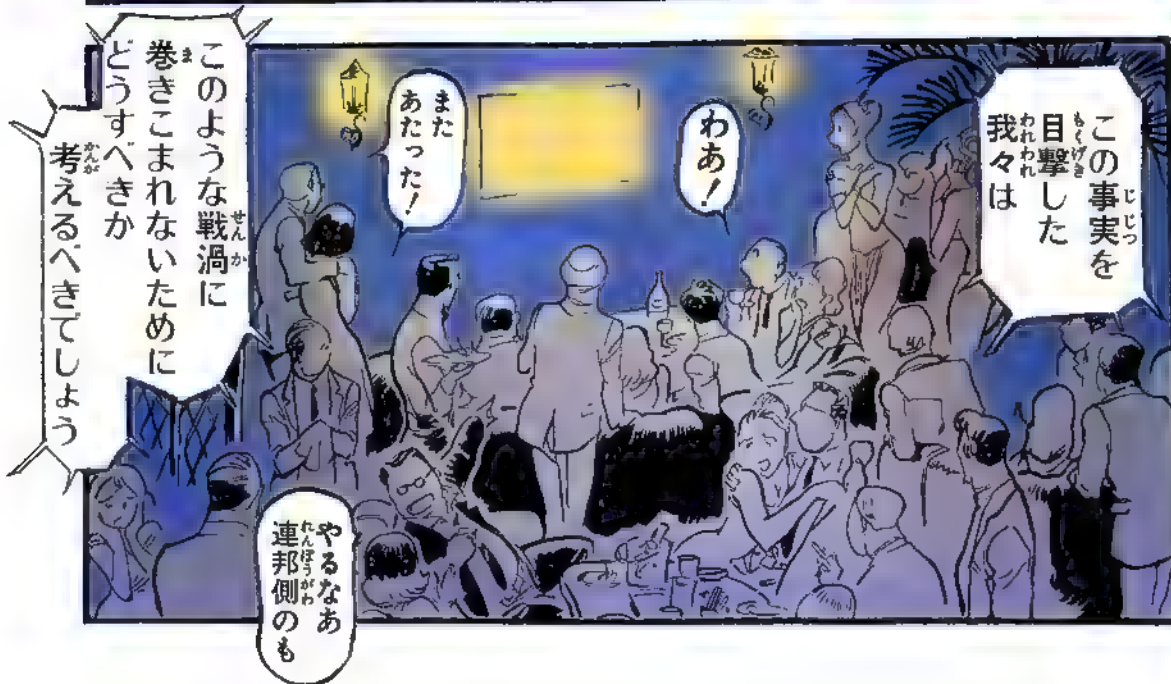
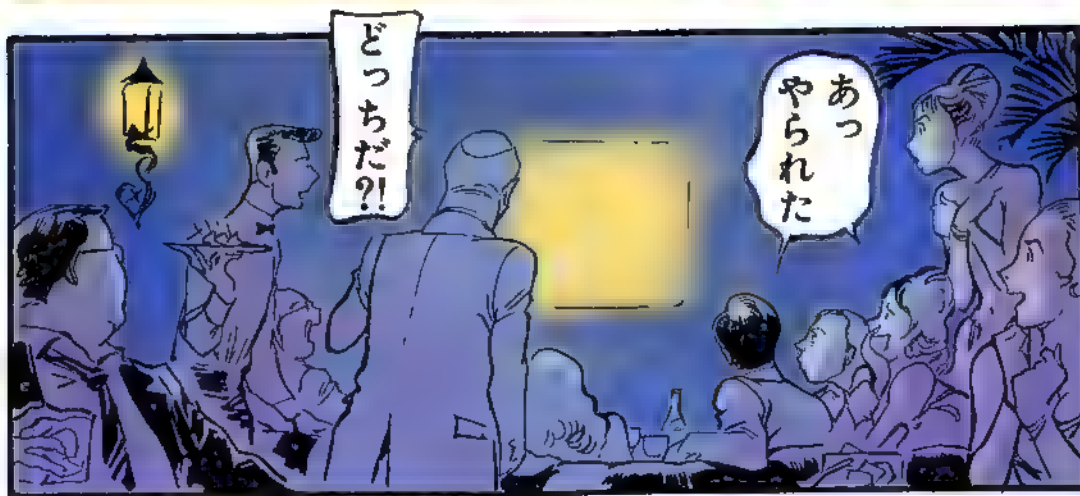
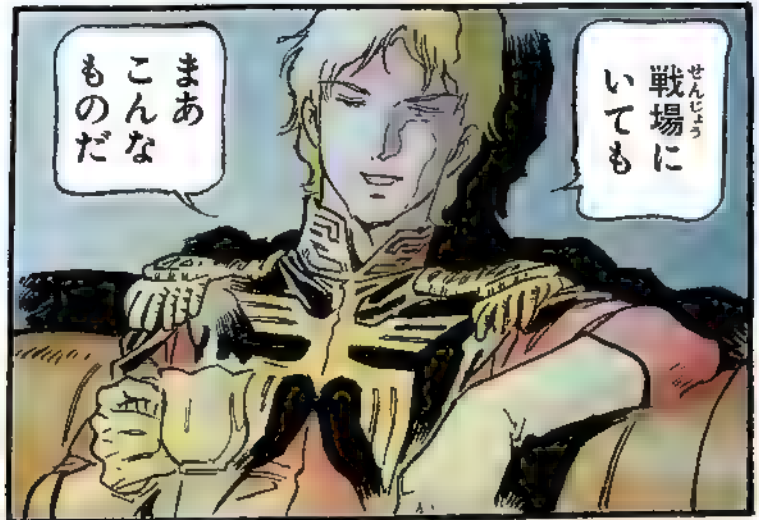
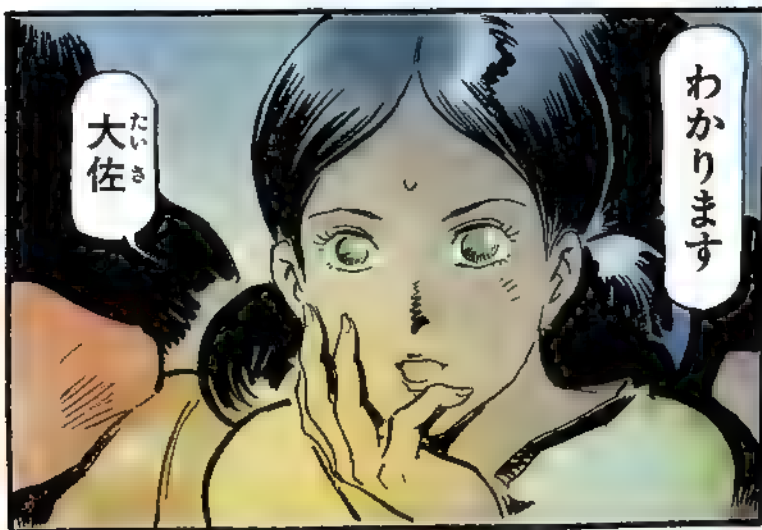
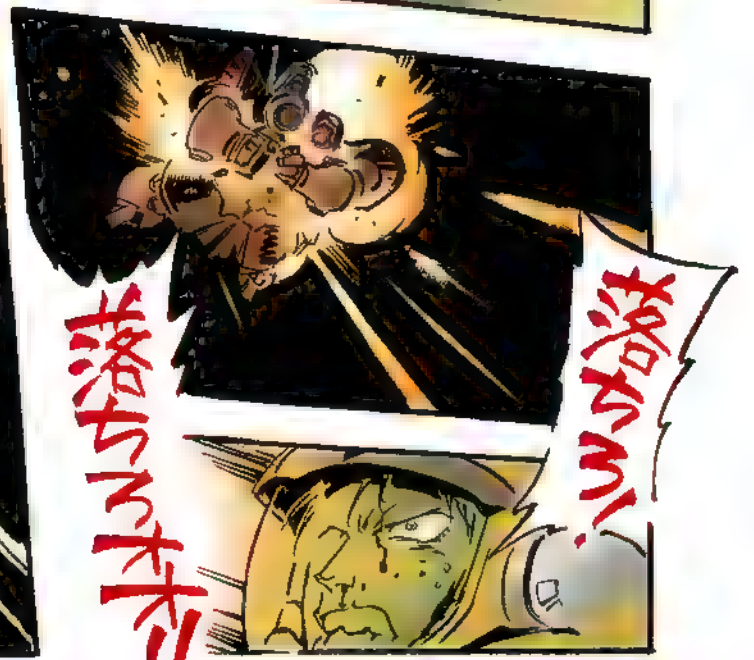
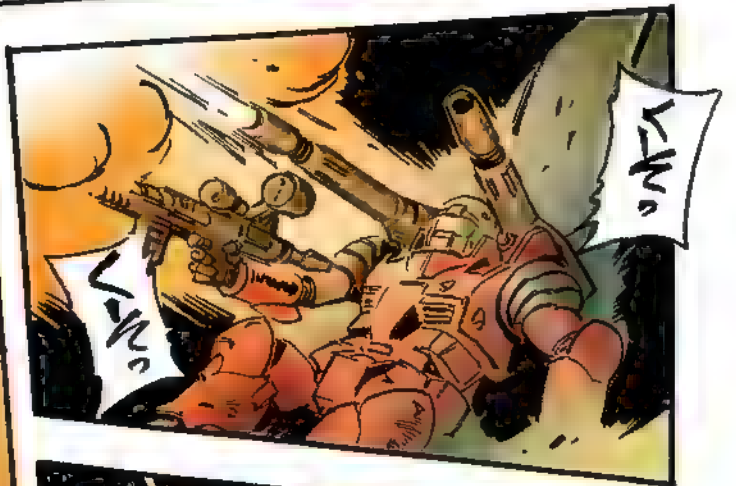
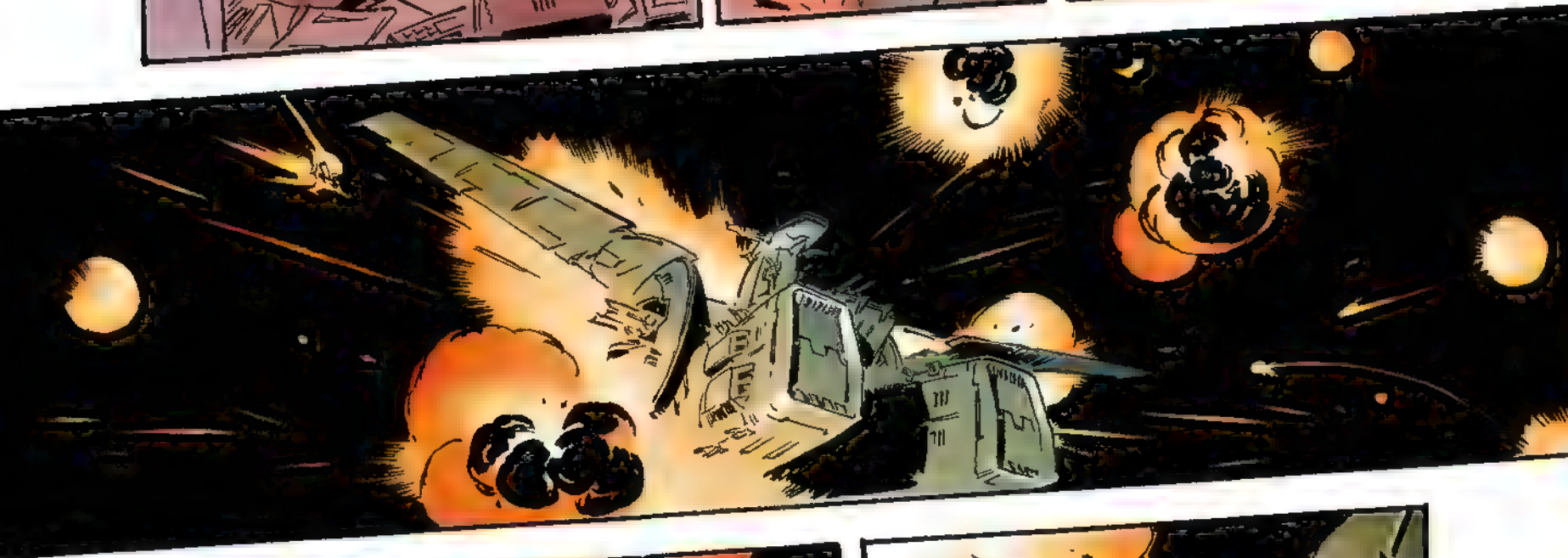
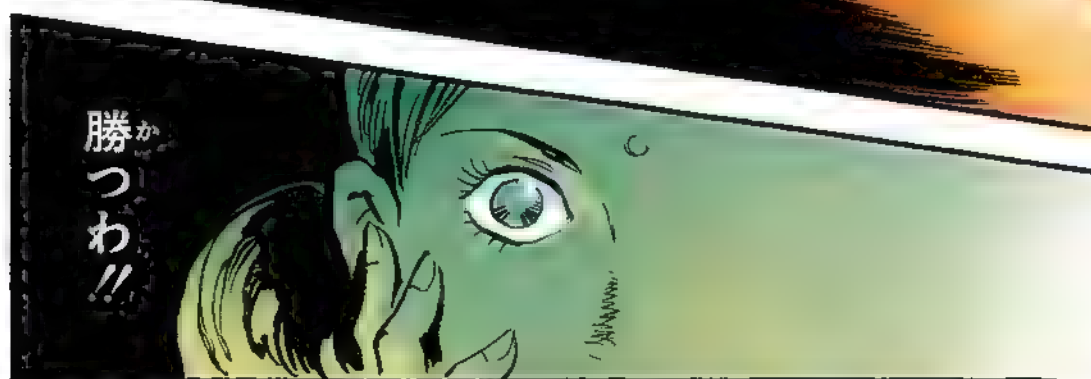
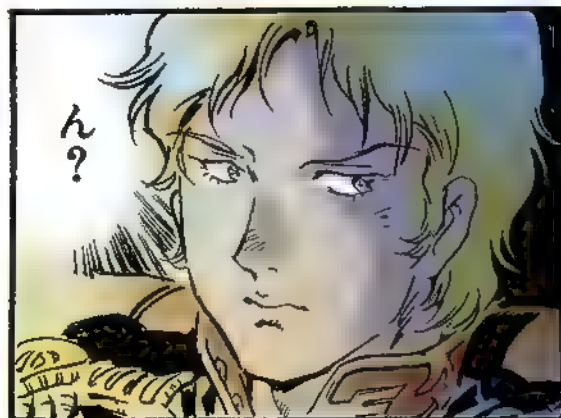
お〜〜っ

あっやられた
どっちだ?!

この事実を目撃した我々は
わあ!
またあたった!
このような戦渦に巻きこまれないためにどうすべきか考えるべきでしょう
やるなあ連邦側のも

よし!!
いいぞ!
うんっ
いいぞっ!!
それでこそ
アムロだ!!
ガンダム
だっ!
やれ!!
くそっ
くそっ
落ちろ!
落ちろォオ!!

白いモビルスーツが…

勝つわ!!

わかるわ

だから大佐はわたしをひろってくださったんでしょ？

かしこいなララァは
ウフ…

そういう言い方キライです
大人っぽすぎて
そうか

そうだな…
気をつけよう

くそっ
このっ手ェ!どけってんだ!!
ドン
キュウウウウウン
あななっ!!

やってやる!!

ぜ
全滅ウ？
12機のリック・ドムが
全滅?!
ムサイも…か
ムー
ズズ…
傷ついた戦艦一隻に12機のリック・ドムと二隻のムサイが…
ば…
バケモノか…

来ます！
白いヤツが一機!!
ガンダムです!!
お…
おとせ…
シャアが見ているんだぞ!!
落とせえええっ!!

ねっ大佐

だから言ったろう
ララァはかしこいと

ふふっ

フラナガン機関の連中は
やさしくしてくれたか？

はい
わたし優等生ですからね
そうか……

ガンダムのパイロットは
覚醒を始めているな

！

……

ララァとおなじレベルかもしかしたら
それ以上に……な

驚くべきことです
ホワイトベースはコンスコン艦隊を殲滅させた模様です
見たかジオンめ!!

戦力比は5対1と申しあげておきます
勝った! 勝った!!
あの新しいパーツの威力だ!!

すさまじい破壊力というしかありません
ドンドーン!
ワァハハハハ

我々は今後戦局が泥沼化しいつかこのサイド6をも取り込んでいくことを警戒しなければなりません
いいぞっ連邦軍。

ガンダムはまだまだ
つかえるぞオ!!

地球連邦バンザ～イ
バンザイ
クキッ
お
お!
お
と…!
と!!
ダダダダ

ダダドドドー
あ、ふぅ…

全機格納完了
損害は?!
カイ伍長のキャノン中破
乗員は軽傷です
よし両舷ハッチ閉鎖!
機関に異常ないか?!

点検いそげ
デブリの空域を抜けたら高速巡航に移る!

帰ってくれていいよ…
ごくろうさま…
生きのびてくれよ……
ミライ…
メインエンジンブロオーーッ
第四船速から第五船速へ!!

to be continued...

Can you remain alive in spite of the WAR?

角川コミックス・エース

フルカラー版 機動戦士ガンダムTHE ORIGIN⑰

著者　安彦良和
原案　矢立肇・富野由悠季
メカニックデザイン　大河原邦男

2022年3月26日　発行
ver.001

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』
(Comic Walker掲載)

発行者　青柳昌行
発行　株式会社ＫＡＤＯＫＡＷＡ
https://www.kadokawa.co.jp/

●お問い合わせ
https://www.kadokawa.co.jp/　（「お問い合わせ」へお進みください）
※内容によっては、お答えできない場合があります。
※サポートは日本国内のみとさせていただきます。
※Japanese text only

装丁・デザイン　福島トオル(Smile Studio)
カラーリスト　凸版印刷株式会社